

2023年度
北里大学学則
(案)

学校法人 北里研究所

北里大学学則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 本大学は、北里柴三郎博士の精神に則り、生命科学及び医療科学分野における学術研究と人材育成を通して、広く社会の発展のために寄与することを目的とする。

(教育研究上の目的)

第2条 本大学は、学部、学科又は課程ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定めるものとする。

2 前項の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は別表1のとおりとする。

(自己点検・評価)

第3条 本大学は、教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究等の活動状況について自主的に自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価の実施体制、実施方法、項目、結果の活用等については別に定める。

(教育情報の公表)

第4条 本大学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。

- (1) 大学の教育研究上の目的に関すること。
 - (2) 教育研究上の基本組織に関すること。
 - (3) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること。
 - (4) 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること。
 - (5) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること。
 - (6) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること。
 - (7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること。
 - (8) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること。
 - (9) 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること。
- 2 前項各号に掲げる事項のほか、教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報を積極的に公表するよう努めるものとする。
- 3 第1項の規定による情報の公表は、適切な体制を整えた上で、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって行うものとする。
- 4 前各項の公表情報の詳細については別に定める。

第2章 学部、学科、専攻及び大学院

(学部、学科、専攻)

第5条 本大学に次の学部、学科、専攻を置く。

薬 学 部……………薬学科、生命創薬科学科
獣 医 学 部……………獣医学科、動物資源科学科、生物環境科学科
医 学 部……………医学科
海洋生命科学部……………海洋生命科学科
看 護 学 部……………看護学科
理 学 部……………物理学科、化学科、生物科学科
医療衛生学部……………保健衛生学科
医療検査学科
医療工学科 臨床工学専攻、診療放射線技術科学専攻
リハビリテーション学科 理学療法学専攻、作業療法学専攻、
言語聴覚療法学専攻、視覚機能療法学専攻
未 来 工 学 部……………データサイエンス学科

2 本大学における一般教育を円滑に実施するため、本大学に一般教育部を置く。一般教育部は自然科学教育センター、人間科学教育センター、基礎教育センターをもって組織する。一般教育部に関する規程は別に定

める。

(大学院)

第6条 本大学に大学院を置く。

2 大学院に関する規則は別に定める。

第3章 修業年限・在学年限及び入学定員・編入学定員・収容定員

(修業年限及び在学年限)

第7条 本大学の修業年限は、薬学部生命創薬科学科、獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部、未来工学部においては4年、薬学部薬学科、獣医学部獣医学科、医学部においては6年とする。

2 卒業までの在学年限は、各学部とも前項の修業年限の2倍を超えることができない。

ただし、編入学、転入学、再入学の場合には、在学すべき年数の2倍を超えることができないものとする。

3 薬学部、獣医学部、医学部、海洋生命科学部、医療衛生学部、未来工学部においては、原則として同一学科同一学年における在学年数を2年以内とする。

(入学定員、編入学定員及び収容定員)

第8条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科・専攻	入学定員	(編入学定員)			編入学 収容定員	収容定員	
			2年次編入	3年次編入	4年次編入			
薬学部	薬学科	260名					1,560名	
	生命創薬科学科	35名					140名	
	学部計	295名					1,700名	
獣医学部	獣医学科	120名					720名	
	動物資源科学科	130名					520名	
	生物環境科学科	90名					360名	
	学部計	340名					1,600名	
医学部	医学科	110名					660名	
	学部計	110名					660名	
海洋生命科学部	海洋生命科学科	180名					720名	
	学部計	180名					720名	
看護学部	看護学科	125名					500名	
	学部計	125名					500名	
理学部	物理学科	53名					212名	
	化学科	80名					320名	
	生物科学科	80名					320名	
	学部計	213名					852名	
医療衛生学部	保健衛生学科	40名					160名	
	医療検査学科	105名					420名	
	医療工学科	臨床工学専攻	45名					180名
		診療放射線技術科学専攻	70名					280名
		リハビリテーション学科	145名					580名
	理学療法学専攻	理学療法学専攻	45名					180名
		作業療法学専攻	40名					160名
		言語聴覚療法学専攻	30名					120名
		視覚機能療法学専攻	30名					120名
	学部計	405名					1,620名	
未来工学部	データサイエンス学科	100名					400名	
	学部計	100名					400名	
計		1,768名					8,052名	

第4章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学 期)

第10条 学年は、これを次の2学期に区分する。

前 期 4月1日から9月30日まで

後 期 10月1日から3月31日まで

2 学長は必要により、各学期の授業の開始日及び終了日を変更することができる。

(休 業 日)

第11条 休業日は次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 開校記念日(4月20日)

(4) 北里研究所創立記念日(11月5日)

(5) 春期休業日(3月21日から4月5日まで)

(6) 夏期休業日(7月21日から8月31日まで)

(7) 冬期休業日(12月21日から1月5日まで)

2 学長は、必要により休業日を変更し、若しくは臨時に休業し、又は休業日に実習見学などを行うことができる。

第5章 教育課程

(教育課程)

第12条 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に区分し、その内容により1群科目、2群科目、3群科目、4群科目に分類したうえ各年次に配当して構成する。

2 1群科目は幅広い視野と豊かな人間性を形成する科目、2群科目は専門の基礎的知識・技術を形成する科目、3群科目は高度の専門的知識・技術を形成する科目、4群科目は総合的な能力を形成する科目(単位互換科目を含む。)とする。

(授業科目及び単位数等)

第13条 授業科目及び単位数等は別表2、3のとおりとする。

2 年間の履修登録単位数は50単位未満とする。

(単 位)

第14条 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号の規定を準用し1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、特論等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めるものとする。

(1年間の授業期間)

第15条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週以上とする。ただし、医学部は39週とする。

2 各授業科目の授業は、10週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(授業の方法)

- 第 16 条 授業は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う。
- 2 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
 - 3 本大学は、第 1 項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。
 - 4 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第 1 項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
(成績評価基準等の明示等)
- 第 17 条 本大学は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示する。
- 2 本大学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示する。
 - 3 成績評価基準については、学部において別に定める。
(教育内容等の改善のための組織的な研修等)
- 第 18 条 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施する。
- 2 前項の組織的な研修及び研究に関し、必要な事項は別に定める。
(履修の方法)
- 第 19 条 学生は、第 7 条第 1 項に定める期間（編入学、転入学、再入学の場合は在学すべき年数。）以上在学し、各学部所定の授業科目を履修しなければならない。
- 2 各学部所定の授業科目の一部を本大学の他学部他学科他専攻の授業科目の履修をもって代えることができる。
 - 3 前 2 項の履修方法は各学部規則の定めるところによる。
(単位の授与及び評価)
- 第 20 条 本大学は、一の授業科目を履修し、その試験又は論文等の審査に合格した者に対し、所定の単位を授与する。
- 2 前項の評価は、優・良・可・不可の 4 種をもって表し、優・良・可を合格、不可を不合格とする。
 - 3 前項の成績の原成績(素点)に基づき、成績の数値平均 Grade Point Average(以下「GPA」という。)を算出するものとする。GPA に関し必要な事項は別に定める。
(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)
- 第 21 条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合に準用する。
(大学以外の教育施設等における学修)
- 第 22 条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等学校等の専攻科、高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、大学の定めるところにより単位を与えることができる。
- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。
(入学前の既修得単位等の認定)
- 第 23 条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
 - 3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、

本大学において修得した単位以外のものについては、第 21 条第 1 項及び第 2 項並びに前条第 1 項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(本大学以外での履修の許可)

第 24 条 本大学学生にして、第 21 条及び第 22 条に定める大学等で授業科目の履修を希望する者は、教授会の許可を得なければならない。

(教員の免許状の所要資格の取得)

第 25 条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、別表 4-①及び別表 4-②に従い、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 本大学の学部・学科において、当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、次のとおりとする。

獣医学部	動物資源科学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
	生物環境科学科	高等学校教諭一種免許状(農業)
海洋生命科学部	海洋生命科学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状
理学部	物理学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
	化学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
	生物科学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
未来工学部	データサイエンス学科	高等学校教諭一種免許状(情報)

(学芸員資格の取得)

第 26 条 学芸員の資格を取得しようとする者は、別表 5 に従い、博物館法及び博物館法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 前項の学芸員の所要資格を得させるための課程を置く学部の学科は海洋生命科学部海洋生命科学科とする。

第 6 章 卒業の要件及び学士の学位

(卒業の要件及び学士の学位)

第 27 条 本大学の薬学部生命創薬科学科、獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部、未来工学部に 4 年(編入学、転入学、再入学の場合は在学すべき年数。以下同じ。)以上在学し、若しくは薬学部薬学科、獣医学部獣医学科に 6 年以上在学し、別表 2 に定める単位を修得した者、又は医学部に 6 年以上在学し、別表 2 に定める単位を修得し、総合試験、共用試験医学系臨床実習後 OSCE に合格した者は卒業とし、次の学士の学位を授与する。

薬学部	薬学科	学士(薬学)
	生命創薬科学科	学士(薬科学)
獣医学部	獣医学科	学士(獣医学)
	動物資源科学科	学士(農学)
	生物環境科学科	学士(農学)
医学部	医学科	学士(医学)
海洋生命科学部	海洋生命科学科	学士(水産学)
看護学部	看護学科	学士(看護学)
理学部	物理学科	学士(理学)
	化学科	学士(理学)
	生物科学科	学士(理学)
医療衛生学部	保健衛生学科	学士(保健衛生学)
	医療検査学科	学士(医療検査学)
	医療工学科	
	臨床工学専攻	学士(臨床工学)

診療放射線技術科学専攻	学士（診療放射線技術科学）
リハビリテーション学科	
理学療法学専攻	学士（理学療法学）
作業療法学専攻	学士（作業療法学）
言語聴覚療法学専攻	学士（言語聴覚療法学）
視覚機能療法学専攻	学士（視覚機能療法学）
未来工学部	データサイエンス学科
	学士（工学）

2 第1項の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち、第16条第2項の授業の方法により、修得する単位数は60単位を超えないものとする。

ただし、各学部において124単位を超える単位数を卒業の要件としている場合は、同条第1項の授業方法によって64単位以上の修得がなされていれば、同条第2項の授業の方法によって修得する単位数については、60単位を超えることができるものとする。

第7章 入学、編入学、転入学、再入学、転学部、転学科、転専攻、転学、休学、復学、留学、退学及び除籍

（入学の時期）

第28条 入学の時期は、学年の初めとする。

ただし、学長は、必要により学年の途中においても、学生を入学させ及び卒業させることができる。

（入学の資格）

第29条 本大学の学部の第1学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

（入学の出願、選考、手続き及び許可）

第30条 本大学に入学を志願する者は、入学願書に入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出て、本大学が行う選考を受けなければならない。

2 前項の選考に合格した者は、指定された期日までに、第43条に定める入学金、授業料、施設設備費等（以下「学費」という。）に保証人連署の誓約書及び所定の書類を添えて、入学手続きを完了しなければならない。

3 学長は、前項の入学手続きを完了した者について、入学を許可する。

4 前3項の規定は編入学、転入学、再入学の場合にも適用する。

（編入学）

第31条 次の各号の一に該当する者が、本大学に編入学を願い出たときは、第8条の編入学定員の規定により、選考のうえ相当年次に入学を許可する。

ただし、編入学定員を定めていない学部の学科においては、定員に余裕のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者及び学士の学位を有する者
- (2) 大学に2年以上在学し62単位以上を修得した者
- (3) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者

- (4) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
 - (5) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了した者又は卒業した者
 - (6) 高等学校等の専攻科又は専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者で、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者
- 2 前項により入学を許可された者の、既に修得した授業科目及び単位数並びに在学すべき年数の認定は、教授会の議を経て行う。
 - 3 前項の規定は転入学、再入学の場合にも適用する。
 - 4 編入学に関する規程は別に定める。

(転入学)

第32条 他の大学の学生が、当該大学長の許可を得て本大学に転入学を願い出たときは、定員に余裕のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

- 2 転入学に関する規程は別に定める。

(再入学)

第33条 本大学を退学した者又は除籍された者(第41条第4号乃至第8号の除籍者及び第53条の懲戒退学者を除く。)が、同一学部の同一学科、同一専攻に2年以内に再入学を願い出たときは、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

- 2 再入学に関する規程は別に定める。

(転学部、転学科、転専攻)

第34条 本大学の学生で、本大学の他の学部へ転学部を希望する者、又は同一学部内の他の学科及び他の専攻へ転学科、転専攻を希望する者があるときは、定員に余裕のある場合に限り、選考のうえ相当年次にこれを許可することがある。

- 2 前項により転学部等を許可された者の、既に修得した授業科目及び単位数並びに在学すべき年数の認定は、教授会の議を経て行う。
- 3 転学部、転学科、転専攻に関する規程は別に定める。

(転学)

第35条 本大学から他の大学へ転学を希望する者は、その事由を具して学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(休学)

第36条 薬学部、獣医学部、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部、未来工学部においては、病気その他やむを得ない事由により、次の各号の一に該当する者は、休学願に保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添付するものとする。

医学部においては、病気その他やむを得ない事由により、第1号、第3号及び第4号に該当する者は、休学願に保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添付するものとする。

- (1) 学年初めから学年末まで1年間就学することができない者
- (2) 学年初めから引き続き後期授業開始日の前日まで就学することができない者
- (3) 学年末まで引き続き6ヵ月以上就学することができない者
- (4) 外国人留学生で出身国における兵役等に就く必要がある者

- 2 第1項第1号により休学をした者は、願い出により許可を得て第2号による休学に変更することができる。
- 3 第1項第2号により休学した者が復学後に改めて休学を願い出た場合は、許可を得て後期授業開始日から第3号により休学するものとする。
- 4 休学中に修得した授業科目の単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位として認定することができる。
- 5 第1項第4号による休学を希望する場合は、兵役等に就く事実及び期間を確認できる書類を休学願に添付するものとする。

(休学期間)

第37条 休学の期間は、当該年度限りとして、1年を超えることができない。

ただし、特別の事由があるときは、許可を得て、更に1年以内に限り休学することができる。

- 2 休学の通算年数は、第7条第1項に定める修業年限の範囲内とする。
- 3 休学の期間は、在学の期間に算入しない。
- 4 前条第1項第2号による休学期間は0.5年として扱う。
- 5 前条第1項第4号による休学の場合は、第1項に定める休学の期間を適用しない。また、その期間は、第2項に定める休学の通算年数に算入しない。

(復学)

第38条 休学者が復学しようとするときは、復学願に保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受けなければならない。

ただし、休学の事由が疾病の場合は、校医又は医師の診断書を添付するものとする。

- 2 復学は、学年の初め又は後期授業開始日でなければこれを行うことができない。
- 3 前項により後期授業開始日に復学をする場合、当該年度における学年末までの在学期間は0.5年として扱う。

(留学)

第39条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が休学することなく外国の大学又は短期大学に留学することを認めることができる。

- 2 留学の期間は、1年間に限り在学年数に算入する。
- 3 留学中に修得した授業科目の単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位として認定することができる。
- 4 留学に関する規程は別に定める。

(退学)

第40条 退学しようとする者は、退学願にその事由を具して、保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(除籍)

第41条 次の各号の一に該当する者は、学長がこれを除籍する。

- (1) 正当な事由がなく所定の期日までに学費を納めない者
- (2) 休学期間満了後、10日以内に何等の手続きをしない者
- (3) 留年したとき、学年開始10日以内に何等の手続きをしない者
- (4) 2ヵ月以上も何等の手続きをしないで引き続き欠席した者
- (5) 第7条第2項乃至第3項に規定する期間を超えた者
- (6) 第37条第1項乃至第2項に規定する期間を超えた者
- (7) 死亡が確認された者
- (8) 2ヵ年以上も快復が困難で、学業の継続ができない疾病と校医が診断した者

第8章 学 費

(入学検定料等)

第42条 入学検定料等は、別表6-①及び6-②に示すとおりとする。

(学 費)

第43条 学費は別表6-①に示す入学金、授業料、施設設備費、教育充実費及び別表6-②に示す登録料、科目等履修料、別表6-③に示す教職課程及び学芸員養成課程履修料のとおりとする。

- 2 いったん納入した学費は、別に定める場合を除き、一切返還しない。
- 3 学費は、社会情勢により、次の年度に進むとき変更することがある。

(納入期日)

第44条 学費は、毎年前期は4月30日までに、後期は10月31日までに所定の額を納入するものとする。

- 2 学費納入に関する規程は別に定める。

(休学期間中の在籍料)

第45条 休学期間中は、休学期間に応じ、授業料、施設設備費、教育充実費を免除し、在籍料を徴収する。この取り扱いは別に定める。

第9章 単位互換履修生、科目等履修生、研究生及び外国人学生

(単位互換履修生)

第46条 本大学と単位互換協定のある大学及び短期大学の学生で、本大学の授業科目の履修を希望する者は、正規の学生の学修に支障のない限り、教授会の議を経て、単位互換履修生としてこれを許可することができる。

(科目等履修生)

第47条 本大学は、本大学の学生以外の者で第29条第1項に該当する者が本大学の授業科目の一又は複数の科目の履修を願い出たときは、正規の学生の学修に支障のない限り、教授会の議を経て、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生は、別表6-②に示す審査料及び学費を所定の期日までに納入しなければならない。

3 科目等履修生に対する単位の授与については、第20条の規定を準用する。又、願い出があったときは単位修得証明書又は履修証明書を交付する。

(研究生)

第48条 学士号又は学士の学位を有する者が、学部において研究、実験、実習を行うことを願い出たときは、正規の学生の学修に支障のない限り、教授会の議を経て、研究生としてこれを許可することができる。

2 研究生の在学期間は1年とする。

ただし、研究生が引き続き在学を願い出たときは、在学期間の延長を許可することがある。

3 研究生は、授業料等の学費を次の各号の定めるところにより、所定の期日までに納入しなければならない。

(1) 研究を主たる目的とする研究生にあつては、正規の学生の学費に関する規定を準用する。

(2) 実験、実習を主たる目的とする研究生にあつては、科目等履修生の学費に関する規定を準用する。

(外国人学生)

第49条 第29条第1項に定める入学資格を有する外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、外務省在外公館又は本邦所在の外国公館の証明のある者に対し、選考のうえ入学を許可することができる。

(規定の準用等)

第50条 単位互換履修生、科目等履修生、研究生については、第9章の規定のほか、正規の学生に関する規定を準用する。

2 外国人科目等履修生、外国人研究生については、第47条又は第48条の規定を準用する。

第10章 公開講座

(公開講座)

第51条 公開講座は、教授会の議を経て随時開設する。

第11章 賞 罰

(表彰)

第52条 学業が特に優秀な者、又は学生の模範となる行為をした者は、教授会の議を経て学長がこれを表彰することができる。

表彰規程は別に定める。

(懲戒)

第53条 本大学の教育の趣旨に背き、又は学生の本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長がこれを懲戒する。

懲戒は、けん責、謹慎、受験停止、停学及び退学の処分とし、次の各号の一に該当する場合は、懲戒退学の処分とする。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当の理由なくして出席常でない者

(4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第12章 教職員組織

(学長、学部長等)

第54条 本大学に学長及び学部長を置く。

- 2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。
- 3 本大学に副学長、学長補佐並びに学部の学科長又は運営委員、一般教育部に一般教育部長を置くことができる。
- 4 副学長に関する規程は別に定める。
- 5 学長補佐に関する規程は別に定める。
(教員、事務職員等)

第55条 本大学に教授、准教授、講師、助教、助手を置く。

- 2 本大学に事務職員、技術職員、技能職員等を置く。
- 3 教員及び事務職員等に関する規程は別に定める。
(学部長会)

第56条 本大学に学部長会を置き、大学全般にわたる学事に関する事項を協議する。

- 2 学部長会は、学長、副学長、学部長、一般教育部長、学長補佐、病院長、大学図書館長、大村智記念研究所長、学生指導委員会委員長、健康管理センター長をもって構成する。
- 3 学部長会は学長が招集し、議長となる。
- 4 学部長会は次の事項を協議する。
 - (1) 教育研究の基本方針及び学事計画に関する事項
 - (2) 学部、学科、専攻、一般教育部、課程、附属施設等の設置、改廃に関する事項
 - (3) 大学学則及び学事規程に関する事項
 - (4) 教育研究組織に関する事項
 - (5) 教育職員の人事に関する事項
 - (6) 教育課程に関する事項
 - (7) 学生の課外活動、厚生補導、就職指導に関する事項
 - (8) その他大学全般にわたる学事に関する重要事項
- 5 学部長会に関する規程は別に定める。
(学長・副学長会議)

第56条の2 本大学に学長・副学長会議を置き、全学的な教学事項を協議する。

- 2 学長・副学長会議に関する規程は別に定める。
(教授会)

第57条 本大学の学部に学部教授会を置く。

- 2 学部教授会は、当該学部の専任教授をもって構成する。
ただし、必要あるときは、当該学部の准教授、専任講師、助教を加えることができる。
- 3 学部教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ議事を開くことができない。
- 4 学部教授会は、当該学部における教育研究に関する次の各号に掲げる事項を審議し、学長に意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの(学長裁定)
- 5 各学部と一般教育部との連携協調を図るため、一般教育部に一般教育連合教授会を置く。
- 6 学部教授会、一般教育連合教授会に関する規程は別に定める。
(教授会に設置される委員会等)

第58条 学部教授会及び一般教育連合教授会は、その定めるところにより、教授会構成員の一部の者をもって構成される運営委員会、専門委員会等を置くことができる。

- 2 教授会は、その定めるところにより、運営委員会、専門委員会等の議決をもって教授会の議決とすることができる。
(名誉学長)

第59条 本大学は、本大学の教育・研究その他について助言を受ける必要があると認めるときは、学長として勤務した者をもって北里大学名誉学長(以下「名誉学長」という。)を委嘱することができる。名誉学長の委嘱期間は当該学長の在任期間とする。

(名誉教授)

第 60 条 本大学は、本大学に学長、副学長、学部長、教授、准教授又は講師として勤務した者であって、教育上又は学術上特に功績のあった者に対し、本大学の定めるところにより、北里大学名誉教授の称号を授与することができる。

2 名誉教授に関する規程は別に定める。

第 13 章 厚生補導

(学生指導委員会)

第 61 条 本大学における学生の厚生補導の充実を図るため、学部に学生の指導機関を置き、かつ全学的組織として、学生指導委員会を置く。

2 学生指導委員会規程は別に定める。

(課外活動組織)

第 62 条 本大学における課外教育を推進するため、教職員及び学生よりなる課外活動組織を置く。

2 課外活動組織に関する規程は別に定める。

(校医及び健康管理センター、保健室)

第 63 条 本大学に校医及び北里大学健康管理センター、北里大学保健室を置き、学生及び教職員の保健教育及び保健管理を行う。

2 校医及び北里大学健康管理センター、北里大学保健室に関する規程は別に定める。

第 14 章 附属施設

(附属施設)

第 64 条 本大学に次の附属施設を置く。

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| (1) 北里大学病院 | (16) 削除 |
| (2) 削除 | (17) 八雲総合実習所 |
| (3) 北里大学北里研究所病院 | (18) 薬学部附属薬用植物園 |
| (4) 北里大学メディカルセンター | (19) 薬学部附属医薬研究施設 |
| (5) 北里大学図書館 | (20) 薬学部附属臨床薬学研究・教育センター |
| 北里大学白金図書館 | (21) 薬学部附属環境管理センター |
| 北里大学獣医学部図書館 | (22) 獣医学部附属動物病院 |
| 北里大学医学図書館 | (23) 獣医学部附属フィールドサイエンスセンター |
| 北里大学海洋生命科学部図書館 | 十和田農場 |
| 北里大学看護学部図書館 | 八雲牧場 |
| 北里大学理学部図書館 | (24) 獣医学部附属獣医臨床試験センター |
| 北里大学教養図書館 | (25) 医学部附属遺伝子高次機能解析センター |
| (6) 大村智記念研究所 | (26) 医学部附属バイオイメージング研究センター |
| (7) 北里大学東洋医学総合研究所 | (27) 医学部附属医学教育研究開発センター |
| (8) 削除 | (28) 医学部附属臨床研究センター |
| (9) 北里大学入学センター | (29) 医学部附属新世紀医療開発センター |
| (10) 北里大学健康管理センター | (30) 海洋生命科学部附属三陸臨海教育研究センター |
| (11) 北里大学高等教育開発センター | (31) 理学部附属疾患プロテオミクス・センター |
| (12) 北里大学農医連携教育研究センター | (32) 医療衛生学部附属再生医療・細胞デザイン研究施設 |
| (13) 北里大学教職課程センター | |
| (14) 北里大学看護キャリア開発・研究センター | |
| (15) 北里大学附属臨床心理相談センター | |
- 2 附属施設に関する規程は別に定める。

第 15 章 補 則

(細 則)

第 65 条 この学則の実施に関し必要な細則は別に定める。

第16章 雑 則

(研修の機会等)

第66条 本大学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、所属職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修(第18条に規定する研修に該当するものを除く。)の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。

2 前項の研修に関し、必要な事項は別に定める。

(教員と事務職員等の連携及び協働)

第67条 本大学は、教育研究活動等の組織的かつ効果的な運営を図るため、教員と事務職員等との適切な役割分担の下で、これらの者の間の連携体制を確保し、これらの者の協働によりその職務が行われるよう留意するものとする。

附則

1 この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

2 第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和54年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

2 第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和55年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

2 第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和56年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和57年4月1日から施行する。

2 第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和57年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

2 第42条(入学検定料等)及び第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和58年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

2 第42条(入学検定料等)及び第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和59年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

2 第42条(入学検定料等)及び第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和60年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

2 第43条(学費)については、昭和61年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

2 第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和62年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

2 第42条(入学検定料等)並びに第43条(学費)については、昭和63年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、平成元年4月1日から施行する。

2 第43条(学費)並びに第47条第2項については、平成元年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 第42条（入学検定料等）については、平成2年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第43条（学費）については、平成3年度入学者から適用する。

附則

この学則中第27条（卒業の要件及び学士の学位）については、平成3年7月1日から、第43条（学費）、第47条（科目等履修生）、第48条（研究生）、第49条（外国人学生）の学費については、平成3年10月1日から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 第43条関係別表6のうち看護学部の入学金及び授業料等については、平成4年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 第43条関係別表6のうち看護学部の授業料については、平成5年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、平成6年度から平成10年度までの間の理学部生物科学科の入学定員は60名、収容定員は240名とする。
- 3 第42条（入学検定料等）及び第43条（学費）の規定については、平成6年度入学者から適用する。
- 4 平成6年度より衛生学部の学生募集を停止する。
- 5 医学部医学科入学定員の変更にともない、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、医学部医学科の収容定員は次のとおりとする。

学 科	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
医 学 科	700	680	660	640	620
収容定員合計	700	680	660	640	620

附則

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第43条（学費）に定める別表6-①の薬学部施設設備費及び海洋生命科学部授業料、看護学部授業料については、平成7年度入学者から適用する。
- 3 第42条（入学検定料等）及び第43条（学費）に定める別表6-②は、平成7年度科目等履修生から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第43条（学費）に定める別表6-①の薬学部施設設備費及び看護学部授業料、実験実習費、施設設備費については、平成8年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成9年5月30日をもって衛生学部を廃止する。
- 3 衛生学部の廃止にともない、第5条（学部、学科、専攻）、第7条（修業年限及び在学年限）、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3、第25条（教員の免許状の所要資格の取得）及び同条に定める別表4、第27条（卒業の要件及び学士の学位）、第42条（入学検定料等）及び第43条（学費）に定める別表6-①、6-②、第64条（附属施設）、平成2年4月1日施行の附則第2項、平成6年4月1日施行の附則第5項から衛生学部関係条項を削除する。
- 4 第43条（学費）に定める別表6-①の薬学部施設設備費、看護学部授業料、施設設備費については、平成9年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。

- 2 第 43 条 (学費) に定める別表 6-①の薬学部授業料、海洋生命科学部授業料、理学部授業料、実験実習費、施設設備費、医療衛生学部入学金、授業料、施設設備費については、平成 10 年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 8 条 (入学定員、編入学定員及び収容定員) の規定にかかわらず、平成 11 年度の理学部生物科学科の入学定員は 60 名、収容定員は 240 名とする。
- 3 第 25 条 (教員の免許状の所要資格の取得) に定める別表 4 については、理学部物理学科・化学科・生物科学科の平成 11 年度入学者から適用する。
- 4 第 42 条 (入学検定料等) に定める別表 6-①の入学検定料及び第 43 条 (学費) に定める別表 6-③の教職課程履修料については、平成 11 年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 8 条 (入学定員、編入学定員及び収容定員) に掲げる海洋生命科学部海洋生命科学科の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 科	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
海洋生命科学科	160	320	480	640

- 3 平成 12 年度より水産学部水産増殖学科、水産食品学科の学生募集を停止する。
- 4 第 8 条 (入学定員、編入学定員及び収容定員) に掲げる医療衛生学部の編入学収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 部	学科・専攻	平成12年度	平成13年度	平成14年度
医療衛生学部	リハビリテーション学科			
	理 学 療 法 学 専 攻	6	10	12
	作 業 療 法 学 専 攻	6	10	12
	言 語 聴 覚 療 法 学 専 攻	6	10	12
	視 覚 機 能 療 法 学 専 攻	6	10	12
	計	24	40	48
	医療工学科			
	臨 床 工 学 専 攻	6	10	12
	診 療 放 射 線 技 術 科 学 専 攻	9	15	18
	計	15	25	30
編入学収容定員合計		39	65	78

- 5 第 43 条 (学費) に定める別表 6-①の医学部教育充実費については、平成 12 年度入学者から適用する。
- 6 平成元年 4 月 1 日施行の附則第 3 項に定める別表 7 を削除し、これに係わる各年の附則の該当箇所を削除する。

附則

- 1 この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 13 条 (授業科目及び単位数等) に定める別表 2、3 については平成 13 年度入学者から、第 19 条 (履修の方法) 第 2 項については薬学部、海洋生命科学部、医療衛生学部にあつては平成 13 年度入学者及び在学者から、理学部にあつては平成 13 年度在学者から適用する。
- 3 第 25 条 (教員の免許状の所要資格の取得) に定める別表 4 の「教職総合演習」については、平成 13 年度入学者及び在学者から適用する。
- 4 第 43 条 (学費) 乃至第 45 条 (休学期間中の学費) については、平成 13 年度入学者及び在学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 43 条 (学費) に定める別表 6-①の薬学部授業料については、平成 14 年度入学者から適用する。
- 3 平成 14 年 3 月 31 日薬学部薬学科及び製薬学科の中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状課程の終了にともない、第 25 条 (教員の免許状の所要資格の取得) から薬学部薬学科及び製薬学科の関係条項を削除する。

4 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3及び第19条（履修の方法）第2項については、看護学部にあつては平成14年度入学者及び在学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 平成15年3月31日をもって水産学部水産増殖学科、水産食品学科を廃止する。
- 3 水産学部水産増殖学科、水産食品学科の廃止にともない、第5条（学部、学科、専攻）、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3、第25条（教員の免許状の所要資格の取得）及び同条に定める別表4、第26条（学芸員資格の取得）、第27条（卒業の要件及び学士の学位）、平成11年4月1日施行の附則第5項、平成12年4月1日施行の附則第4項から水産学部水産増殖学科、水産食品学科関係条項を削除する。

附則

- 1 この学則は、平成15年8月1日から施行する。
- 2 この学則中第59条（名誉学長）、第60条（名誉教授）及び第64条（附属施設）第1項第6号については、平成15年8月1日から適用する。

附則

- 1 この学則は平成16年4月1日から施行する。
- 2 第43条（学費）に定める別表6-①の薬学部授業料、医学部教育充実費については、平成16年度入学者から適用する。
- 3 獣医畜産学部獣医学科の中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状課程並びに学芸員資格を付与する課程を廃止することにもない、第25条（教員の免許状の所要資格の取得）及び同条に定める別表4、第26条（学芸員資格の取得）及び同条に定める別表5、第43条（学費）に定める別表6-③、平成11年4月1日施行の附則第5項から獣医畜産学部獣医学科関係条項を削除する。

ただし、当該課程は獣医畜産学部獣医学科の履修者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

- 4 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3については、医学部にあつては平成16年度入学者及び在学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3については、医学部及び海洋生命科学部にあつては平成17年度入学者及び在学者から適用する。また、理学部にあつては平成17年度入学者から適用し、在学者にも一部適用する。
- 3 第30条（入学の出願、選考、手続き及び許可）第2項については平成17年度入学者から、第43条（学費）第1項及び同項に定める別表6-①、第45条（休学期間中の学費）については平成17年度入学者及び在学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年度より薬学部薬学科（4年制）、製薬学科の学生募集を停止する。
ただし、薬学部薬学科（4年制）、製薬学科は、第5条（学部、学科、専攻）の規定にかかわらず、当該学科に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 医療衛生学部衛生技術学科の学生募集停止の時期は次のとおりとする。

専攻	臨床検査学専攻				産業衛生学専攻
学生募集停止の時期	1年次	編入学			1年次
		2年次	3年次	4年次	
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成18年度

ただし、医療衛生学部衛生技術学科臨床検査学専攻及び産業衛生学専攻は、第5条（学部、学科、専攻）の規定にかかわらず、当該学科に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

- 4 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる薬学部及び医療衛生学部の編入学収容定員、収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 部	学科・専攻	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
薬学部	薬学科	260	520	780	1,040	1,290	1,540
	生命創薬科学科	20	40	60	80	95	110
	合 計	280	560	840	1,120	1,385	1,650

学部	学科・専攻		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
医療衛生学部	健康科学科	収容定員	40	80	120	160	
	医療検査学科	編入学収容定員	0	2	6	10	
		収容定員	90	182	276	370	
	医療工学科						
	臨床工学専攻	編入学収容定員	12	12	12	12	
		収容定員	140	148	156	164	
	診療放射線技術科学専攻	編入学収容定員	15	13	12	12	
		収容定員	225	233	242	252	
	計	編入学収容定員	27	25	24	24	
		収容定員	365	381	398	416	
	リハビリテーション学科						
	理学療法学専攻	編入学収容定員	8	6	6	6	
		収容定員	136	142	150	158	
	作業療法学専攻	編入学収容定員	8	6	6	6	
		収容定員	136	142	150	158	
	言語聴覚療法学専攻	編入学収容定員	8	6	6	6	
		収容定員	96	102	110	118	
	視覚機能療法学専攻	編入学収容定員	8	6	6	6	
		収容定員	96	102	110	118	
	計	編入学収容定員	32	24	24	24	
		収容定員	464	488	520	552	
	編入学収容定員合計			59	51	54	58
	収容定員合計			959	1,131	1,314	1,498

5 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3については、医療衛生学部医療工学科及びリハビリテーション学科にあつては平成18年度入学者から、看護学部にあつては平成18年度入学者及び在学者から適用する。また、医学部、海洋生命科学部、理学部にあつては平成18年度入学者から適用し、在学者にも一部適用する。

附則

- この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる獣医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 科	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
獣 医 学 科	120名	240名	360名	480名	600名	720名
動物資源科学科	120名	240名	360名	480名	480名	480名
生物環境科学科	80名	160名	240名	320名	320名	320名
合 計	320名	640名	960名	1,280名	1,400名	1,520名

- 第5条第1項の獣医学部生物環境科学科には生態環境コース及び環境修復コースを置く。学生定員は各コースとも一学年あたり40名とする。同学科は学科として学生を募集し、3年次進級の際に各コースに振り分ける。
- 平成19年度より獣医畜産学部獣医学科、動物資源科学科、生物生産環境学科の学生募集を停止する。
- 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3については、薬学部薬学科・生命創薬科学科、海洋生命科学部、理学部にあつては平成19年度入学者から、看護学部にあつては平成19年度入学者及び在学者から適用する。また医療衛生学部医療検査学科にあつては平成19年度入学者から適用し、在学者にも一部適用する。

附則

- この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成20年4月1日をもって水産学部水産生物科学科の学部学科名称を海洋生命科学部海洋生命科学科に変更し、平成20年度入学者から適用する。

ただし、水産学部水産生物科学科は、第5条（学部、学科、専攻）の規定にかかわらず、平成20年3月31日に当該学部在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 水産学部水産生物科学科の学部学科名称変更にもとない、第5条（学部、学科、専攻）、第7条（修業年限及び在学年限）、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3、第25条（教員の免許状の所要資格の取得）及び同条に定める別表4、第26条（学芸員資格の取得）及び同条に定める別表5、第27条（卒業の要件及び学士の学位）、第42条（入学検定料等）及び第43条（学費）に定める別表6-①、第64条（附属施設）、平成7年4月1日施行の附則第2項、平成10年4月1日施行の附則第2項、平成12年4月1日施行の附則第2項、平成13年4月1日施行の附則第2項、平成17年4月1日施行の附則第3項、平成18年4月1日施行の附則第5項、平成19年4月1日施行の附則第6項の名称を変更する。

4 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3については、薬学部、看護学部、医療衛生学部にあつては平成20年度入学者から、医学部にあつては平成20年度入学者及び在学者から、理学部物理学科、化学科にあつては平成20年度入学者及び在学者（平成18年度以降入学者）から適用する。また、理学部生物科学科にあつては平成20年度入学者から適用し、在学者にも一部適用する。

附則

1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成21年3月31日をもって医療衛生学部衛生技術学科臨床検査学専攻・産業衛生学専攻を廃止する。

3 医療衛生学部衛生技術学科臨床検査学専攻・産業衛生学専攻の廃止にもとない、第5条（学部、学科、専攻）、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3、第27条（卒業の要件及び学士の学位）、平成12年4月1日施行の附則第5項、平成18年4月1日施行の附則第4項、平成19年4月1日施行の附則第6項から医療衛生学部衛生技術学科臨床検査学専攻・産業衛生学専攻関係条項を削除する。

4 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部医学科の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 科	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医 学 科	610	620	630	640	650	660

5 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3については、薬学部にあつては平成21年度在学者（平成18年度・19年度入学者）に適用する。獣医学部動物資源科学科にあつては平成21年度入学者から適用し、在学者にも自由科目として一部適用する。海洋生命科学部にあつては、平成21年度入学者から適用し、在学者にも一部適用する。看護学部にあつては平成21年度入学者から適用する。また、理学部にあつては平成21年度入学者及び在学者から適用する。

6 第25条（教員の免許状の所要資格の取得）に定める別表4-②については、平成21年度入学者から適用する。

7 第43条（学費）に定める別表6-③の教職課程履修料については、平成21年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。

2 平成22年4月1日をもって薬学部薬科学科の学科名称を生命創薬科学科に変更し、平成22年度入学者から適用する。

ただし、薬学部薬科学科は、第5条（学部、学科、専攻）の規定にかかわらず、平成22年3月31日に当該学部在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 薬学部薬科学科の学科名称変更にもとない、第5条（学部、学科、専攻）、第7条（修業年限及び在学年限）、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3、第27条（卒業の要件及び学士の学位）、第42条（入学検定料等）及び第43条（学費）に定める別表6-①、平成18年4月1日施行の附則第4項、平成19年4月1日施行の附則第6項の名称を変更する。

4 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる薬学部、医学部及び看護学部の編入学収容定員、収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 部	学 科	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
薬学部	薬学科	1,290	1,540	1,530	1,520	1,510	1,500
	生命創薬科学科	95	110	125	140	140	140
	合 計	1,385	1,650	1,655	1,660	1,650	1,640

学 部	学 科	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医 学 部	医 学 科	622	634	646	658	670	672

学 部	学 科		平成22年度	平成23年度	平成24年度
看護学部	看護学科	編入学収容定員	10	20	30
		収容定員	410	420	430

5 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3については、薬学部、理学部物理学科にあつては平成22年度入学者から適用する。

6 第25条（教員の免許状の所要資格の取得）に定める別表4-①「教職実践演習（中等）」及び別表4-②「教職実践演習（養護）」については、平成22年度入学者から適用する。

7 第42条（入学検定料等）に定める別表6-①の薬学部生命創薬科学科入学検定料及び第43条（学費）に定める別表6-①の薬学部生命創薬科学科授業料、施設設備費、実験実習費及び看護学部授業料については、平成22年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。

2 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3については、獣医学部動物資源科学科にあつては、平成23年度入学者から適用し、在学者にも一部適用する。薬学部、医学部、医療衛生学部健康科学科にあつては、平成23年度入学者から適用する。

附則

1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

2 文部科学大臣に届け出た日をもって薬学部薬学科（4年制）、製薬学科を廃止する。

3 薬学部薬学科（4年制）、製薬学科の廃止にともない、第5条（学部、学科、専攻）、第7条（修業年限及び在学年限）、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3、第27条（卒業の要件及び学士の学位）、平成17年4月1日施行の附則第2項、平成18年4月1日施行の附則第4項及び第5項から薬学部薬学科（4年制）、製薬学科関係条項を削除する。

4 平成23年4月15日をもって獣医畜産学部動物資源科学科、生物生産環境学科を廃止する。

5 獣医畜産学部動物資源科学科、生物生産環境学科の廃止にともない、第5条（学部、学科、専攻）、第7条（修業年限及び在学年限）、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3、第27条（卒業の要件及び学士の学位）、第43条（学費）に定める別表6-①、昭和61年4月1日施行の附則第2項、平成8年4月1日施行の附則第2項、平成9年4月1日施行の附則第4項、平成11年4月1日施行の附則第2・3項、平成12年4月1日施行の附則第4項、平成14年4月1日施行の附則第2項、平成17年4月1日施行の附則第3項、平成19年4月1日施行の附則第5項から獣医畜産学部動物資源科学科、生物生産環境学科関係条項を削除する。

6 文部科学大臣に届け出た日をもって獣医畜産学部を廃止する。

7 獣医畜産学部の廃止にともない、第5条（学部、学科、専攻）、第7条（修業年限及び在学年限）、第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2、3、第27条（卒業の要件及び学士の学位）、第43条（学費）に定める別表6-①及び6-②、平成4年4月1日施行の附則第2項、平成9年4月1日施行の附則第4項、平成12年4月1日施行の附則第6項、平成13年4月1日施行の附則第2項、平成16年4月1日施行の附則第2項、平成18年4月1日施行の附則第5項から獣医畜産学部関係条項を削除する。

8 第26条（学芸員資格の取得）に定める別表5における学芸員資格を付与する課程は平成24年度入学者から適用する。

ただし、旧課程は獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科及び海洋生命科学部海洋生命科学科における履修者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

9 獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科の学芸員養成課程を廃止することにともない、第26条（学芸員資格の取得）及び同条に定める別表5から獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科の文言を削除すると

もに、第 43 条（学費）に定める別表 6-③から獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科の学芸員養成課程の履修料の記載を削除する。

ただし、当該学科の学芸員養成課程は獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科の履修者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

- 10 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2、3 については、薬学部、獣医学部、海洋生命科学部、看護学部、理学部にあつては平成 24 年度入学者から、医学部にあつては平成 24 年度入学者及び在学者から適用する。

また、医療衛生学部にあつては別表 2 は平成 24 年度入学者から、別表 3 は平成 24 年度入学者及び在学者から適用する。

- 11 第 43 条（学費）に定める別表 6-①の看護学部保健師教育課程指定科目履修料については、平成 24 年度入学者から適用する。

- 12 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 部	学 科	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
医 学 部	医 学 科	651	668	685	692	697	702

附則

- 1 この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる理学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 部	学 科	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
理学部	物理学科	170	180	190	200
	化学科	320	320	320	320
	生物科学科	250	260	270	280

- 3 第 42 条（入学検定料等）に定める別表 6-①の入学検定料及び第 43 条（学費）に定める別表 6-③の教職課程履修料、別表 6-④に示す臨床検査技師課程履修料については、平成 25 年度入学者から適用する。

- 4 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 部	学 科	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
医学部	医学科	670	689	698	705	712	714

- 5 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 については、薬学部、獣医学部、海洋生命科学部、理学部にあつては平成 25 年度入学者から、医学部、医療衛生学部にあつては平成 25 年度入学者及び在学者から適用する。

- 6 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 3 については、薬学部、獣医学部、海洋生命科学部、看護学部、理学部にあつては平成 25 年度入学者から、医学部、医療衛生学部にあつては、平成 25 年度入学者及び在学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 については、薬学部、獣医学部にあつては平成 26 年度入学者から適用する。

- 3 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 3 については、薬学部、獣医学部、医療衛生学部にあつては平成 26 年度入学者から適用する。

附則

- 1 この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 については、薬学部、獣医学部にあつては平成 27 年度入学者から、医学部、医療衛生学部にあつては平成 27 年度入学者及び在学者から適用する。

- 3 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 3 については、薬学部、獣医学部、理学部生物科学科にあつては平成 27 年度入学者から、医学部、理学部化学科、医療衛生学部にあつては平成 27 年度入学者及び在学者から適用する。

附則

- この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 については、薬学部、獣医学部、医療衛生学部にあつては平成 28 年度入学者から、医学部にあつては平成 28 年度入学者及び在学者から適用する。
- 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 3 については、薬学部、獣医学部獣医学科・動物資源科学科、海洋生命科学部、理学部、医療衛生学部にあつては平成 28 年度入学者から、医学部、看護学部にあつては平成 28 年度入学者及び在学者から、獣医学部生物環境科学科にあつては平成 28 年度入学者及び在学者（2 年次生）から適用する。

附則

この学則は、平成 28 年 5 月 20 日から施行する。

附則

この学則は、平成 28 年 11 月 1 日から施行する。

附則（北学総第 28-11367 号）

- この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる薬学部、獣医学部、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科・専攻	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
薬学部	薬学科	1,510名	1,520名	1,530名	1,540名	1,550名	1,560名	
	生命創薬科学科	140名	140名	140名	140名	140名	140名	
	学部計	1,650名	1,660名	1,670名	1,680名	1,690名	1,700名	
獣医学部	獣医学科	720名	720名	720名	720名	720名	720名	
	動物資源科学科	490名	500名	510名	520名	520名	520名	
	生物環境科学科	330名	340名	350名	360名	360名	360名	
	学部計	1,540名	1,560名	1,580名	1,600名	1,600名	1,600名	
海洋生命科学部	海洋生命科学科	660名	680名	700名	720名	720名	720名	
	学部計	660名	680名	700名	720名	720名	720名	
看護学部	看護学科	450名	470名	490名	510名	510名	510名	
	学部計	450名	470名	490名	510名	510名	510名	
理学部	物理学科	203名	206名	209名	212名	212名	212名	
	化学科	320名	320名	320名	320名	320名	320名	
	生物科学科	290名	300名	310名	320名	320名	320名	
	学部計	813名	826名	839名	852名	852名	852名	
医療衛生学部	保健衛生学科	160名	160名	160名	160名	160名	160名	
	医療検査学科	381名	392名	405名	420名	420名	420名	
	医療工学科	臨床工学専攻	421名	430名	443名	460名	460名	460名
		診療放射線技術科学専攻	165名	168名	173名	180名	180名	180名
		診療放射線技術科学専攻	256名	262名	270名	280名	280名	280名
	リハビリテーション学科	理学療法専攻	557名	562名	567名	580名	580名	580名
		理学療法専攻	163名	168名	173名	180名	180名	180名
		作業療法専攻	158名	158名	158名	160名	160名	160名
		言語聴覚療法専攻	118名	118名	118名	120名	120名	120名
	視覚機能療法専攻	118名	118名	118名	120名	120名	120名	
学部計	1,519名	1,544名	1,575名	1,620名	1,620名	1,620名		

- 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 については、獣医学部生物環境科学科、海洋生命科学部、医療衛生学部にあつては平成 29 年度入学者から、薬学部、獣医学部動物資源科学科、医学部、理学部にあつては平成 29 年度入学者及び在学者から適用する。
- 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 3 については、獣医学部生物環境科学科、海洋生命科学部、医療衛生学部にあつては平成 29 年度入学者から、薬学部、獣医学部動物資源科学科、医学部、理学部にあつては平成 29 年度入学者及び在学者から適用する。

附則（北学総第 29-12607 号）

- この学則は、2017 年 9 月 1 日から施行する。
- 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 及び別表 3 については、医療衛生学部にあつては 2017 年度在学者から適用する。

附則（北学総第 29-9539 号、北学総第 29-12607 号）

- この学則は、2018 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 及び別表 3 については、医学部、理学部にあつては、2018 年度入学者及び一部在学者から、医療衛生学部医療検査学科、医療工学科（全専攻）及びリハビリテーショ

ン学科（全専攻）にあつては 2018 年度入学者及び在学者から、薬学部、医療衛生学部保健衛生学科にあつては 2018 年度入学者から適用し、医療衛生学部保健衛生学科の 2018 年度在学者に適用する医療衛生学 4 群科目（保健衛生学科）については、学部において別に定める。

3 第 43 条（学費）に定める別表 6-①については、医学部、看護学部にあつては 2018 年度入学者から適用する。

附則（北学総第 2018-06561 号、北学総第 2018-13684 号）

- 1 この学則は、2019 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 及び別表 3 について、医学部にあつては 2019 年度入学者及び一部在学者から、理学部、医療衛生学部医療検査学科、医療工学科（全専攻）及びリハビリテーション学科（全専攻）にあつては 2019 年度入学者及び在学者から、薬学部、看護学部及び医療衛生学部保健衛生学科にあつては 2019 年度入学者から適用し、看護学部の在学者適用及び医療衛生学部保健衛生学科の 2019 年度在学者に適用する医療衛生学 4 群科目（保健衛生学科）については、学部において別に定める。
- 3 第 20 条（単位の授与及び評価）第 3 項については、2019 年度入学者及び在学者から適用する。
- 4 第 25 条（教員の免許状の所要資格の取得）に定める別表 4-①及び別表 4-②については、2019 年度入学者から適用する。
- 5 第 43 条（学費）に定める別表 6-①については、海洋生命科学部及び理学部にあつては 2019 年度入学者から適用する。
- 6 第 45 条（休学中の学費）については、2019 年度入学者及び在学者から適用する。

附則（北学総第 2019-01219 号、北学総第 2019-03539 号、北学総第 2019-07123 号、北学総第 2019-07444 号、北学総第 2019-13334 号）

- 1 この学則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2020 年度から 2021 年度までの医学部の入学定員を 118 名とする。また、2022 年度から 2023 年度までの医学部の入学定員を 109 名とする。
- 3 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部及び看護学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
医学部	医学科	713名	712名	702名	692名	683名	674名	666名	658名	659名	660名
看護学部	看護学科	505名	500名	495名	500名						

4 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2 及び別表 3 について、獣医学部動物資源科学科にあつては 2020 年度入学者から、医学部にあつては 2020 年度入学者及び在学者から、理学部及び医療衛生学部にあつては 2020 年度入学者及び一部在学者から適用する。

附則（北学総第 2020-03578 号、北学総第 2020-06214 号）

この学則は、2020 年 7 月 1 日から施行する。

附則（北学総第 2020-07168 号）

この学則は、2020 年 11 月 1 日から施行する。

附則（北学総第 2020-04276 号、北学総第 2020-13397 号）

- 1 この学則は、2021 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 2021 年 4 月 1 日をもって、医療衛生学部健康科学科を医療衛生学部保健衛生学科に名称変更し、2021 年度入学者及び在学者から適用する。

医療衛生学部保健衛生学科への名称変更に伴い、第 2 条（教育研究上の目的）に定める別表 1、第 5 条（学部、学科、専攻）、第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）、第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2, 3、第 27 条（卒業の要件及び学士の学位）、平成 29 年 4 月 1 日施行の附則第 2 項、2018 年 4 月 1 日施行の附則第 2 項及び 2019 年 4 月 1 日施行の附則第 2 項の名称を変更する。

- 3 第 10 条（学期）、第 36 条（休学）、第 37 条（休学期間）及び第 38 条（復学）については、2021 年度入学者及び在学者から適用する。
- 4 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2, 3 については、獣医学部生物環境科学科、海洋生命科学部及び医療衛生学部保健衛生学科にあつては 2021 年度入学者から適用する。ただし、医療衛生学 4 群科目については、医療衛生学部（全学科）の 2021 年度入学者及び在学者から適用する。
- 5 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 3 については、理学部生物科学科にあつては 2021 年度入

学者及び一部在学者から適用する。

6 第15条（1年間の授業期間）第2項については、2021年度入学者及び在学者から適用する。

7 第27条（卒業の要件及び学士の学位）については、2021年度入学者及び在学者から適用する。

附則（北学総第2021-04593号）

この学則は、2021年8月1日から施行する。

附則（北学総第2021-03403号、北学総第2021-04597号、北学総第2021-06352号、北学総第2021-10214号、北学総第2021-11472号）

1 この学則は、2022年4月1日から施行する。

2 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2022年度の医学部の入学定員を120名とする。また、2023年度の医学部の入学定員を109名とする。

3 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
医学部	医学科	713名	703名	694名	685名	677名	669名	659名	660名

4 第13条（授業科目及び単位数等）に定める別表2,3については、獣医学部獣医学科及び医学部にあつては2022年度入学者及び在学者から、獣医学部生物環境科学科、看護学部及び医療衛生学部にあつては2022年度入学者から適用する。ただし、医療衛生学4群科目については、医療衛生学部（全学科）の2022年度入学者及び在学者から適用する。

5 第25条（教員の免許状の所要資格の取得）に定める別表4-①については、2022年度入学者から適用する。

6 第36条（休学）、第37条（休学期間）及び第45条（休学期間中の在籍料）については2022年度入学者及び在学者から適用する。

7 第43条（学費）について、薬学部にあつては2022年度入学者から適用する。

附則（北学総第2022-*****号）

この学則は、2023年4月1日から施行する。

別表1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

薬学部	<p>【薬学部】</p> <p>薬学部では、最新の薬学的知識・技能のみならず、豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会における様々な活動に、「薬」の視点を持って積極的に参加できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 基礎と臨床を両輪としたバランスのとれた薬学教育の展開、(2) 豊かな人間性と倫理観を醸成する教育の推進、(3) コミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(4) 基礎と臨床が一体となった研究の展開とします。</p>
	<p>【薬学科】</p> <p>薬学部薬学科では、高度化・細分化された医療の中で、医薬品の適正使用を通して、医療の質を確保するための「薬の専門家」として活躍する薬剤師を養成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 臨床薬学に関連した高度な専門教育と実務教育の充実、(2) 豊かな人間性と医療人としての高い倫理観を醸成する教育の推進、(3) チーム医療に資するためのコミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(4) 薬学・医療の進歩と改善に資するための研究遂行意欲と課題発見・問題解決能力を涵養する教育、(5) 生涯にわたる自己研鑽と次世代育成への意欲と態度を培う教育の推進とします。</p>
	<p>【生命創薬科学科】</p> <p>薬学部生命創薬科学科では、薬学関連領域における多様な人材需要に応えるため、薬剤師としてではなく、薬学の基礎的な知識・技能を基盤に、社会の多様な分野で活躍できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 薬学関連領域における基本的な知識・技能を修得させる教育の充実、(2) 豊かな人間性と倫理観を醸成する教育の推進、(3) 「考える力」(薬学の進歩と改善に資するための研究遂行意欲と課題発見・問題解決能力)を涵養する教育の推進、(4) 科学的なコミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(5) 科学的探究心を向上させる教育の推進とします。</p>
獣医学部	<p>【獣医学部】</p> <p>獣医学部では、動物生命科学を基盤とする高度な専門知識や技術・資格と豊かな人間性を備え、人類の健康と福祉の向上及び持続可能な社会の創生に向け、多様な課題を解決できる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 動物の疾病の予防・治療及び生命現象の科学的解明、(2) 動植物資源の利用と開発、(3) 持続型社会を志向した食料生産と環境保全、(4) 公衆衛生の向上、(5) 農と医の学際的領域の知識・技術の習得とします。</p>
	<p>【獣医学科】</p> <p>獣医学部獣医学科では、獣医学に関する高度な知識と技術及び豊かな人間性を身につけ、適切な問題解決能力を備え、動物と人類の健康と福祉の増進に貢献できる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 動物生命科学、(2) 各種動物の疾病診断・治療・予防、(3) 伴侶動物の高度先端医療、(4) 人獣共通感染症、食の安全を始めとする公衆衛生、(5) 野生動物・環境保全など広範囲な領域における基礎・応用科学基盤を構築し、真理の深奥を究めることとします。</p>
	<p>【動物資源科学科】</p> <p>獣医学部動物資源科学科では、自然と共生・共栄する人間社会に貢献するための問題解決能力を備え、生命科学や医学と接点を持つ動物資源科学に関する高い専門的能力を身に付けた人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 動物資源・食料資源の開発・利用を発展させるための専門的能力の習得、(2) 「農」と「医」の複眼的視点の獲得と異分野へ転移可能な汎用的能力の習得、(3) 知識、技能、行動から構成される総合的な実践力の習得とします。</p>
	<p>【生物環境科学科】</p> <p>獣医学部生物環境科学科では、野生動物と人との共存環境の創出やビオトープなど環境の保全や修復について具体的な提言や技術提供ができる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 持続可能な食料生産環境の確保 (2) 環境保全の推進 (3) 生物多様性の維持など、地球及び地域の環境に調和した生物生産活動と環境保全や環境修復に関する知識・技術とともに環境倫理観の習得とします。</p>
医学部	<p>【医学部医学科】</p> <p>医学部では、広く体系的な知識と確実な技術を持ち、それを深化させるよう最先端の医学知識を意欲的に吸収できるような自己研鑽学習を継続する人材を育成するとともに、開学以来実践されてきた「チーム医療」の実践家となるため、他者に共感し、協働して物事に取り組むことができ、倫理観を持って広く社会に貢献できる人材の育成を目的としています。</p> <p>そのための教育研究上の目的として、(1) 人間性豊かで優れた医師の養成 (2) 学際領域を含む医学研究の推進 (3) 国際貢献の推進と地域医療への協力 (4) 予防医学の推進、の4項目をあげ、教育の基本理念としています。</p>

海洋生命科学部	<p>【海洋生命科学部海洋生命科学科】</p> <p>海洋生命科学部では、海洋生命科学一般の専門技術とその基盤となる学門領域を理解し、国際的な視野を持ち、これらを基に自らの意見を伝える能力、判断力、実践力を持つ人材の育成を目的とします。</p> <p>そのための教育研究上の目的は、(1) 多面的思考能力 (2) 自然科学の基礎知識・理論 (3) 専門分野の知識・技術 (4) 問題解決能力 (5) 実務遂行能力 (6) コミュニケーション能力 (7) 技術者倫理 (8) 継続的学習能力の獲得、達成とします。</p>
看護学部	<p>【看護学部看護学科】</p> <p>看護学部では、生命科学系総合大学のなかで他学部との連携のもとに、高度医療、医療安全の確保、予防医療、介護予防など、多様化した保健医療に対する社会の要請に応えうる幅広い知識と技能を備え、看護専門職者としてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、看護職者の具体的能力として、(1) 人間性、(2) 思考力、(3) 表現能力、(4) 看護実践能力、(5) 改革能力の5つを強化することとしています。</p>
理学部	<p>【理学部】</p> <p>理学部では、物理学・化学・生物科学の分野における高水準の知識と実験技術を身に付け、幅広い視野と柔軟な思考力を兼ね備えた研究者・専門技術者・教育者となる人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 講義、実験、演習を通して、専門分野の高度な研究を遂行するための基礎として必要な知識と実験技術を教授する、(2) 科学的思考力を育成し、研究遂行における課題の設定能力、問題解決能力を身に付けさせることとします。</p>
	<p>【物理学科】</p> <p>理学部物理学科では、自然現象に潜む原理や法則を理解し、多彩な自然現象や物質の性質を解明するための基礎力を身に付け、宇宙論から生命現象まで、さまざまな分野において未知の領域に切り込んでいく力を備えた人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 多様な物理領域の研究を展開するために必要な基礎知識と技術を教授する、(2) 身に付けた知識と技術を基礎研究、応用研究の場で活用できる能力を育成することとします。</p>
	<p>【化学科】</p> <p>理学部化学科では、実社会における多様な製品の生産基盤である物質の性質とその変化に関する基礎知識（構造、反応、機能、合成）を教授し、実践を通して生命科学や環境科学から医療、教育にわたる幅広い分野での研究・開発で活躍できる人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、基礎知識の教授（講義）と実践（実習と演習）による (1) 科学的判断力、(2) 多元的な視点から物質を評価する能力、(3) 能動的な立案、実行力を養成することとします。</p>
	<p>【生物科学科】</p> <p>理学部生物科学科では、生命科学についての高度な知識と研究技能を有するとともに、普遍的な生命現象のしくみを理解し、生物学や基礎医学などの多岐にわたる分野で活躍できる科学的思考能力を備えた人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 最先端の専門的研究を開始するために必要な基礎知識、実験能力、思考力、(2) 生命科学の知識や技術に基づいて複雑な生命活動を分子レベルで解明する能力を養うこととします。</p>
医療衛生学部	<p>【医療衛生学部】</p> <p>医療衛生学部では、高度医療現場においては、チーム医療を支えるメディカルスタッフとして、医療現場の外においては、予防医学と健康科学を主とした人の健康を支えるスタッフとして、幅広い教養と豊かな創造性に富む高度な専門知識と技術の実践力を兼ね備えた人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1) 高度な知識、技術を有する医療従事者の養成、(2) 学際的スペシャリストの養成、(3) 国際的視野を持ち国際社会に通用する人材の養成です。</p>
	<p>【保健衛生学科】</p> <p>医療衛生学部保健衛生学科では、健康な人を対象に、健康の保持・増進のための健康科学や予防医学の観点から、環境・食・労働・こころと健康の関係についての知識を身に付け、衛生的で安全な環境づくりに向けたマネジメント力を備えた人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1) 労働環境その他日常の社会生活の中で起こる種々の健康影響因子のリスク解析やその改善に向けた知識と技術の修得、(2) 職場及び地域社会における安全衛生管理から地球環境の保全までをマネジメントするための幅広い知識と技術の修得です。</p>
	<p>【医療検査学科】</p> <p>医療衛生学部医療検査学科では、人の健康や医療に関わる専門知識と高度な技術を修得し、医療現場においてはチーム医療を理解し実践でき、検体検査や画像診断によって得られた検査データを正確に医師に提供する臨床検査技師の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1) 幅広い教養と豊かな人間性、確固たる倫理観の修得、(2) 臨床検査の基礎となるバイオサイエンス関連知識と研究技術の修得、(3) 病気の診断に不可欠な臨床検査の理論から実際までの修得、(4) 医療現場におけるチーム医療の一員としての重要性の理解と実践力、(5) 問題解決能力の修得です。</p>

	<p>【医療工学科・臨床工学専攻】</p> <p>医療衛生学部医療工学科臨床工学専攻では、生命維持管理装置を中心とした最先端医療機器の操作及び保守点検を的確に行え、医療及び医療技術の変化に対応し、チーム医療の一員として医療に貢献できる臨床工学技士の養成、及び大学、企業、公共機関等で、研究開発、後進の指導的役割を担える人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1) 基礎工学、基礎医学、臨床医学、医療機器学等の学習、(2) 専門知識と技術の修得、(3) チーム医療の一員として必要な知識と技術の修得、(4) 臨床工学の未来に貢献できる研究能力の涵養です。</p>
	<p>【医療工学科・診療放射線技術科学専攻】</p> <p>医療衛生学部医療工学科診療放射線技術科学専攻では、人間の生命や生活の質を理解できる豊かな人間性ととともに、専門的職業人としての高度で専門的な画像検査・放射線治療の知識と技術を備え、医療の質を高めるチーム医療、研究開発、教育指導、地域医療に貢献できる診療放射線技師及び医療従事者の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1) 豊かな人間性の涵養、(2) 放射線の性質や人体への影響等の放射線技術の進歩に即応した放射線基礎科学の学習、(3) 地域社会のニーズに対応する画像検査と放射線治療の体系的学習、(4) 臨床実習を通じた実践的な技術とチーム医療等の専門的知識・技術の修得です。</p>
医療衛生学部	<p>【リハビリテーション学科・理学療法専攻】</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法専攻では、医療と福祉の現場のみならず、地域住民の健康増進や疾病予防など高度で多様化した社会的ニーズに対応できる人材の養成を目的としています。そのため教育研究上の目的は、(1) 高い倫理観を身につけ、自ら考え開拓する力、(2) 年齢や障害の有無に関わらず、対象者の生活機能を客観的に評価する力、(3) 科学的根拠に基づいた理学療法を実践する力、を育てることとします。</p>
	<p>【リハビリテーション学科・作業療法専攻】</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法専攻では、人々の健康と幸福を促進するために、作業療法の専門性を高度に備え、保健・医療・福祉・教育・産業等の分野でリーダーとして貢献できる人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1) 人間の「作業 (occupation)」の特性と作業的存在としての対象者を理解する力、(2) 作業遂行障害を適切に評価・介入する力、(3) 高度な臨床的思考能力、(4) 多職種連携のチーム医療および国際的視点を持った実践ができる力、(5) 発展的自己学習能力と高い人権意識・倫理観を育成することとします。</p>
	<p>【リハビリテーション学科・言語聴覚療法専攻】</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科言語聴覚療法専攻では、言語、聴覚、コミュニケーション、摂食・嚥下などに障害がある人たちが豊かで質の高い生活を送れるように、専門職として支援し、医療・保健福祉・教育に貢献できる言語聴覚士の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1) 関連医学領域、言語学・心理学・音響学等の多彩な専門基礎科目の学習 (2) 適切な評価・介入及び指導を実施するための専門科目の知識・技術の修得です。</p>
	<p>【リハビリテーション学科・視覚機能療法専攻】</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科視覚機能療法専攻では、眼の構造から疾患までの幅広い知識と視機能評価法を修得し、医師と共に適切な治療プログラムを組み、研究を遂行する力を備え、新しい分野の教育・研究ができる視能訓練士の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1) 疾患から最新の研究まで眼の多面的な学習、(2) 視能訓練士に必要な視覚の基礎知識から検査・治療の実践までの段階的修得です。</p>
未来工学部	<p>【未来工学部データサイエンス学科】</p> <p>未来工学部では、「今ここにある問題」のさらに先にある、まだ起きていない未来の課題を工学的手法でいち早く見出し、技術の問題だけにとどまらない複雑で広範囲な社会課題に取り組むとともに、新たな価値を創造する人材の育成を目的とします。</p> <p>データサイエンス学科では、「現在と過去からの蓄積である様々なデータを読み解き、今ある課題を適切に解決するだけでなく、顕在化していない将来の課題を見出す力」を習得した人材を輩出します。そのためには現在そして将来社会に求められる高度なAI技術の知識と技術、データを解析しモデル化することにより深く理解するだけでなく、新たなデータ解析やモデリングのアイデアをプログラムとして実装する能力を身に付けた人材の育成を目的とします。そのための具体的な教育研究上の目的は、(1) 講義、実習、演習を通じ、ライフサイエンスなどの専門分野でのデータサイエンス研究・実務を遂行するための基礎となる知識を習得し、プログラミングをはじめ実験技術を教授する、(2) データサイエンスの数理的背景を理解させ、研究・実務遂行における課題の設定能力、問題解決能力を身に付けさせることとします。</p>
一般教育部	<p>【一般教育部】</p> <p>一般教育部では、幅広い視野と豊かな人間性を涵養する教養教育と、学部教育へのスムーズな橋渡しを可能にする基礎教育を両立させた教育機能を備え、全人的な教養を身につけた生命科学を志向する学生の育成を目的としています。そのため (1) 自然科学教育の充実、(2) 人間形成の基礎科目の展開、(3) 語学、数学および情報処理などの高度基礎教育の実践、(4) コミュニケーション能力の涵養を目標の一つとする実験、演習系科目の提供を教育研究上の目的とします。</p>

別表2

学部	学科	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位		
			必修	選択	自由		必修	選択	計
薬学部	薬学科	薬学1群科目	15	103	3		15	16	31
		文化の領域		24		文化、社会の領域と総合領域科目の選択科目より8単位選択必修 健康の領域、教養演習系及び数理・情報系（情報科学A、B、C）の選択科目より4単位選択必修 数学または発展数学(A+B)のいずれか4単位選択必修		8	8
		社会の領域		40					
		総合領域	1	2			1		1
		健康の領域		14				4	4
		外国語系	4				4		4
		数理・情報系		14				4	4
		自然科学系	10		3		10		10
		教養演習系		9					
		薬学2群科目	10					10	
	薬学3群科目	142	40	7			142	6	148
	薬学4群科目※			4					
	計	167	143	14		167	22	189	
							卒業要件189単位以上		
	生命創薬科学科	薬学1群科目	16	102	3		16	16	32
		文化の領域		24		文化、社会の領域と総合領域科目の選択科目より8単位選択必修 健康の領域、教養演習系及び数理・情報系（情報科学A、B、C）の選択科目より4単位選択必修 数学または発展数学(A+B)のいずれか4単位選択必修		8	8
		社会の領域		40					
		総合領域	2	1			2		2
		健康の領域		14				4	4
外国語系		4			4			4	
数理・情報系			14				4	4	
自然科学系		10		3	10			10	
教養演習系			9						
薬学2群科目		10					10		10
薬学3群科目	71	56			71		17	88	
薬学4群科目※			1						
計	97	158	4		97	33	130		
						卒業要件130単位以上			

※薬学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目を表す。

学部	学科	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位			
			必修	選択	自由		必修	選択	計	
獣医学部	獣医学科	獣医学1群科目	14	115	5		14	22	36	
		文化の領域		24		選択科目より6単位選択必修		6	6	
		社会の領域		40		選択科目より6単位選択必修		6	6	
		健康の領域		14		選択科目より2単位選択必修		2	2	
		総合領域		3						
		外国語系	4			総合領域、数理・情報系、自然科学系、教養演習系の選択科目より8単位選択必修	4	8	12	
		数理・情報系		18	2					
		自然科学系	10	5	3		10		10	
		教養演習系		11						
		獣医学2群科目	11	7		選択科目より4単位選択必修	11	4	15	
	獣医学3群科目	126	12			126	6	132		
	生体機構系	41				41		41		
	予防衛生系	31				31		31		
	臨床系	38	6		エキゾチックアニマル又はプロダクションメディスンより1単位、小動物参加型臨床実習Ⅰ、Ⅱ及び大動物参加型臨床実習Ⅰ、Ⅱより2単位選択必修	38	3	41		
	共通	16	6		選択科目より3単位選択必修	16	3	19		
	獣医学4群科目※									
	計	151	134	5		151	32	183		
								卒業要件183単位以上		
	動物資源科学科	獣医学1群科目	14	111	12		14	20	34	
		文化の領域		24		文化の領域、社会の領域、総合領域から12単位選択必修		12	12	
		社会の領域		40						
		健康の領域		14		選択科目より2単位選択必修		2	2	
		総合領域		3						
		外国語系	4				4		4	
		数理・情報系		20		数理・情報系、自然科学系及び教養演習系の選択科目より6単位選択必修		6	6	
		自然科学系	10	5	8		10		10	
		教養演習系		5	4					
		獣医学2群科目	18	7			18		18	
	獣医学3群科目	45	42		2群、3群の選択科目より27単位選択必修	45		45		
	獣医学4群科目※						27	27		
計	77	160	12		77	47	124			
							卒業要件124単位以上			
生物環境科学科	獣医学1群科目	23	86	23		23	12	35		
	文化の領域		24		選択科目より4単位選択必修		4	4		
	社会の領域		40		選択科目より4単位選択必修		4	4		
	健康の領域		14		選択科目より2単位選択必修		2	2		
	総合領域		3		選択科目より1単位選択必修		1	1		
	外国語系	4				4		4		
	数理・情報系	4		16		4		4		
	自然科学系	15		3		15		15		
	教養演習系		5	4	選択科目より1単位選択必修		1	1		
	獣医学2群科目	19	3	2		19		19		
獣医学3群科目	48	34		2群、3群の選択科目より22単位選択必修	48		48			
獣医学4群科目※						22	22			
計	90	123	25		90	34	124			
							卒業要件124単位以上			

※獣医学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目を表す。

学部	学科	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位		
			必修	選択	自由		必修	選択	計
医学部	医学科	医学1群科目	26単位	75単位	5単位		26単位	10単位	36単位
		文化の領域		24単位		文化、社会、健康(健康の科学A、B、C)、総合領域の選択科目より8単位選択必修		8単位	8単位
		社会の領域		40単位					
		健康の領域	2単位	6単位			2単位		2単位
		総合領域		3単位					
		外国語系	4単位				4単位		4単位
		数理・情報系	8単位				8単位		8単位
		自然科学系	12単位				12単位		12単位
		教養演習系		2単位	5単位	教養演習系科目の言語と文化Aでは、ドイツ語、フランス語のうち、いずれか一方を選択必修	2単位		2単位
		医学2群科目	210時間				210時間		210時間
医学3群科目	4,033時間	3,838時間		選択科目より6科目606時間選択必修	4,033時間	606時間	4,639時間		
2群・3群 時間数計		4,243時間	3,838時間			4,243時間	606時間	4,849時間	
備考		1群科目は単位数で、2群・3群科目は時間数で表す。							
海洋生命科学部	海洋生命科学科	海洋生命科学1群科目	14	107	16		14	18	32
		文化の領域		24		文化、社会、健康の領域、数理・情報系(数学の基礎)、自然科学系(物理学、物理学実験)、教養演習系(言語と文化A、Bを除く)より11単位選択必修			
		社会の領域		40					
		健康の領域		14				11	11
		総合領域		3			総合領域の選択科目より1単位選択必修	1	1
		外国語系	4				4		4
		数理・情報系		16	4		数学または発展数学A、Bより4単位、情報科学A、B、Cより2単位選択必修	6	6
		自然科学系	10	5	8			10	10
		教養演習系		5	4				
		海洋生命科学2群科目	41	3			41		41
海洋生命科学3群科目	34	32	1	2群、3群の選択科目より18単位選択必修	34		34		
海洋生命科学4群科目※						18	18		
計		89	142	17		89	36	125	
		卒業要件125単位以上							
看護学部	看護学科	看護学1群科目	4	117	8		4	22	26
		文化の領域		24		選択科目より4単位選択必修		4	4
		社会の領域		40		選択科目より4単位選択必修		4	4
		健康の領域		14		選択科目より4単位選択必修		4	4
		外国語系	4				4		4
		数理・情報系		20		選択科目より4単位選択必修		4	4
		自然科学系		12	3	選択科目より4単位選択必修		4	4
		総合領域		3	5	選択科目より2単位選択必修			
		教養演習系		4				2	2
		看護学2群科目	22	13		3群の選択科目より4単位選択必修、	22		22
看護学3群科目	70	19	34	その他2群、3群それぞれの選択科目より6単位選択必修	70		70		
看護学4群科目※						10	10		
計		96	149	42		96	32	128	
		卒業要件128単位以上							

※海洋生命科学4群科目、看護学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目を表す。

学部	学科	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位			
			必修	選択	自由		必修	選択	計	
理学部	物理学科	理学1群科目	4	96			4	12	16	
		文化の領域		24		1群の選択科目より12単位選択必修 12単位のうち、4単位以上は文化、社会、健康、総合領域科目から選択必修		12	12	
		社会の領域		40						
		健康の領域		14						
		総合領域		3						
		外国語系	4				4		4	
		数理・情報系		6						
		教養演習系		9						
		理学2群科目	14	5			14		14	
		理学3群科目	59	74	2	2群、3群の選択科目より35単位選択必修	59		59	
							35	35		
	理学4群科目※			1						
	計	77	175	3		77	47	124		
								卒業要件124単位以上		
	化学科	理学1群科目	4	96			4	12	16	
		文化の領域		24		1群の選択科目より12単位選択必修 12単位のうち、4単位以上は文化、社会、健康、総合領域科目から選択必修		12	12	
		社会の領域		40						
		健康の領域		14						
総合領域			3							
外国語系		4			4			4		
数理・情報系			6							
教養演習系			9							
理学2群科目		18	7			18		18		
理学3群科目		68	46	2	2群、3群の選択科目より22単位選択必修	68		68		
						22	22			
理学4群科目※			1							
計	90	149	3		90	34	124			
							卒業要件124単位以上			
生物科学科	理学1群科目	4	96			4	12	16		
	文化の領域		24		1群の選択科目より12単位選択必修 12単位のうち、4単位以上は文化、社会、健康、総合領域科目から選択必修		12	12		
	社会の領域		40							
	健康の領域		14							
	総合領域		3							
	外国語系	4				4		4		
	数理・情報系		6							
	教養演習系		9							
	理学2群科目	16	11			16		16		
	理学3群科目	66	56	2	2群、3群の選択科目より26単位選択必修	66		66		
						26	26			
理学4群科目※			1							
計	86	163	3		86	38	124			
							卒業要件124単位以上			

※理学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目、単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目及び総合的な能力を形成する科目を表す。

学部	学科	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位		
			必修	選択	自由		必修	選択	計
医療衛生学部	保健衛生学科 (環境保健学コース)	医療衛生学1群科目	16	100	15		16	17	33
		文化の領域		24		文化の領域、総合領域科目、教養演習系の選択科目より4単位選択必修		4	4
		社会の領域		40		選択科目より4単位選択必修		4	4
		健康の領域		8	6	選択科目より2単位選択必修		2	2
		総合領域		3		文化の領域、総合領域科目、教養演習系の選択科目より4単位選択必修			
		外国語系	4				4		4
		数理・情報系	7	6	6	選択科目より2単位選択必修	7	2	9
		自然科学系	5	10	3	選択科目より5単位選択必修	5	5	10
		教養演習系		9		文化の領域、総合領域科目、教養演習系の選択科目より4単位選択必修			
		医療衛生学2群科目	38	16			38		38
	医療衛生学3群科目	25	25	1		25		25	
					2群、3群の選択科目より32単位を選択必修		32	32	
	医療衛生学4群科目※			13					
	計	79	141	29		79	49	128	
						卒業要件128単位以上			
	保健衛生学科 (臨床心理学コース)	医療衛生学1群科目	20	96	15		20	15	35
		文化の領域		24		文化の領域、総合領域科目、教養演習系の選択科目より4単位選択必修		4	4
		社会の領域	4	36		選択科目より2単位選択必修	4	2	6
		健康の領域		8	6	選択科目より2単位選択必修		2	2
		総合領域		3		文化の領域、総合領域科目、教養演習系の選択科目より4単位選択必修			
外国語系		4				4		4	
数理・情報系		7	6	6	選択科目より2単位選択必修	7	2	9	
自然科学系		5	10	3	選択科目より5単位選択必修	5	5	10	
教養演習系			9		文化の領域、総合領域科目、教養演習系の選択科目より4単位選択必修				
医療衛生学2群科目		36	24			36		36	
医療衛生学3群科目	32	27			32		32		
				2群、3群の選択科目より21単位を選択必修		21	21		
医療衛生学4群科目※			13						
計	88	147	28		88	36	124		
					卒業要件124単位以上				

※医療衛生学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目等を表す。

学部	学科	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位		
			必修	選択	自由		必修	選択	計
医療衛生学部	医療検査学科	医療衛生学1群科目	12	108	11		12	21	33
		文化の領域		24		選択科目より4単位選択必修		4	4
		社会の領域		40		選択科目より2単位選択必修		2	2
		健康の領域		8	6	選択科目より2単位選択必修		2	2
		総合領域		3		総合領域科目、教養演習系科目の選択科目より2単位選択必修		2	2
		外国語系	4				4		4
		数理・情報系	3	14	2	選択科目より6単位選択必修	3	6	9
		自然科学系	5	10	3	選択科目より5単位選択必修	5	5	10
		教養演習系		9		総合領域科目、教養演習系科目の選択科目より2単位選択必修			
		医療衛生学2群科目	28				28		28
医療衛生学3群科目	78		6		78		78		
医療衛生学4群科目※			13						
計	118	108	30		118	21	139		
							卒業要件139単位以上		

※医療衛生学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目等を表す。

学部 学科	専攻	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位		
			必修	選択	自由		必修	選択	計
医療衛生学部 医療工学科	臨床工学専攻	医療衛生学1群科目	22	83	28		22	10	32
		文化の領域		24		文化の領域、総合領域科目の選択科目より2単位選択必修		2	2
		社会の領域		40		選択科目より2単位選択必修		2	2
		健康の領域		8	6	選択科目より2単位選択必修		2	2
		総合領域		3		文化の領域、総合領域科目の選択科目より2単位選択必修			
		外国語系	4				4		4
		数理・情報系	3	8	10	選択科目より4単位選択必修	3	4	7
		自然科学系	15		3		15		15
		教養演習系			9				
		医療衛生学2群科目	40		4		40		40
	医療衛生学3群科目	62				62		62	
	医療衛生学4群科目※			13					
	計	124	83	45		124	10	134	
						卒業要件134単位以上			
	診療放射線技術科学専攻	医療衛生学1群科目	7	98	28		7	20	27
		文化の領域		24		文化の領域、総合領域科目の選択科目より2単位選択必修		2	2
		社会の領域		40		選択科目より2単位選択必修		2	2
		健康の領域		8	6	選択科目より2単位選択必修		2	2
		総合領域		3		文化の領域、総合領域科目の選択科目より2単位選択必修			
		外国語系	4				4		4
数理・情報系		3	8	10	選択科目より4単位選択必修	3	4	7	
自然科学系			15	3	選択科目より10単位選択必修		10	10	
教養演習系				9					
医療衛生学2群科目		21	3			21		21	
医療衛生学3群科目	88	4	1	2群、3群の選択科目より3単位選択必修	88		88		
						3	3		
医療衛生学4群科目※			13						
計	116	105	42		116	23	139		
					卒業要件139単位以上				

※医療衛生学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目等を表す。

学部 学科	専攻	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位			
			必修	選択	自由		必修	選択	計	
医療衛生学部 リハビリテーション学科	理学療法学専攻	医療衛生学1群科目	16	86	31		16	15	31	
		文化の領域		24		文化の領域、総合領域科目、教養演習系科目の選択科目より4単位選択必修		4	4	
		社会の領域		40		選択科目より4単位選択必修		4	4	
		健康の領域	2		12		2		2	
		総合領域		3		文化の領域、総合領域科目、教養演習系科目の選択科目より4単位選択必修				
		外国語系	4				4		4	
		数理・情報系	5	8	8	選択科目より2単位選択必修	5	2	7	
		自然科学系	5	10	3	選択科目より5単位選択必修	5	5	10	
		教養演習系		1	8	文化の領域、総合領域科目、教養演習系科目の選択科目より4単位選択必修				
		医療衛生学2群科目	38	10		選択科目より2単位選択必修	38	2	40	
	医療衛生学3群科目	64	7	1	選択科目より3単位選択必修	64	3	67		
	医療衛生学4群科目※			13						
	計	118	103	45		118	20	138		
								卒業要件138単位以上		
	作業療法学専攻	医療衛生学1群科目	18	100	15		18	14	32	
		文化の領域		24		文化の領域、総合領域科目の選択科目より2単位選択必修		2	2	
		社会の領域	4	36		選択科目より2単位選択必修	4	2	6	
		健康の領域		8	6	選択科目より2単位選択必修		2	2	
		総合領域		3		文化の領域、総合領域科目の選択科目より2単位選択必修				
		外国語系	4				4		4	
数理・情報系		9	6	6	選択科目より2単位選択必修	9	2	11		
自然科学系			15	3	選択科目より5単位選択必修		5	5		
教養演習系		1	8		選択科目より1単位選択必修	1	1	2		
医療衛生学2群科目		32	15		選択科目より3単位選択必修	32	3	35		
医療衛生学3群科目	64	4	1	選択科目より2単位選択必修	64	2	66			
医療衛生学4群科目※			13							
計	114	119	29		114	19	133			
							卒業要件133単位以上			

※医療衛生学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目等を表す。

学部 学科	専攻	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位			
			必修	選択	自由		必修	選択	計	
医療衛生学部 リハビリテーション学科	言語聴覚療法学専攻	医療衛生学1群科目	9	97	27		9	16	25	
		文化の領域		24		文化の領域、総合領域科目、教養演習系科目の選択科目より4単位選択必修		4	4	
		社会の領域		40		選択科目より4単位選択必修		4	4	
		健康の領域		8	6	選択科目より2単位選択必修		2	2	
		総合領域		3		文化の領域、総合領域科目、教養演習系科目の選択科目より4単位選択必修				
		外国語系	4				4		4	
		数理・情報系	5	6	10	選択科目より2単位選択必修	5	2	7	
		自然科学系		15	3	選択科目より4単位選択必修		4	4	
		教養演習系		1	8	文化の領域、総合領域科目、教養演習系科目の選択科目より4単位選択必修				
		医療衛生学2群科目	45	4		選択科目より2単位選択必修	45	2	47	
	医療衛生学3群科目	59				59		59		
	医療衛生学4群科目※			13						
	計	113	101	40		113	18	131		
								卒業要件131単位以上		
	視覚機能療法学専攻	医療衛生学1群科目	14	91	28		14	14	28	
		文化の領域		24		文化の領域、総合領域科目の選択科目より2単位選択必修		2	2	
		社会の領域		40		選択科目より2単位選択必修		2	2	
		健康の領域		8	6	選択科目より2単位選択必修		2	2	
		総合領域		3		文化の領域、総合領域科目の選択科目より2単位選択必修				
		外国語系	4				4		4	
数理・情報系		5	8	8	選択科目より4単位選択必修	5	4	9		
自然科学系		5	8	5	選択科目より4単位選択必修	5	4	9		
教養演習系				9						
医療衛生学2群科目		45		3		45		45		
医療衛生学3群科目	44	20			44	10	54			
医療衛生学4群科目※			13							
計	103	111	44		103	24	127			
							卒業要件127単位以上			

※医療衛生学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目等を表す。

学部	学科	授 業 科 目	単 位 数			履 修 方 法	卒 業 要 件 単 位			
			必修	選択	自由		必修	選択	計	
未来工学部	データサイエンス学科	未来工学1群科目	24	79	11		24	8	32	
		文化の領域		24		1群科目から8単位選択必修 8単位のうち、4単位は文化の領域、 社会の領域、健康の領域、総合領域 科目から選択必修		8	8	
		社会の領域		40						
		健康の領域		8						
		総合領域		3						
		外国語系	4					4		4
		数理・情報系	10	4				10		10
		自然科学系	10		2			10		10
		教養演習系			9					
		未来工学2群科目	20	6		2群、3群の選択科目から28単位 選択必修	20		20	
未来工学3群科目	44	39			44		44			
						28	28			
未来工学4群科目※										
計	88	124	11		88	36	124			
						卒業要件124単位以上				

※未来工学4群科目は本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目等を表す。

別表 3

- (1) ◎印は必修科目、無印は選択科目、※印は自由科目を表す。
 (2) 数字は単位数を表す。(医学3群科目においては時間数を表す。)
 (3) 自由科目は卒業単位に含まない。
 (4) 履修方法は各学部規則の定めるところによる。

薬学1群科目(薬学科)

人間形成の基礎科目		日本と国際社会 A	2	数理・情報系	
文化の領域		日本と国際社会 B	2	数学	4
哲学の楽しみ A	2	環境を考える A	2	発展数学 A	2
哲学の楽しみ B	2	環境を考える B	2	発展数学 B	2
科学を考える A	2	歴史と人間 A	2	情報科学 A	2
科学を考える B	2	歴史と人間 B	2	情報科学 B	2
芸術の楽しみ A	2	心理学 A	2	情報科学 C	2
芸術の楽しみ B	2	心理学 B	2	自然科学系	
倫理学 A	2	健康の領域		◎ 物理学	4
倫理学 B	2	健康の科学 A	2	◎ 物理学実験	1
文学の楽しみ A	2	健康の科学 B	2	◎ 生物学	4
文学の楽しみ B	2	健康の科学 C	2	◎ 生物学実験	1
信仰と救い A	2	健康とスポーツ演習	2	※ 物理学要習	1
信仰と救い B	2	ライフスポーツ演習 A	2	※ 化学要習	1
社会の領域		ライフスポーツ演習 B	2	※ 生物学要習	1
日本国憲法 A	2	ライフスポーツ演習 C	2	教養演習系科目	
日本国憲法 B	2	総合領域科目		教養演習系	
法律の役割 A	2	総合領域		教養演習 A	2
法律の役割 B	2	◎ 北里の世界	1	教養演習 B	1
経済のしくみ A	2	仕事と人生	1	教養演習 C	1
経済のしくみ B	2	農医連携論	1	大学基礎演習	1
個人と社会 A	2	基礎教育科目		言語と文化 A	2
個人と社会 B	2	外国語系		言語と文化 B	2
政治のしくみ A	2	◎ 英語 A I	1		
政治のしくみ B	2	◎ 英語 A II	1		
文化人類学 A	2	◎ 英語 B I	1		
文化人類学 B	2	◎ 英語 B II	1		

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。

薬学1群科目（生命創薬科学科）

人間形成の基礎科目	日本と国際社会A	2	数理・情報系	
文化の領域	日本と国際社会B	2	数学	4
哲学の楽しみA	環境を考えるA	2	発展数学A	2
哲学の楽しみB	環境を考えるB	2	発展数学B	2
科学を考えるA	歴史と人間A	2	情報科学A	2
科学を考えるB	歴史と人間B	2	情報科学B	2
芸術の楽しみA	心理学A	2	情報科学C	2
芸術の楽しみB	心理学B	2	自然科学系	
倫理学A	健康の領域		◎ 物理学	4
倫理学B	健康の科学A	2	◎ 物理学実験	1
文学の楽しみA	健康の科学B	2	◎ 生物学	4
文学の楽しみB	健康の科学C	2	◎ 生物学実験	1
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	※ 物理学要習	1
信仰と救いB	ライフスポーツ演習A	2	※ 化学要習	1
社会の領域	ライフスポーツ演習B	2	※ 生物学要習	1
日本国憲法A	ライフスポーツ演習C	2	教養演習系科目	
日本国憲法B	総合領域科目		教養演習系	
法律の役割A	総合領域		教養演習A	2
法律の役割B	◎ 北里の世界	1	教養演習B	1
経済のしくみA	◎ 仕事と人生	1	教養演習C	1
経済のしくみB	農医連携論	1	大学基礎演習	1
個人と社会A	基礎教育科目		言語と文化A	2
個人と社会B	外国語系		言語と文化B	2
政治のしくみA	◎ 英語A I	1		
政治のしくみB	◎ 英語A II	1	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
文化人類学A	◎ 英語B I	1		
文化人類学B	◎ 英語B II	1		

薬学2群科目（薬学科・生命創薬科学科共通）

◎ 化学	1	◎ 有機化学 I	1	◎ 英語C II	1
◎ 基礎有機化学	1	◎ 情報リテラシー I	1	◎ 医薬品構造学 I	1
◎ 代数学	1	◎ 情報リテラシー II	1		
◎ 統計学	1	◎ 英語C I	1		

薬学3群科目（薬学科）

◎ 薬学概論	1	◎ 薬物治療学Ⅰ	1	文献講読ゼミC	1
◎ 薬用植物学	1	◎ 医療心理学	1	医療ボランティア実習C	1
◎ 薬と仕事Ⅰ	1	◎ 臨床検査学Ⅰ	1	◎ 医薬品安全性学Ⅱ	1
◎ 解剖学	1	◎ 公衆衛生学Ⅰ	1	◎ 医薬関連制度	1
◎ 生化学Ⅰ	1	◎ 微生物学実習Ⅰ	1	◎ 臨床薬物動態学	1
◎ 生理学Ⅰ	1	◎ 微生物学実習Ⅱ	1	◎ 薬物治療学Ⅳ	1
◎ チーム医療論	1	◎ 物理薬剤学実習	1	◎ 地域医療薬学Ⅲ	1
◎ 有機化学Ⅱ	1	薬学英语Ⅰ	1	◎ 医療倫理学	1
◎ 分析科学Ⅰ	1	細胞生物学	1	◎ 病院・薬局実習事前実習	4
◎ 生薬学Ⅰ	1	構造生命科学	1	薬品製造化学	1
◎ 生命物理化学Ⅰ	1	放射薬品学実習	1	臨床試験総論	1
◎ 生化学Ⅱ	1	文献講読ゼミA	1	臨床栄養学	1
◎ 微生物学Ⅰ	1	医療ボランティア実習A	1	救急治療・臨床中毒学	1
◎ 生理学Ⅱ	1	◎ 製剤学	1	創薬化学	1
◎ 薬理学Ⅰ	1	◎ 合成化学Ⅱ	1	リハビリテーション論	1
◎ 病理学	1	◎ 東洋医学概論	1	文献講読ゼミD	1
◎ 薬学統計学	1	◎ 生物薬剤学	1	医療ボランティア実習D	1
◎ 薬と仕事Ⅱ	1	◎ 衛生化学Ⅱ	1	◎ 病院・薬局実習	20
健康科学	1	◎ 臨床医学概論Ⅱ	1	◎ 薬事行政	1
◎ 医薬品化学実習	1	◎ 疾病解析学	1	臨床統計学	1
◎ 有機分析実習	1	◎ 薬物治療学Ⅱ	1	ケミカルバイオロジー論	1
◎ 定量分析実習	1	◎ 調剤学	1	香粧品学	1
◎ 社会薬学実習	1	◎ 地域医療薬学Ⅰ	1	医薬品マーケティング論	1
◎ 有機化学Ⅲ	1	◎ 衛生化学実習	1	医療薬学英语	1
◎ 分析科学Ⅱ	1	◎ 公衆衛生学実習	1	終末期・緩和医療論	1
◎ 生薬学Ⅱ	1	◎ 薬理学実習Ⅰ	1	生薬・東洋医学精説	1
◎ 生命物理化学Ⅱ	1	◎ 薬理学実習Ⅱ	1	感染制御学	1
◎ 生化学Ⅲ	1	薬学英语Ⅱ	1	◎ 薬物治療学演習Ⅰ	1
◎ 微生物学Ⅱ	1	医薬品構造学Ⅱ	1	◎ 薬物治療学演習Ⅱ	1
◎ 化学療法学Ⅰ	1	臨床生理学Ⅰ	1	◎ チーム医療演習	1
◎ 薬理学Ⅱ	1	臨床生化学	1	医療コミュニケーション演習	1
◎ 病態評価学	1	文献講読ゼミB	1	薬局管理学	1
◎ 医療コミュニケーション論	1	医療ボランティア実習B	1	臨床検査学Ⅱ	1
◎ ゲノム医学	1	◎ 医薬品化学	1	臨床病理学	1
◎ 生命物理化学実習	1	◎ 薬物速度論	1	◎ 薬学卒業特別実習	10
◎ 生薬学実習	1	◎ 公衆衛生学Ⅱ	1	◎ 薬学総合演習	20
◎ 生化学実習	1	◎ 臨床医学概論Ⅲ	1	※ 初級太極拳演習（養生法演習）	1
◎ 有機合成実習	1	◎ 医薬品安全性学Ⅰ	1	※ 漢方調剤薬局実務演習	1
◎ 分析科学Ⅲ	1	◎ 医薬品情報学	1	※ 臨床生理学実習	1
◎ 合成化学Ⅰ	1	◎ 薬事関係法規	1	※ 臨床検査学実習	1
◎ 衛生化学Ⅰ	1	◎ 薬物治療学Ⅲ	1	※ 臨床化学実習	1
◎ 放射薬品学	1	◎ 地域医療薬学Ⅱ	1	※ 医用工学概論実習	1
◎ 免疫学	1	◎ 医療薬学	1	※ 臨床検査総論実習	1
◎ 化学療法学Ⅱ	1	◎ プレゼンテーション実習	1		
◎ 薬理学Ⅲ	1	看護学	1		
◎ 臨床医学概論Ⅰ	1	物理薬剤学Ⅱ	1		
◎ 物理薬剤学Ⅰ	1	健康食品論	1		
臨床心理学入門	1	臨床生理学Ⅱ	1		

※印は自由科目（臨床検査技師課程に関する科目を含む）であり、卒業要件単位に含まない。

薬学4群科目（薬学科）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目			
実践医療薬学A	1	実践医療薬学B	1
基礎有機化学演習	1	実践医療薬学C	1

薬学3群科目（生命創薬科学科）

◎ 薬学概論	1	◎ 衛生化学Ⅰ	1	医薬品化学	1
◎ 薬用植物学	1	◎ 放射薬品学	1	公衆衛生学Ⅱ	1
◎ 創薬科学への招待	1	◎ 免疫学	1	医薬品安全性学Ⅰ	1
◎ 解剖学	1	◎ 化学療法学Ⅱ	1	医薬品情報学	1
◎ 生化学Ⅰ	1	◎ 薬理学Ⅲ	1	薬物速度論	1
◎ 生理学Ⅰ	1	◎ 細胞生物学	1	臨床医学概論Ⅲ	1
◎ 生命創薬科学研究概説	1	◎ 構造生命科学	1	看護学	1
チーム医療論	1	◎ 創薬情報科学	1	物理薬剤学Ⅱ	1
◎ 有機化学Ⅱ	1	◎ 公衆衛生学Ⅰ	1	健康食品論	1
◎ 分析科学Ⅰ	1	◎ 文献講読ゼミA	1	臨床病理学	1
◎ 生薬学Ⅰ	1	◎ 微生物学実習Ⅰ	1	臨床統計学	1
◎ 生命物理化学Ⅰ	1	◎ 微生物学実習Ⅱ	1	ケミカルバイオロジー論	1
◎ 生化学Ⅱ	1	◎ 物理薬剤学実習	1	香粧品学	1
◎ 微生物学Ⅰ	1	物理薬剤学Ⅰ	1	医薬品マーケティング論	1
◎ 生理学Ⅱ	1	薬物治療学Ⅰ	1	生薬・東洋医学精説	1
◎ 薬理学Ⅰ	1	医療心理学	1	感染制御学	1
◎ 薬学統計学	1	臨床医学概論Ⅰ	1	薬物治療学Ⅲ	1
◎ 生命創薬科学Ⅰ	1	薬学英语Ⅰ	1	地域医療薬学Ⅱ	1
病理学	1	放射薬品学実習	1	医療薬学	1
健康科学	1	◎ 合成化学Ⅱ	1	臨床生理学Ⅱ	1
◎ 医薬品化学実習	1	◎ 衛生化学Ⅱ	1	◎ 医薬関連制度	1
◎ 有機分析実習	1	◎ 衛生化学実習	1	医薬品安全性学Ⅱ	1
◎ 定量分析実習	1	◎ 公衆衛生学実習	1	薬品製造化学	1
社会薬学実習	1	◎ 薬理学実習Ⅰ	1	臨床薬物動態学	1
◎ 有機化学Ⅲ	1	◎ 薬理学実習Ⅱ	1	臨床試験総論	1
◎ 分析科学Ⅱ	1	◎ 文献講読ゼミB	1	臨床栄養学	1
◎ 生薬学Ⅱ	1	製剤学	1	救急治療・臨床中毒学	1
◎ 生命物理化学Ⅱ	1	東洋医学概論	1	リハビリテーション論	1
◎ 生化学Ⅲ	1	生物薬剤学	1	薬物治療学Ⅳ	1
◎ 微生物学Ⅱ	1	臨床医学概論Ⅱ	1	地域医療薬学Ⅲ	1
◎ 化学療法学Ⅰ	1	疾病解析学	1	医療倫理学	1
◎ 薬理学Ⅱ	1	薬学英语Ⅱ	1	◎ 生命創薬科学特別演習	2
◎ ゲノム医学	1	医薬品構造学Ⅱ	1	◎ 生命創薬科学卒業特別実習	10
◎ 生命創薬科学Ⅱ	1	臨床生理学Ⅰ	1		
◎ 生命物理化学実習	1	臨床生化学	1		
◎ 生薬学実習	1	理論分子設計学	1		
◎ 生化学実習	1	創薬化学	1		
◎ 有機合成実習	1	薬物治療学Ⅱ	1		
病態評価学	1	調剤学	1		
医療コミュニケーション論	1	地域医療薬学Ⅰ	1		
◎ 分析科学Ⅲ	1	◎ 薬事行政	1		
◎ 合成化学Ⅰ	1	◎ 薬事関係法規	1		

薬学4群科目（生命創薬科学科）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目		
基礎有機化学演習	1	

獣医学1群科目（獣医学科）

人間形成の基礎科目	歴史と人間A	2	情報科学C	2
文化の領域	歴史と人間B	2	自然科学系	
哲学の楽しみA	心理学A	2	物理学	4
哲学の楽しみB	心理学B	2	物理学実験	1
科学を考えるA	健康の領域		◎ 化学	4
科学を考えるB	健康の科学A	2	◎ 化学実験	1
芸術の楽しみA	健康の科学B	2	◎ 生物学	4
芸術の楽しみB	健康の科学C	2	◎ 生物学実験	1
倫理学A	健康とスポーツ演習	2	※ 物理学要習	1
倫理学B	ライフスポーツ演習A	2	※ 化学要習	1
文学の楽しみA	ライフスポーツ演習B	2	※ 生物学要習	1
文学の楽しみB	ライフスポーツ演習C	2	教養演習系科目	
信仰と救いA	総合領域科目		教養演習系	
信仰と救いB	総合領域		教養演習A	2
社会の領域	北里の世界	1	教養演習B	1
日本国憲法A	仕事と人生	1	教養演習C	1
日本国憲法B	農医連携論	1	大学基礎演習	1
法律の役割A	基礎教育科目		言語と文化A	2
法律の役割B	外国語系		言語と文化B	2
経済のしくみA	◎ 英語A I	1		
経済のしくみB	◎ 英語A II	1		
個人と社会A	◎ 英語B I	1		
個人と社会B	◎ 英語B II	1		
政治のしくみA	数理・情報系			
政治のしくみB	数学	4		
文化人類学A	統計学A	4		
文化人類学B	※ 数学の基礎	2		
日本と国際社会A	発展数学A	2		
日本と国際社会B	発展数学B	2		
環境を考えるA	情報科学A	2		
環境を考えるB	情報科学B	2		

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。

獣医学2群科目（獣医学科）

◎ 獣医学入門	1	◎ 獣医専門英語II	1	病院経営学	1
◎ 獣医学入門実習	1	◎ 獣医専門英語III	1	検定英語	1
◎ 動物分類学	1	◎ 獣医専門英語IV	1		
◎ 生物統計学	1	動物品種論	1		
◎ 畜産学概論	1	動物育種学	1		
◎ 動物栄養学	1	家畜飼育学	1		
◎ 生命工学	1	畜産物利用学	1		
◎ 獣医専門英語I	1	海棲哺乳動物学	1		

獣医学3群科目（獣医学科）

生体機構系科目		◎ 獣医ウイルス学実習	1	◎ 獣医臨床放射線学実習	1.5
◎ 動物遺伝学	1	◎ 獣医免疫学Ⅰ	1	◎ 小動物総合臨床学Ⅰ	2
◎ 動物行動学	1	◎ 獣医免疫学Ⅱ	1	◎ 小動物総合臨床学Ⅱ	2
◎ 獣医解剖学Ⅰ	1	◎ 獣医寄生虫病学Ⅰ	1	◎ 小動物総合臨床学Ⅲ	2
◎ 獣医解剖学Ⅱ	2	◎ 獣医寄生虫病学Ⅱ	2	◎ 小動物総合臨床学実習Ⅰ	1
◎ 獣医解剖学Ⅲ	2	◎ 獣医寄生虫病学実習	1	◎ 小動物総合臨床学実習Ⅱ	1
◎ 獣医解剖学実習Ⅰ	1	◎ 獣医感染症学Ⅰ	1	◎ 小動物総合臨床学実習Ⅲ	1
◎ 獣医解剖学実習Ⅱ	1	◎ 獣医感染症学Ⅱ	1	◎ 小動物病院実習	2
◎ 獣医解剖学実習Ⅲ	1	◎ 獣医感染症学Ⅲ	1	◎ 大動物総合臨床学Ⅰ	2
◎ 獣医生理学Ⅰ	1	◎ 獣医感染症学実習	1	◎ 大動物総合臨床学Ⅱ	2
◎ 獣医生理学Ⅱ	2	◎ 鳥類疾病学	2	◎ 大動物総合臨床学Ⅲ	2
◎ 獣医生理学Ⅲ	2	◎ 鳥類疾病学実習	1	◎ 大動物総合臨床学実習Ⅰ	1
◎ 獣医生理学実習Ⅰ	1	◎ 獣医公衆衛生学総論	1	◎ 大動物総合臨床学実習Ⅱ	1
◎ 獣医生理学実習Ⅱ	1	◎ 食品衛生学	1	◎ 大動物総合臨床学実習Ⅲ	1
◎ 獣医生化学Ⅰ	1	◎ 環境衛生学	1	◎ 大動物病院実習	1
◎ 獣医生化学Ⅱ	2	◎ 獣医公衆衛生学実習Ⅰ	1	エキゾチックアニマル	1
◎ 獣医生化学実習	1	◎ 獣医公衆衛生学実習Ⅱ	1	プロダクションメディスン	1
◎ 分子生物学	1	◎ 獣医衛生学Ⅰ	1	小動物参加型臨床実習Ⅰ	1
◎ 獣医基礎放射線学	1	◎ 獣医衛生学Ⅱ	1	小動物参加型臨床実習Ⅱ	1
◎ 獣医薬理学Ⅰ	1	◎ 獣医衛生学実習	1	大動物参加型臨床実習Ⅰ	1
◎ 獣医薬理学Ⅱ	2	◎ 人獣共通感染症学	1	大動物参加型臨床実習Ⅱ	1
◎ 獣医薬理学実習Ⅰ	1	◎ 獣医疫学	1		
◎ 獣医薬理学実習Ⅱ	1	◎ 魚病学	1	◎ 獣医学概論	1
◎ 獣医病理学Ⅰ	2	◎ 野生動物学	1	共◎ 獣医倫理・動物福祉学	1
◎ 獣医病理学Ⅱ	2	臨床系科目		◎ 獣医畜産関係法規	1
◎ 獣医病理学実習Ⅰ	2	◎ 臨床栄養学	1	◎ 総合獣医学	5
◎ 獣医病理学実習Ⅱ	1	◎ 獣医内科学	2	◎ 卒業論文	8
◎ 実験動物学	2	◎ 獣医内科学実習	1	特定講義Ⅰ	1
◎ 実験動物学実習	1	◎ 獣医外科学	2	特定講義Ⅱ	1
◎ 毒性学	2	◎ 獣医外科学実習	1	特定講義Ⅲ	1
◎ 毒性学実習	1	◎ 麻酔学・救急医療学	1	特定講義Ⅳ	1
予防衛生系科目		◎ 麻酔学・救急医療学実習	0.5	学外実習Ⅰ	1
◎ 獣医微生物学総論Ⅰ	1	◎ 獣医臨床繁殖学	2	学外実習Ⅱ	1
◎ 獣医微生物学総論Ⅱ	1	◎ 獣医臨床繁殖学実習	1		
◎ 獣医細菌学	1	◎ 獣医臨床病理学	1		
◎ 獣医細菌学実習	1	◎ 獣医臨床病理学実習	1		
◎ 獣医ウイルス学	1	◎ 獣医臨床放射線学	2		

獣医学4群科目（獣医学科）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目

獣医学1群科目（動物資源科学科）

人間形成の基礎科目	心理学A	2	◎ 化学	4
文化の領域	心理学B	2	◎ 化学実験	1
哲学の楽しみA	健康の領域		◎ 生物学	4
哲学の楽しみB	健康の科学A	2	◎ 生物学実験	1
科学を考えるA	健康の科学B	2	※ 物理学要習	1
科学を考えるB	健康の科学C	2	※ 化学要習	1
芸術の楽しみA	健康とスポーツ演習	2	※ 生物学要習	1
芸術の楽しみB	ライフスポーツ演習A	2	※ 地学	4
倫理学A	ライフスポーツ演習B	2	※ 地学実験	1
倫理学B	ライフスポーツ演習C	2	教養演習系科目	
文学の楽しみA	総合領域科目		教養演習系	
文学の楽しみB	総合領域		教養演習A	2
信仰と救いA	北里の世界	1	教養演習B	1
信仰と救いB	仕事と人生	1	教養演習C	1
社会の領域	農医連携論	1	大学基礎演習	1
日本国憲法A	基礎教育科目		※ 言語と文化A	2
日本国憲法B	外国語系		※ 言語と文化B	2
法律の役割A	◎ 英語A I	1		
法律の役割B	◎ 英語A II	1		
経済のしくみA	◎ 英語B I	1		
経済のしくみB	◎ 英語B II	1		
個人と社会A	数理・情報系			
個人と社会B	数学	4		
政治のしくみA	統計学A	4		
政治のしくみB	数学の基礎	2		
文化人類学A	発展数学A	2		
文化人類学B	発展数学B	2		
日本と国際社会A	情報科学A	2		
日本と国際社会B	情報科学B	2		
環境を考えるA	情報科学C	2		
環境を考えるB	自然科学系			
歴史と人間A	物理学	4		
歴史と人間B	物理学実験	1		

※印は自由科目（教職課程の教科に関する科目を含む）であり、卒業要件単位に含まない。

獣医学2群科目（動物資源科学科）

◎ 動物資源科学概論1	2	◎ 分子生物学	2	人と動物関係学	1
◎ 動物資源科学概論2	2	◎ 分子生物学実習	1	動物福祉論	2
◎ 生物有機化学	2	◎ 生物統計学	2	検定英語	1
◎ 家畜品種論	2	◎ 専門英語	2		
◎ 牧場実習	1	野生動物学	2		
◎ 免疫学	2	食と健康関係学	1		

獣医学 3 群科目 (動物資源科学科)

◎ 動物生理学	2	◎ 動物健康情報学実習	1	農医連携特定講義 1	1
◎ 動物解剖学	2	◎ 卒業論文	8	農医連携特定講義 2	1
◎ 動物解剖学実習	1	草地学	2	生命倫理学	2
◎ 動物飼育管理学	2	飼料学	2	農医連携特定実習 1	1
◎ 動物飼育管理学実習	1	家畜飼育管理学各論	2	農医連携特定実習 2	1
◎ 食品科学	2	伴侶動物行動学	1	農医連携特定実習 3	1
◎ 食品科学実習	1	人工授精・胚移植論	1	農医連携特定実習 4	1
◎ 食品機能安全学	2	家畜審査論	1		
◎ 食品機能安全学実習	1	動物検査学	1		
◎ 動物栄養学	2	畜産食品化学	2		
◎ 動物栄養学実習	1	動物微生物学	2		
◎ 分析化学	2	代謝機能学	2		
◎ 動物生殖学	2	家畜病理学	2		
◎ 動物生殖学実習	1	生体情報学	2		
◎ 動物生化学	2	実験動物学	2		
◎ 動物生化学実習	1	発生工学	2		
◎ 動物感染予防学	2	食品衛生学	2		
◎ 動物感染予防学実習	1	応用微生物学	2		
◎ 応用動物行動学	2	生体分子機能学	1		
◎ 応用動物行動学実習	1	食品製造保蔵学	2		
◎ 動物育種学	2	動物資源科学特定講義 1	1		
◎ 細胞工学	2	動物資源科学特定講義 2	1		
◎ 細胞工学実習	1	インターンシップ	1		

獣医学 4 群科目 (動物資源科学科)

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目

獣医学1群科目（生物環境科学科）

人間形成の基礎科目	心理学A	2	◎ 化学	4
文化の領域	心理学B	2	◎ 化学実験	1
哲学の楽しみA	健康の領域		◎ 生物学	4
哲学の楽しみB	健康の科学A	2	◎ 生物学実験	1
科学を考えるA	健康の科学B	2	※ 物理学要習	1
科学を考えるB	健康の科学C	2	※ 化学要習	1
芸術の楽しみA	健康とスポーツ演習	2	※ 生物学要習	1
芸術の楽しみB	ライフスポーツ演習A	2	教養演習系科目	
倫理学A	ライフスポーツ演習B	2	教養演習系	
倫理学B	ライフスポーツ演習C	2	教養演習A	2
文学の楽しみA	総合領域科目		教養演習B	1
文学の楽しみB	総合領域		教養演習C	1
信仰と救いA	北里の世界	1	大学基礎演習	1
信仰と救いB	仕事と人生	1	※ 言語と文化A	2
社会の領域	農医連携論	1	※ 言語と文化B	2
日本国憲法A	基礎教育科目			
日本国憲法B	外国語系			
法律の役割A	◎ 英語A I	1		
法律の役割B	◎ 英語A II	1		
経済のしくみA	◎ 英語B I	1		
経済のしくみB	◎ 英語B II	1		
個人と社会A	数理・情報系			
個人と社会B	◎ 数学	4		
政治のしくみA	※ 統計学A	4		
政治のしくみB	※ 数学の基礎	2		
文化人類学A	※ 発展数学A	2		
文化人類学B	※ 発展数学B	2		
日本と国際社会A	※ 情報科学A	2		
日本と国際社会B	※ 情報科学B	2		
環境を考えるA	※ 情報科学C	2		
環境を考えるB	自然科学系			
歴史と人間A	◎ 物理学	4		
歴史と人間B	◎ 物理学実験	1		

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。

獣医学2群科目（生物環境科学科）

◎ 生物環境科学概論 I	2	* ◇ 応用力学演習	1	
◎ 生物環境科学概論 II	2	* ◎ 応用統計学	2	※印は教職課程の教科に関する科目であり、卒業要件単位に含まない。
◎ 環境倫理・法規	2	◎ データサイエンス	2	
◎ 生物環境科学実習	1	◎ データサイエンス実習	1	*印は測量士補の資格を得る為に必要な測量専修の科目である。
◎ 基礎生態学	2	◎ 動物科学概論	2	
◎ 植物科学概論	2	◎ 専門英語	1	◇印は修習技術者の資格を得る為に必要な科目である。
* ◇ 応用力学	2	※ 職業指導	2	

獣医学 3 群科目 (生物環境科学科)

* ◎ 水環境学	2	* ◇ 応用数学演習	1	応用動物行動学	2
* ◎ 水環境学実験	1	水棲動物学	1	動物環境衛生学	2
◎ 緑地保全学	2	◎ 環境分析学	2	◇ 環境マテリアル・施工学	2
◎ 緑地保全学実験	1	環境分析学実験	1	* ◎ 生態リモートセンシング*	2
* ◎ 測量学 I	2	* ◇ 測量学 II	2	気象環境学	2
* ◎ 測量学実習 I	1	* ◇ 測量学実習 II	1	◇ 環境経済学	1
* ◇ 水理学	2	◇ CAD演習	1	◇ 生物環境科学特定講義 I	1
* ◎ 土壌環境学	2	* 生態計測学	2	◇ 生物環境科学特定講義 II	1
* ◎ 土壌環境学実験	1	◎ 分子生物学	2		
◎ 野生動物学	2	* ◎ 地域資源利用学	2		
◎ 野生動物学実習	1	* ◇ 環境情報解析学演習	1		
◎ 環境情報学	2	◇ インターンシップ	1		
* ◎ 環境計画学	2	◇ 災害復興学	1		
* ◇ 土壌物理学	2	◎ 卒業論文	8		
* ◎ 環境情報学実験	1	動物生体機構学	2		
◎ 植物生態環境学	2	* ◇ 水理学演習	1		
環境微生物学	2	◎ 狩猟学	2		
* ◎ 水文学	2	◎ 動物生態学	2		
* ◇ 土質工学	2	◎ 里山生態学	2		
◎ 土壌科学概論	2				

*印は測量士補の資格を得る為に必要な測量専修の科目である。
◇印は修習技術者の資格を得る為に必要な科目である。

獣医学 4 群科目 (生物環境科学科)

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目

医学1群科目（医学科）

人間形成の基礎科目		歴史と人間A	2	教養演習系科目	
文化の領域		歴史と人間B	2	教養演習系	
哲学の楽しみA	2	心理学A	2	※ 教養演習A	2
哲学の楽しみB	2	心理学B	2	※ 教養演習B	1
科学を考えるA	2	健康の領域		※ 教養演習C	1
科学を考えるB	2	健康の科学A	2	※ 大学基礎演習	1
芸術の楽しみA	2	健康の科学B	2	言語と文化A	2
芸術の楽しみB	2	健康の科学C	2		
倫理学A	2	健康とスポーツ演習	2		
倫理学B	2	総合領域科目			
文学の楽しみA	2	総合領域			
文学の楽しみB	2	北里の世界	1		
信仰と救いA	2	仕事と人生	1		
信仰と救いB	2	農医連携論	1		
社会の領域		基礎教育科目			
日本国憲法A	2	外国語系			
日本国憲法B	2	◎ 英語A I	1		
法律の役割A	2	◎ 英語A II	1		
法律の役割B	2	◎ 英語B I	1		
経済のしくみA	2	◎ 英語B II	1		
経済のしくみB	2	数理・情報系			
個人と社会A	2	◎ 数学	4		
個人と社会B	2	◎ 統計学A	4		
政治のしくみA	2	自然科学系			
政治のしくみB	2	◎ 物理学	3		
文化人類学A	2	◎ 物理学実験	1		
文化人類学B	2	◎ 化学	3		
日本と国際社会A	2	◎ 化学実験	1		
日本と国際社会B	2	◎ 生物学	3		
環境を考えるA	2	◎ 生物学実験	1		
環境を考えるB	2			※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	

医学2群科目（医学科）（数字は授業時間数）

◎ 医学原論・医学原論演習	47	◎ タンパク質化学	23	◎ 医学英語II	39
◎ 生化学序説	18	◎ 放射線健康リスク科学	12		
◎ 細胞生物学	30	◎ 医学英語I	41		

医学3群科目（医学科）（数字は授業時間数）

基礎医学					
(解剖学)		(生理学)		(生化学)	
◎ 組織学	35	◎ 生理学	78	◎ 代謝学	42
◎ 組織学実習	57	◎ 生理学実習	33	◎ 医化学・栄養学	36
◎ 解剖・発生学Ⅰ	30			◎ 分子医化学実習	24
◎ 解剖・発生学Ⅱ	15				
◎ 解剖・発生学Ⅲ	15				
◎ 解剖学実習	138				
◎ 神経解剖学・実習	27				
(微生物学)		(寄生虫学・熱帯医学)		(病理学)	
◎ 微生物学総論・実習	57	◎ 寄生虫学・熱帯医学	24	◎ 病理学総論	24
				◎ 病理学総論実習	24
(薬理学)		(分子遺伝学)		(免疫学)	
◎ 薬理学総論	30	◎ 臨床遺伝学	15	◎ 免疫学総論・実習	39
◎ 薬理学実習	33	◎ 遺伝子学	30		
(実験動物学)		(東洋医学)			
◎ 実験動物学・実習	15	◎ 東洋医学	12	◎ 統合基礎医学	12
器官系別総合					
◎ 神経系	36	◎ 老年医学	12	◎ 運動器系診断・治療学	17
◎ 循環器系	35	◎ 感染症・免疫系診断・治療学	39	◎ 腎尿路系診断・治療学	27
◎ 呼吸器系	36	◎ 神経系診断・治療学	48	◎ 画像・臨床検査診断学	24
◎ 消化器系	32	◎ 循環器系診断・治療学	60	◎ 精神系診断・治療学	36
◎ 血液造血器系	24	◎ 呼吸器系診断・治療学	38	◎ 皮膚系診断・治療学	18
◎ 内分泌・代謝系	29	◎ 消化器系診断・治療学	74	◎ 視覚系診断・治療学	24
◎ 生殖機能妊娠分娩系	24	◎ 血液造血器系診断・治療学	23	◎ 耳鼻咽喉・頭頸部系診断・治療学	27
◎ 運動器系	14	◎ 内分泌・代謝系診断・治療学	35	◎ 救急侵襲医療系診断・治療学	32
◎ 腎尿路系	26	◎ 生殖機能妊娠分娩系診断・治療学	51		
◎ 基礎腫瘍系	12	◎ 成長発達系診断・治療学	59		
◎ 臨床腫瘍系	23				
社会医学					
(衛生学・公衆衛生学)		(法医学)		(医療安全・管理学)	
◎ 予防医学系	48	◎ 法医学系	38	◎ 医療安全・管理学	12
◎ 衛生・公衆衛生実習	31	法医学実習（選択実習）	101		
公衆衛生実習（選択実習）	101				

臨床医学		
(内科学)	(外科学)	(小児科学)
◎ 内科学総論(臨床実習入門含) 102	◎ 外科学総論 21	◎ 小児科実習 101
◎ 消化器内科実習 66	◎ 外科実習 136	小児科実習(選択実習) 101
◎ 内分泌・代謝内科実習 66	外科実習(選択実習) 101	
◎ 循環器内科実習 66		
◎ 脳神経内科実習 66		
◎ 血液内科実習 66		
◎ 腎臓内科実習 66		
◎ 呼吸器内科実習 66		
◎ 膠原病・感染内科実習 66		
消化器内科実習(選択実習) 101		
内分泌・代謝内科実習(選択実習) 101		
循環器内科実習(選択実習) 101		
脳神経内科実習(選択実習) 101		
血液内科実習(選択実習) 101		
腎臓内科実習(選択実習) 101		
呼吸器内科実習(選択実習) 101		
膠原病・感染内科実習(選択実習) 101		
(産婦人科学)	(臨床検査診断学)	(形成外科・美容外科学)
◎ 産婦人科実習 101	◎ 臨床検査診断学実習 31	◎ 形成外科・美容外科実習 31
産婦人科実習(選択実習) 101	臨床検査診断学実習(選択実習) 101	形成外科・美容外科実習(選択実習) 101
(救命救急医学)	(心臓血管外科学)	(呼吸器外科学)
◎ 救命救急医学実習 31	◎ 心臓血管外科実習 31	◎ 呼吸器外科実習 31
救命救急医学実習(選択実習) 101	心臓血管外科実習(選択実習) 101	呼吸器外科実習(選択実習) 101
(脳神経外科学)	(放射線科学)	
◎ 脳神経外科実習 31	◎ 放射線科実習 31	◎ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習 31
脳神経外科実習(選択実習) 101	画像診断学実習(選択実習) 101	耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習(選択実習) 101
	放射線腫瘍学実習(選択実習) 101	
(眼科学)	(整形外科)	(泌尿器科学)
◎ 眼科実習 31	◎ 整形外科実習 31	◎ 泌尿器科実習 31
眼科実習(選択実習) 101	整形外科実習(選択実習) 101	泌尿器科実習(選択実習) 101
(皮膚科学)	(精神科学)	(麻醉科学)
◎ 皮膚科実習 31	◎ 精神科実習 101	◎ 麻醉科実習 31
皮膚科実習(選択実習) 101	精神科実習(選択実習) 101	麻醉科実習(選択実習) 101
(病理学)	(総合診療医学)	(東洋医学)
◎ 病理学臨床実習 31	◎ 総合診療医学実習 101	東洋医学実習(選択実習) 101
病理実習(選択実習) 101	総合診療医学実習(選択実習) 101	
学外実習Ⅰ(選択実習) 101	学外実習Ⅳ(選択実習) 101	臨床実習(KMC・北研病院)(選択実習) 101
学外実習Ⅱ(選択実習) 101	学外実習Ⅴ(選択実習) 101	◎ 総合講義 195
学外実習Ⅲ(選択実習) 101	学外実習Ⅵ(選択実習) 101	
関連科目		
◎ テュートリアル教育Ⅰ 18	◎ 医学研究入門Ⅱ 120	◎ 行動科学・医療面接 15
◎ テュートリアル教育Ⅱ 21	◎ 早期体験学習Ⅰ 15	◎ 医用情報学 15
◎ 医学研究入門Ⅰ 15	◎ 早期体験学習Ⅱ 62	◎ チーム医療論 23

海洋生命科学1群科目（海洋生命科学科）

人間形成の基礎科目	心理学A	2	◎ 化学	4
文化の領域	心理学B	2	◎ 化学実験	1
哲学の楽しみA	健康の領域		◎ 生物学	4
哲学の楽しみB	健康の科学A	2	◎ 生物学実験	1
科学を考えるA	健康の科学B	2	※ 物理学要習	1
科学を考えるB	健康の科学C	2	※ 化学要習	1
芸術の楽しみA	健康とスポーツ演習	2	※ 生物学要習	1
芸術の楽しみB	ライフスポーツ演習A	2	※ 地学	4
倫理学A	ライフスポーツ演習B	2	※ 地学実験	1
倫理学B	ライフスポーツ演習C	2	教養演習系科目	
文学の楽しみA	総合領域科目		教養演習系	
文学の楽しみB	総合領域		教養演習A	2
信仰と救いA	北里の世界	1	教養演習B	1
信仰と救いB	仕事と人生	1	教養演習C	1
社会の領域	農医連携論	1	大学基礎演習	1
日本国憲法A	基礎教育科目		※ 言語と文化A	2
日本国憲法B	外国語系		※ 言語と文化B	2
法律の役割A	◎ 英語A I	1		
法律の役割B	◎ 英語A II	1		
経済のしくみA	◎ 英語B I	1		
経済のしくみB	◎ 英語B II	1		
個人と社会A	数理・情報系			
個人と社会B	数学	4		
政治のしくみA	※ 統計学A	4		
政治のしくみB	数学の基礎	2		
文化人類学A	発展数学A	2		
文化人類学B	発展数学B	2		
日本と国際社会A	情報科学A	2		
日本と国際社会B	情報科学B	2		
環境を考えるA	情報科学C	2		
環境を考えるB	自然科学系			
歴史と人間A	物理学	4		
歴史と人間B	物理学実験	1		

※印は自由科目（教職課程の教科に関する科目を含む）であり、卒業要件単位に含まない。

海洋生命科学 2 群科目 (海洋生命科学科)

◎ 海洋生命科学概論	2	◎ 発生生物学	2	◎ 海洋生命科学実験Ⅲ	3
◎ ラーニング・スキル	1	◎ 遺伝学	1	海洋実習	1
◎ 生物海洋学	2	◎ 免疫学	1	インターンシップ	1
◎ 微生物学	2	◎ 生物統計学	2	P C 演習	1
◎ 有機化学	2	◎ プレゼンテーション	1		
◎ 分子生物学	2	◎ 科学英語 I A	1		
◎ 無脊椎動物学	2	◎ 科学英語 I B	1		
◎ 魚類学	2	◎ 科学英語 II A	1		
◎ 分析化学	2	◎ 科学英語 II B	1		
◎ 解剖生理学	2	◎ 海洋生命科学実験 I	3		
◎ 生化学	2	◎ 海洋生命科学実験 II	3		

海洋生命科学 3 群科目 (海洋生命科学科)

◎ 水族生理学	2	海洋分子内分分泌学	1	特別講義 II	1
◎ 環境科学	2	水族育種学	1	体験実習	1
◎ 水圏植物学	2	食品安全学	1	※ 水産学特論	1
◎ 浮遊生物学	2	食品微生物学	1		
◎ 海洋生物利用学	2	海洋生物資源化学	1		
◎ 水圏生態学	2	食品機能成分論	1		
◎ 栄養科学	1	魚病学	1		
◎ 食品衛生学	2	資源解析学	2		
◎ 水族増殖学	2	海洋生命工学	2		
◎ 海洋生物化学	2	魚類栄養学	1		
◎ 技術者倫理	1	有毒有害生物論	1		
◎ 海洋生命科学演習	4	持続的資源利用論	2		
◎ 卒業論文	10	深海生物学	1		
漁業学	2	水産物流通論	1		
水生動物行動学	1	水産経済学	1	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
海産哺乳動物学	1	水産法規	1		
海洋化学生態学	1	国際海洋政策	1		
病原微生物学	2	環境修復論	1		
魚類行動生理学	1	特別講義 I	1		

海洋生命科学 4 群科目 (海洋生命科学科)

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目

看護学1群科目（看護学科）

人間形成の基礎科目	環境を考えるB	2	情報科学A	2
文化の領域	歴史と人間A	2	情報科学B	2
哲学の楽しみA	歴史と人間B	2	情報科学C	2
哲学の楽しみB	心理学A	2	自然科学系	
科学を考えるA	心理学B	2	物理学	4
科学を考えるB	健康の領域		化学	4
芸術の楽しみA	健康の科学A	2	生物学	4
芸術の楽しみB	健康の科学B	2	※物理学要習	1
倫理学A	健康の科学C	2	※化学要習	1
倫理学B	健康とスポーツ演習	2	※生物学要習	1
文学の楽しみA	ライフスポーツ演習A	2	教養演習系科目	
文学の楽しみB	ライフスポーツ演習B	2	教養演習系	
信仰と救いA	ライフスポーツ演習C	2	教養演習A	2
信仰と救いB	総合領域科目		教養演習B	1
社会の領域	総合領域		教養演習C	1
日本国憲法A	北里の世界	1	※大学基礎演習	1
日本国憲法B	仕事と人生	1	※言語と文化A	2
法律の役割A	農医連携論	1	※言語と文化B	2
法律の役割B	基礎教育科目			
経済のしくみA	外国語系			
経済のしくみB	◎英語A I	1		
個人と社会A	◎英語A II	1		
個人と社会B	◎英語B I	1		
政治のしくみA	◎英語B II	1		
政治のしくみB	数理・情報系			
文化人類学A	数学	4		
文化人類学B	統計学A	4		
日本と国際社会A	数学の基礎	2		
日本と国際社会B	発展数学A	2		
環境を考えるA	発展数学B	2		

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。

看護学2群科目（看護学科）

◎看護機能形態学I	2	◎健康情報分析学	1	教育心理学	2
◎看護機能形態学II	2	◎臨床薬理学	2	教育原論	2
◎看護機能形態学III	2	◎症候・病態疾病論II	2	疫学	2
◎看護機能形態学IV	2	◎症候・病態疾病論III	2	教育相談論	2
◎看護機能形態学実験	1	◎環境保健科学	2	保健医療福祉行政論	1
◎症候・病態疾病論I	2	臨床心理学	2	先端医療論	1
◎看護福祉政策論	2	専門英語演習	1		

看護学3群科目（看護学科）

◎ 看護学原論	2	◎ 国際看護論	1	公衆衛生看護学Ⅰ	2
◎ 基礎看護技術Ⅰ	1	◎ 健康教育学	1	看護キャリア開発論	1
◎ 基礎看護技術Ⅱ	1	◎ 看護倫理	1	助産学概論	1
◎ 基礎看護技術Ⅲ	1	◎ 看護マネジメント論	1	学校保健学	1
◎ 看護過程演習	1	◎ チーム医療論演習Ⅱ	1	女性の健康援助論	1
◎ 感染看護学	2	◎ 災害看護学	1	基礎助産学	1
◎ 生涯発達看護学	1	◎ 課題研究	2	国際看護論演習	2
◎ 看護課題解決技法演習	1	◎ 看護基礎実習Ⅰ	1	感染管理論	1
◎ 地域ケアシステム論	1	◎ 看護基礎実習Ⅱ	2	地域アセスメント論Ⅰ	1
◎ フィジカルアセスメント演習	1	◎ 感染看護学実習	1	創造的看護論	1
◎ 慢性期看護学	2	◎ 慢性期看護学実習	3	臨床看護総習	2
◎ 精神保健学	2	◎ 急性期看護学実習	3	※ 公衆衛生看護学Ⅱ	2
◎ 健康相談論	1	◎ 生涯発達看護学実習	1	※ 地域アセスメント論Ⅱ	2
◎ 緩和ケア看護論	2	◎ 小児生涯発達看護学演習	1	※ 公衆衛生看護学実習	4
◎ 家族看護論	1	◎ 小児生涯発達看護学実習	2	※ 助産診断・技術学Ⅰ	2
◎ 看護研究論	1	◎ 母性生涯発達看護学演習	1	※ 助産診断・技術学Ⅱ	2
◎ 臨床看護技術演習Ⅰ	1	◎ 母性生涯発達看護学実習	2	※ 助産診断・技術学演習	1
◎ 臨床看護技術演習Ⅱ	1	◎ 老年生涯発達看護学実習	3	※ 助産管理学	1
◎ 急性期看護学	2	◎ 精神看護学実習	3	※ 助産学実習Ⅰ	1
◎ 小児生涯発達看護学	2	◎ 在宅看護学実習	2	※ 助産学実習Ⅱ	10
◎ 母性生涯発達看護学	2	◎ 統合実習	2	※ 養護概説	2
◎ 老年生涯発達看護学	2	チーム医療論演習Ⅰ	1	※ 養護実習	5
◎ 精神看護学	2	看護コミュニケーション論	2	※ 教職実践演習（養護）	2
◎ 在宅看護学	2	女性の健康科学	2		

※印は自由科目（教職課程の教科に関する科目を含む）であり、卒業要件単位に含まない。

看護学4群科目（看護学科）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目

理学1群科目（物理学科）

人間形成の基礎科目		日本と国際社会 A	2	数理・情報系	
文化の領域		日本と国際社会 B	2	情報科学 A	2
哲学の楽しみ A	2	環境を考える A	2	情報科学 B	2
哲学の楽しみ B	2	環境を考える B	2	情報科学 C	2
科学を考える A	2	歴史と人間 A	2	教養演習系科目	
科学を考える B	2	歴史と人間 B	2	教養演習系	
芸術の楽しみ A	2	心理学 A	2	教養演習 A	2
芸術の楽しみ B	2	心理学 B	2	教養演習 B	1
倫理学 A	2	健康の領域		教養演習 C	1
倫理学 B	2	健康の科学 A	2	大学基礎演習	1
文学の楽しみ A	2	健康の科学 B	2	言語と文化 A	2
文学の楽しみ B	2	健康の科学 C	2	言語と文化 B	2
信仰と救い A	2	健康とスポーツ演習	2		
信仰と救い B	2	ライフスポーツ演習 A	2		
社会の領域		ライフスポーツ演習 B	2		
日本国憲法 A	2	ライフスポーツ演習 C	2		
日本国憲法 B	2	総合領域科目			
法律の役割 A	2	総合領域			
法律の役割 B	2	北里の世界	1		
経済のしくみ A	2	仕事と人生	1		
経済のしくみ B	2	農医連携論	1		
個人と社会 A	2	基礎教育科目			
個人と社会 B	2	外国語系			
政治のしくみ A	2	◎ 英語 A I	1		
政治のしくみ B	2	◎ 英語 A II	1		
文化人類学 A	2	◎ 英語 B I	1		
文化人類学 B	2	◎ 英語 B II	1		

理学2群科目（物理学科）

◎ 基礎化学 I	2	◎ 英語 C I	1	地学	2
◎ 基礎化学 II	2	◎ 英語 C II	1	地学実験	1
◎ 基礎化学実験	1	◎ 基礎生物学実験	1	統計学	2
◎ 基礎生物学 I	2	◎ 科学英語 I	1		
◎ 基礎生物学 II	2	◎ 科学英語 II	1		

理学3群科目（物理学科）

◎ 線形代数Ⅰ	2	◎ 理学特別講義	2	反応機構学Ⅰ	2
◎ 線形代数Ⅱ	2	◎ ゼミナール	4	量子化学Ⅰ	2
◎ 力学Ⅰ	2	◎ 卒業研究	8	生物化学Ⅰ	2
◎ 力学Ⅱ	2	生物物理学序論	2	生物化学Ⅱ	2
◎ 情報科学	2	電磁気学Ⅱ	2	量子化学Ⅱ	2
◎ 微分積分Ⅰ	2	電磁気学演習Ⅱ	2	物理化学Ⅱ	2
◎ 微分積分Ⅱ	2	物理数学Ⅱ	2	分子構造学	2
◎ 力学演習Ⅰ	2	解析力学	2	物理化学Ⅲ	2
◎ 力学演習Ⅱ	1	熱統計力学演習	2	錯体化学	2
◎ 物理学概論	1	熱統計力学Ⅱ	2	放射化学	2
◎ 物理計測入門	1	量子力学Ⅱ	2	地球化学	2
◎ 電磁気学Ⅰ	2	量子エレクトロニクス	2	進化系統学	2
◎ 熱統計力学Ⅰ	2	物質科学Ⅱ	2	分子生物学	2
◎ 物理数学Ⅰ	2	相対性理論	2	細胞生物学Ⅰ	2
◎ 物質科学Ⅰ	2	固体物理学	2	生体防御学	2
◎ 現代物理学	2	生物物理化学	2	生体機能学	2
◎ 電磁気学演習Ⅰ	2	生物物理学Ⅱ	2	代謝学Ⅰ	2
◎ プログラミング演習Ⅰ	2	量子力学演習Ⅰ	2	※ 知的財産論	2
◎ 物理実験学	2	量子力学演習Ⅱ	2		
◎ 物理学実験A	2	生物システム学演習Ⅰ	2		
◎ 量子力学Ⅰ	2	生物システム学演習Ⅱ	2		
◎ 生物物理学Ⅰ	2	プログラミング演習Ⅱ-A	1		
◎ 物理学実験B	2	プログラミング演習Ⅱ-B	1	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含めない。	
◎ 物理学実験演習	2	物理化学Ⅰ	2		

理学4群科目（物理学科）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目、単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目及び総合的な能力を形成する科目

※ 海外短期留学プログラム 1

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含めない。

理学1群科目（化学科）

人間形成の基礎科目		日本と国際社会 A	2	数理・情報系	
文化の領域		日本と国際社会 B	2	情報科学 A	2
哲学の楽しみ A	2	環境を考える A	2	情報科学 B	2
哲学の楽しみ B	2	環境を考える B	2	情報科学 C	2
科学を考える A	2	歴史と人間 A	2	教養演習系科目	
科学を考える B	2	歴史と人間 B	2	教養演習系	
芸術の楽しみ A	2	心理学 A	2	教養演習 A	2
芸術の楽しみ B	2	心理学 B	2	教養演習 B	1
倫理学 A	2	健康の領域		教養演習 C	1
倫理学 B	2	健康の科学 A	2	大学基礎演習	1
文学の楽しみ A	2	健康の科学 B	2	言語と文化 A	2
文学の楽しみ B	2	健康の科学 C	2	言語と文化 B	2
信仰と救い A	2	健康とスポーツ演習	2		
信仰と救い B	2	ライフスポーツ演習 A	2		
社会の領域		ライフスポーツ演習 B	2		
日本国憲法 A	2	ライフスポーツ演習 C	2		
日本国憲法 B	2	総合領域科目			
法律の役割 A	2	総合領域			
法律の役割 B	2	北里の世界	1		
経済のしくみ A	2	仕事と人生	1		
経済のしくみ B	2	農医連携論	1		
個人と社会 A	2	基礎教育科目			
個人と社会 B	2	外国語系			
政治のしくみ A	2	◎ 英語 A I	1		
政治のしくみ B	2	◎ 英語 A II	1		
文化人類学 A	2	◎ 英語 B I	1		
文化人類学 B	2	◎ 英語 B II	1		

理学2群科目（化学科）

◎ 基礎数学 I	2	◎ 基礎物理学実験	1	地学	2
◎ 基礎数学 II	2	◎ 基礎生物学実験	1	地学実験	1
◎ 基礎物理学 I	2	◎ 英語 C I	1	基礎物理学Ⅲ	2
◎ 基礎物理学 II	2	◎ 英語 C II	1	統計学	2
◎ 基礎生物学 I	2	◎ 科学英語 I	1		
◎ 基礎生物学 II	2	◎ 科学英語 II	1		

理学3群科目（化学科）

◎ 物理化学概論	2	◎ 分子機能化学	2	天然物化学	2
◎ 物質化学概論	2	◎ 分子構造学	2	量子力学Ⅰ	2
◎ 基礎化学演習	2	◎ 機器分析学演習	1	熱統計力学Ⅰ	2
◎ 物理化学Ⅰ	2	◎ 物理化学演習	2	熱統計力学Ⅱ	2
◎ 有機化学Ⅰ	2	◎ 無機化学演習	2	生物物理学序論	2
◎ 無機化学Ⅰ	2	◎ 物理化学実験	2	生物物理学Ⅱ	2
◎ 化学実験	1	◎ 機器分析実践演習	2	量子エレクトロニクス	2
◎ 物理化学Ⅱ	2	◎ 理学特別講義	2	分子生物学	2
◎ 量子化学Ⅰ	2	◎ ゼミナール	4	遺伝子工学	2
◎ 反応機構学Ⅰ	2	◎ 卒業研究	8	分子発生学Ⅰ	2
◎ 機器分析学	2	放射化学	2	生体防御学	2
◎ 有機化学Ⅱ	2	地球化学	2	生体機能学	2
◎ 無機化学Ⅱ	2	基礎情報科学演習	2	※ 知的財産論	2
◎ 分子構築学	2	有機光化学	2		
◎ 生物化学Ⅰ	2	構造有機化学	2		
◎ 有機化学演習	2	錯体化学	2		
◎ 無機化学実験	2	界面化学	2		
◎ 有機化学実験	2	高分子化学	2		
◎ 合成有機化学	2	微生物化学	2		
◎ 生物化学Ⅱ	2	量子化学Ⅱ	2	※印は自由科目であり、卒業要件	
◎ 反応機構学Ⅱ	2	物理化学Ⅲ	2	単位に含めない。	

理学4群科目（化学科）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目、単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目及び総合的な能力を形成する科目	
※ 海外短期留学プログラム	1 ※印は自由科目であり、卒業要件単位に含めない。

理学1群科目（生物科学科）

人間形成の基礎科目		日本と国際社会 A	2	数理・情報系	
文化の領域		日本と国際社会 B	2	情報科学 A	2
哲学の楽しみ A	2	環境を考える A	2	情報科学 B	2
哲学の楽しみ B	2	環境を考える B	2	情報科学 C	2
科学を考える A	2	歴史と人間 A	2	教養演習系科目	
科学を考える B	2	歴史と人間 B	2	教養演習系	
芸術の楽しみ A	2	心理学 A	2	教養演習 A	2
芸術の楽しみ B	2	心理学 B	2	教養演習 B	1
倫理学 A	2	健康の領域		教養演習 C	1
倫理学 B	2	健康の科学 A	2	大学基礎演習	1
文学の楽しみ A	2	健康の科学 B	2	言語と文化 A	2
文学の楽しみ B	2	健康の科学 C	2	言語と文化 B	2
信仰と救い A	2	健康とスポーツ演習	2		
信仰と救い B	2	ライフスポーツ演習 A	2		
社会の領域		ライフスポーツ演習 B	2		
日本国憲法 A	2	ライフスポーツ演習 C	2		
日本国憲法 B	2	総合領域科目			
法律の役割 A	2	総合領域			
法律の役割 B	2	北里の世界	1		
経済のしくみ A	2	仕事と人生	1		
経済のしくみ B	2	農医連携論	1		
個人と社会 A	2	基礎教育科目			
個人と社会 B	2	外国語系			
政治のしくみ A	2	◎ 英語 A I	1		
政治のしくみ B	2	◎ 英語 A II	1		
文化人類学 A	2	◎ 英語 B I	1		
文化人類学 B	2	◎ 英語 B II	1		

理学2群科目（生物科学科）

◎ 基礎数学 I	2	◎ 基礎物理学実験	1	基礎物理学Ⅲ	2
◎ 基礎数学 II	2	◎ 基礎化学実験	1	現代化学 I	2
◎ 基礎物理学 I	2	◎ 英語 C I	1	現代化学 II	2
◎ 基礎物理学 II	2	◎ 英語 C II	1	統計学	2
◎ 基礎化学 I	2	地学	2		
◎ 基礎化学 II	2	地学実験	1		

理学3群科目（生物科学科）

◎ 生物科学入門Ⅰ	2	◎ 生体機能学	2	生物物理学Ⅱ	2
◎ 生物科学入門Ⅱ	2	◎ 免疫学Ⅰ	2	化学熱力学	2
◎ 生物化学	2	◎ 免疫学Ⅱ	2	反応機構学Ⅰ	2
◎ 微生物学	2	◎ 遺伝子工学実験	1	有機化学Ⅰ	2
◎ 生物科学原著講読Ⅰ	2	◎ 分子発生学実験Ⅱ	1	有機化学Ⅱ	2
◎ 生物科学原著講読Ⅱ	2	◎ 生体防御学実験Ⅱ	1	分子構築学	2
◎ 分子発生学Ⅰ	2	◎ 細胞生物学実験	1	構造有機化学	2
◎ 分子発生学Ⅱ	2	◎ 理学特別講義	2	機器分析学	2
◎ 細胞生物学Ⅰ	2	◎ ゼミナール	4	放射化学	2
◎ 分子生物学	2	◎ 卒業研究	8	地球化学	2
◎ 遺伝子工学	2	遺伝学	2	分子構造学	2
◎ 生体防御学	2	進化系統学	2	高分子化学	2
◎ 生物化学実験	1	生理学	2	錯体化学	2
◎ 分子生物学実験	1	基礎情報科学演習	2	界面化学	2
◎ 分子発生学実験Ⅰ	1	生物科学特別講義Ⅰ	2	微生物化学	2
◎ 生体防御学実験Ⅰ	1	生物科学特別講義Ⅱ	2	※ 知的財産論	2
◎ 生物科学原著講読Ⅲ	2	生物科学特別講義Ⅲ	2		
◎ 生物科学原著講読Ⅳ	2	生物科学特別講義Ⅳ	2		
◎ 転写制御学	2	代謝学Ⅰ	2		
◎ ゲノム進化学	2	代謝学Ⅱ	2		
◎ 細胞生物学Ⅱ	2	神経生物学	2		
◎ 発生工学	2	生物物理学序論	2		
◎ ゲノム発生学	2	生物物理学Ⅰ	2		

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含めない。

理学4群科目（生物科学科）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目、単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目及び総合的な能力を形成する科目	
※ 海外短期留学プログラム	1

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含めない。

医療衛生学1群科目（保健衛生学科 環境保健学コース）

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	※ 数学の基礎	2
文化の領域	経済のしくみB	2	◎ 統計学B I	2
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	情報科学A	2
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	情報科学B	2
科学を考えるA	政治のしくみA	2	情報科学C	2
科学を考えるB	政治のしくみB	2	◎ 情報演習	1
芸術の楽しみA	健康の領域		自然科学系	
芸術の楽しみB	健康の科学A	2	物理学	4
文学の楽しみA	健康の科学B	2	物理学実験	1
文学の楽しみB	健康の科学C	2	◎ 化学	4
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	◎ 化学実験	1
信仰と救いB	※ ライフスポーツ演習A	2	生物学	4
倫理学A	※ ライフスポーツ演習B	2	生物学実験	1
倫理学B	※ ライフスポーツ演習C	2	※ 物理学要習	1
社会の領域	総合領域科目		※ 化学要習	1
心理学A（心理学概論）	総合領域		※ 生物学要習	1
心理学B	北里の世界	1	教養演習系科目	
歴史と人間A	仕事と人生	1	教養演習系	
歴史と人間B	農医連携論	1	教養演習A	2
文化人類学A	基礎教育科目		教養演習B	1
文化人類学B	外国語系		教養演習C	1
日本と国際社会A	◎ 英語A I	1	大学基礎演習	1
日本と国際社会B	◎ 英語A II	1	言語と文化A	2
環境を考えるA	◎ 英語B I	1	言語と文化B	2
環境を考えるB	◎ 英語B II	1		
日本国憲法A	数理・情報系			
日本国憲法B	◎ 数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
法律の役割A	※ 発展数学A	2		
法律の役割B	※ 発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（保健衛生学科 環境保健学コース）

◎ 解剖学 I	◎ 有機化学	2		
◎ 解剖学 II	◎ 微生物学	2		
◎ 解剖学実習	◎ 微生物学実習	1		
◎ 生理学 I	血液・免疫学	2		
◎ 生理学 II	◎ 食品衛生学	2		
◎ 生理学実習	◎ 労働生理学	2		
病理学	リスク管理学	2		
◎ 生化学	保健栄養学	2		
◎ 生化学実習	◎ 衛生統計学	2		
◎ 公衆衛生学 I	食品衛生法規	2		
◎ 公衆衛生学 II	サスティナビリティ学入門	2		
◎ 公衆衛生学実習	医療学概論	2		
◎ 労働衛生学 I	発達心理学	2		
◎ 労働衛生学 II	◎ 精神保健学	1		
◎ 分析化学				
◎ 環境保健学概論				

医療衛生学3群科目（保健衛生学科 環境保健学コース）

◎ 労働行政	2	※ インターンシップ	1	
◎ 作業環境管理学	2	環境予防医学	2	
◎ 産業衛生管理学	2	環境予防医学実習	1	
◎ 産業衛生管理学実習	1	生命医科学	2	
◎ 環境衛生学Ⅰ	2	生体分子情報学	2	
◎ 環境衛生学Ⅱ	2	分子生物学入門	2	
環境工学Ⅰ	2	◎ 卒業研究Ⅰ	4	
◎ チーム医療論(演習含)	1	◎ 卒業研究Ⅱ	8	
薬理・毒性学	2			
健康食品学	2			
健康食品学実習	1			
環境工学Ⅱ	2			
生物・生態環境工学	2			
生物・生態環境工学実習	1			
◎ 環境衛生学・工学実習	1			
障害者・障害児心理学	2			
臨床心理学概論	2			※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。

医療衛生学4群科目（保健衛生学科 環境保健学コース）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目

※ 医療レーザー入門Ⅰ	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門Ⅱ	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

医療衛生学1群科目（保健衛生学科 臨床心理学コース）

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	※ 数学の基礎	2
文化の領域	経済のしくみB	2	◎ 統計学B I	2
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	情報科学A	2
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	情報科学B	2
科学を考えるA	政治のしくみA	2	情報科学C	2
科学を考えるB	政治のしくみB	2	◎ 情報演習	1
芸術の楽しみA	健康の領域		自然科学系	
芸術の楽しみB	健康の科学A	2	物理学	4
文学の楽しみA	健康の科学B	2	物理学実験	1
文学の楽しみB	健康の科学C	2	◎ 化学	4
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	◎ 化学実験	1
信仰と救いB	※ ライフスポーツ演習A	2	生物学	4
倫理学A	※ ライフスポーツ演習B	2	生物学実験	1
倫理学B	※ ライフスポーツ演習C	2	※ 物理学要習	1
社会の領域	総合領域科目		※ 化学要習	1
◎ 心理学A（心理学概論）	総合領域		※ 生物学要習	1
◎ 心理学B（知覚・認知心理学）	北里の世界	1	教養演習系科目	
歴史と人間A	仕事と人生	1	教養演習系	
歴史と人間B	農医連携論	1	教養演習A	2
文化人類学A	基礎教育科目		教養演習B	1
文化人類学B	外国語系		教養演習C	1
日本と国際社会A	◎ 英語A I	1	大学基礎演習	1
日本と国際社会B	◎ 英語A II	1	言語と文化A	2
環境を考えるA	◎ 英語B I	1	言語と文化B	2
環境を考えるB	◎ 英語B II	1		
日本国憲法A	数理・情報系			
日本国憲法B	◎ 数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
法律の役割A	※ 発展数学A	2		
法律の役割B	※ 発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（保健衛生学科 臨床心理学コース）

◎ 生理学 I	2	サステナビリティ学入門	2
◎ 生理学 II	2	医療学概論	2
病理学	2	◎ 発達心理学	2
生化学	2	◎ 感情・人格心理学	2
公衆衛生学 I	2	◎ 神経・生理心理学	2
公衆衛生学 II	2	◎ 社会・集団・家族心理学	2
◎ 労働衛生学 I	2	◎ 公認心理師の職責	2
◎ 労働衛生学 II	2	◎ 心理学実験(卒業研究 II)	2
微生物学	2	◎ 学習・言語心理学	2
血液・免疫学	2	◎ 関係行政論	2
食品衛生学	2	◎ 人体の構造と機能及び疾病 I	2
◎ 労働生理学	2	◎ 人体の構造と機能及び疾病 II	2
リスク管理学	2	◎ 心理学研究法(卒業研究 I)	2
◎ 心理学統計法	2	◎ 精神疾患とその治療	2
食品衛生法規	2		

医療衛生学3群科目（保健衛生学科 臨床心理学コース）

◎ 労働行政	2	環境予防医学	2	
◎ 作業環境管理学	2	心理実習Ⅱ	1	
◎ 産業衛生管理学	2	◎ 心理的アセスメント	2	
◎ 産業衛生管理学実習	1	◎ 心理学的支援法	2	
環境衛生学Ⅰ	2	心理演習	2	
環境衛生学Ⅱ	2	◎ 健康・医療心理学	2	
環境工学Ⅰ	2	◎ 福祉心理学	2	
◎ チーム医療論(演習含)	1	◎ 教育・学校心理学	2	
薬理・毒性学	2	◎ 司法・犯罪心理学	2	
健康食品学	2	環境予防医学実習	1	
心理実習Ⅰ	1	生命医科学	2	
環境工学Ⅱ	2	生体分子情報学	2	
生物・生態環境工学	2	分子生物学入門	2	
◎ 卒業研究Ⅲ	6			
◎ 障害者・障害児心理学	2			
◎ 臨床心理学概論	2			
◎ 産業・組織心理学	2			※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。

医療衛生学4群科目（保健衛生学科 臨床心理学コース）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目

※ 医療レーザー入門Ⅰ	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門Ⅱ	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

医療衛生学1群科目（医療検査学科）

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	※ 数学の基礎	2
文化の領域	経済のしくみB	2	◎ 統計学B I	2
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	情報科学A	2
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	情報科学B	2
科学を考えるA	政治のしくみA	2	情報科学C	2
科学を考えるB	政治のしくみB	2	◎ 情報演習	1
芸術の楽しみA	健康の領域		自然科学系	
芸術の楽しみB	健康の科学A	2	物理学	4
文学の楽しみA	健康の科学B	2	物理学実験	1
文学の楽しみB	健康の科学C	2	化学	4
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	化学実験	1
信仰と救いB	※ ライフスポーツ演習A	2	◎ 生物学	4
倫理学A	※ ライフスポーツ演習B	2	◎ 生物学実験	1
倫理学B	※ ライフスポーツ演習C	2	※ 物理学要習	1
社会の領域	総合領域科目		※ 化学要習	1
心理学A	総合領域		※ 生物学要習	1
心理学B	北里の世界	1	教養演習系科目	
歴史と人間A	仕事と人生	1	教養演習系	
歴史と人間B	農医連携論	1	教養演習A	2
文化人類学A	基礎教育科目		教養演習B	1
文化人類学B	外国語系		教養演習C	1
日本と国際社会A	◎ 英語A I	1	大学基礎演習	1
日本と国際社会B	◎ 英語A II	1	言語と文化A	2
環境を考えるA	◎ 英語B I	1	言語と文化B	2
環境を考えるB	◎ 英語B II	1		
日本国憲法A	数理・情報系			
日本国憲法B	数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
法律の役割A	発展数学A	2		
法律の役割B	発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（医療検査学科）

◎ 英語C	2	◎ 生化学	4	◎ 医用工学実習	1
◎ 医療学概論	2	◎ 生化学実習	1	◎ 保健医療福祉総論	1
◎ 解剖学	2	◎ 組織細胞学	2	◎ 臨床検査学概論	1
◎ 解剖学実習	1	◎ 組織細胞学実習	1	◎ 薬理学	2
◎ 生理学 I	2	◎ 公衆衛生学 I	1		
◎ 生理学 II (実習含)	2	◎ 公衆衛生学 II (実習含)	1		
◎ 病理学(演習含)	1	◎ 医用工学概論(演習含)	1		

医療衛生学 3 群科目 (医療検査学科)

◎ 病理検査学	2	◎ 臨床化学 I	2	◎ 医療安全管理学	1
◎ 病理検査学実習	1	◎ 臨床化学 II	2	◎ 臨床実習	11
◎ 寄生虫検査学(実習含)	2	◎ 臨床化学実習	1	◎ テュートリアル教育	1
◎ 一般検査学	2	◎ 免疫検査学 I	2	◎ 卒業研究	5
◎ 臨床検査学特論 II	8	◎ 免疫検査学 II	2	◎ チーム医療論(演習含)	1
◎ 一般検査学実習	1	◎ 免疫検査学実習	1	◎ 医療安全管理学演習	1
◎ 遺伝子・染色体検査学	2	◎ 臨床生理学 I A	2	◎ 臨床検査学特論 I	1
◎ 微生物検査学	4	◎ 臨床生理学 I B	2	◎ 臨床実習前実技確認(演習含)	1
◎ 微生物検査学実習	1	◎ 臨床生理学 II (画像検査学含)	2	◎ 遺伝子・染色体検査学実習	1
◎ 放射線科学(実習含)	1	◎ 臨床生理学実習	1	※ 細胞検査士コース	5
◎ 臨床病態学	4	◎ 検査機器学	1	※ 学術国際交流プログラムA	2
◎ 血液学 I	2	◎ 検査管理学	1		
◎ 血液学 II	2	◎ 臨床細胞学	2		
◎ 血液学実習	1	◎ 臨床細胞学実習	1		

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。

医療衛生学 4 群科目 (医療検査学科)

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目					
※ 医療レーザー入門 I	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門 II	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

医療衛生学1群科目（医療工学科 臨床工学専攻）

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	※ 数学の基礎	2
文化の領域	経済のしくみB	2	◎ 統計学B I	2
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	※ 統計学B II	2
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	※ 情報科学A	2
科学を考えるA	政治のしくみA	2	※ 情報科学B	2
科学を考えるB	政治のしくみB	2	※ 情報科学C	2
芸術の楽しみA	健康の領域		◎ 情報演習	1
芸術の楽しみB	健康の科学A	2	自然科学系	
文学の楽しみA	健康の科学B	2	◎ 物理学	4
文学の楽しみB	健康の科学C	2	◎ 物理学実験	1
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	◎ 化学	4
信仰と救いB	※ ライフスポーツ演習A	2	◎ 化学実験	1
倫理学A	※ ライフスポーツ演習B	2	◎ 生物学	4
倫理学B	※ ライフスポーツ演習C	2	◎ 生物学実験	1
社会の領域	総合領域科目		※ 物理学要習	1
心理学A	総合領域		※ 化学要習	1
心理学B	北里の世界	1	※ 生物学要習	1
歴史と人間A	仕事と人生	1	教養演習系科目	
歴史と人間B	農医連携論	1	教養演習系	
文化人類学A	基礎教育科目		※ 教養演習A	2
文化人類学B	外国語系		※ 教養演習B	1
日本と国際社会A	◎ 英語A I	1	※ 教養演習C	1
日本と国際社会B	◎ 英語A II	1	※ 大学基礎演習	1
環境を考えるA	◎ 英語B I	1	※ 言語と文化A	2
環境を考えるB	◎ 英語B II	1	※ 言語と文化B	2
日本国憲法A	数理・情報系			
日本国憲法B	数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件	
法律の役割A	発展数学A	2	単位に含まない。	
法律の役割B	発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（医療工学科 臨床工学専攻）

◎ 解剖学 I	◎ 応用数学 I	2	◎ 情報処理工学 II (演習含)	2
◎ 解剖学 II	◎ 応用数学 II (演習含)	1	◎ システム工学	2
◎ 生理学 I	◎ 電気工学 I	2	◎ システム工学実習	1
◎ 生理学 II (演習含)	◎ 電気工学 II	2	※ 医療情報学	4
◎ 解剖学実習	◎ 電気工学実習	1		
◎ 生理学実習	◎ 電子工学 I	2		
◎ 公衆衛生学	◎ 電子工学 II	2		
◎ 病理学	◎ 電子工学実習	1		
◎ 生化学	◎ 医用機械工学	3	※印は自由科目であり、卒業要件	
◎ 薬理学	◎ 情報処理工学 I	2	単位に含まない。	

医療衛生学3群科目（医療工学科 臨床工学専攻）

◎ 英語C	2	◎ 医用治療機器学	3	◎ 機器安全管理学実習	1
◎ 英語D	1	◎ 医用治療機器学実習	1	◎ 医療ケア安全管理学	2
◎ 医用工学総論	2	◎ 生体機能代行装置学Ⅰ	4	◎ 臨床医療学Ⅰ	4
◎ 計測工学	2	◎ 生体機能代行装置学Ⅱ	4	◎ 臨床医療学特論	2
◎ 物性・材料工学	4	◎ 生体機能代行装置学Ⅲ	4	◎ 臨床工学総合演習	1
◎ 医用機器学Ⅰ（演習含）	1	◎ 生体機能代行装置学実習Ⅰ	1	◎ 臨床実習	6
◎ 医用機器学Ⅱ（演習含）	1	◎ 生体機能代行装置学実習Ⅱ	1	◎ 卒業研究	6
◎ 生体計測装置学（演習含）	2	◎ 生体機能代行装置学実習Ⅲ	1	◎ チーム医療論（演習含）	1
◎ 生体計測装置学実習	1	◎ 機器安全管理学	4		

医療衛生学4群科目（医療工学科 臨床工学専攻）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目					
※ 医療レーザー入門Ⅰ	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門Ⅱ	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

医療衛生学1群科目（医療工学科 診療放射線技術科学専攻）

人間形成の基礎科目		経済のしくみA	2	※ 数学の基礎	2
文化の領域		経済のしくみB	2	◎ 統計学B I	2
哲学の楽しみA	2	個人と社会A	2	※ 統計学B II	2
哲学の楽しみB	2	個人と社会B	2	※ 情報科学A	2
科学を考えるA	2	政治のしくみA	2	※ 情報科学B	2
科学を考えるB	2	政治のしくみB	2	※ 情報科学C	2
芸術の楽しみA	2	健康の領域		◎ 情報演習	1
芸術の楽しみB	2	健康の科学A	2	自然科学系	
文学の楽しみA	2	健康の科学B	2	物理学	4
文学の楽しみB	2	健康の科学C	2	物理学実験	1
信仰と救いA	2	健康とスポーツ演習	2	化学	4
信仰と救いB	2	※ ライフスポーツ演習A	2	化学実験	1
倫理学A	2	※ ライフスポーツ演習B	2	生物学	4
倫理学B	2	※ ライフスポーツ演習C	2	生物学実験	1
社会の領域		総合領域科目		※ 物理学要習	1
心理学A	2	総合領域		※ 化学要習	1
心理学B	2	北里の世界	1	※ 生物学要習	1
歴史と人間A	2	仕事と人生	1	教養演習系科目	
歴史と人間B	2	農医連携論	1	教養演習系	
文化人類学A	2	基礎教育科目		※ 教養演習A	2
文化人類学B	2	外国語系		※ 教養演習B	1
日本と国際社会A	2	◎ 英語A I	1	※ 教養演習C	1
日本と国際社会B	2	◎ 英語A II	1	※ 大学基礎演習	1
環境を考えるA	2	◎ 英語B I	1	※ 言語と文化A	2
環境を考えるB	2	◎ 英語B II	1	※ 言語と文化B	2
日本国憲法A	2	数理・情報系			
日本国憲法B	2	数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件	
法律の役割A	2	発展数学A	2	単位に含まない。	
法律の役割B	2	発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（医療工学科 診療放射線技術科学専攻）

◎ 英語C	1	◎ 応用数学I	2		
◎ 解剖学I	2	◎ 医用工学	2		
◎ 解剖学II	1	◎ 医用工学実習	1		
◎ 生理学I	2	◎ 臨床医療学I	4		
◎ 生理学II（演習含）	1	◎ 放射線臨床病態薬理学	1		
◎ 病理学	2	医療学概論	2		
◎ 生化学	2	情報処理工学	1		

医療衛生学 3 群科目 (医療工学科 診療放射線技術科学専攻)

◎ 診療放射線技術科学概論	2	◎ 核医学技術学・放射化学実習	1	◎ チーム医療論(演習含)	1
◎ 診療技術英語	1	◎ 放射線腫瘍学	2	放射線基礎講義 I	1
◎ 放射線物理学	4	◎ 放射線治療機器学	1	◎ 画像検査技術学	1
◎ 医用物理学	1	◎ 放射線治療技術学 I	2	放射線治療物理学	1
◎ 放射線生物学 I	2	◎ 放射線治療技術学 II	2	放射線基礎講義 II	2
◎ 放射線生物学 II	1	◎ 放射線治療技術学実習	1	※ 学術国際交流プログラム B	1
◎ 放射線計測学 I	2	◎ 画像工学	2		
◎ 放射線計測学 II	1	◎ 医療情報工学	2		
◎ 放射化学	2	◎ 医療画像処理	1		
◎ 画像解剖学	2	◎ 画像情報学	1		
◎ 画像診断学	4	◎ 放射線管理学	2		
◎ 診療画像技術学 I	2	◎ 放射線管理学・計測学実習	1		
◎ 診療画像技術学 II	2	◎ 放射線関係法規	1		
◎ 診療画像技術学 III	2	◎ 臨床実習 I	1		
◎ 診療画像技術学 IV	2	◎ 臨床実習 II	1		
◎ 画像診断機器工学 I	2	◎ 臨床実習 III	10		
◎ 画像診断機器工学 II	1	◎ 実践臨床画像学	2		
◎ 画像診断機器工学実習	1	◎ 医療安全管理学	2		
◎ 核医学技術学 I	2	◎ 診療放射線技術科学総合演習	7		
◎ 核医学技術学 II	2	◎ 卒業研究	6		

医療衛生学 4 群科目 (医療工学科 診療放射線技術科学専攻)

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目					
※ 医療レーザー入門 I	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門 II	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

医療衛生学1群科目（リハビリテーション学科 理学療法専攻）

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	※ 数学の基礎	2
文化の領域	経済のしくみB	2	◎ 統計学A	4
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	※ 情報科学A	2
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	※ 情報科学B	2
科学を考えるA	政治のしくみA	2	※ 情報科学C	2
科学を考えるB	政治のしくみB	2	◎ 情報演習	1
芸術の楽しみA	健康の領域		自然科学系	
芸術の楽しみB	※ 健康の科学A	2	◎ 物理学	4
文学の楽しみA	※ 健康の科学B	2	◎ 物理学実験	1
文学の楽しみB	◎ 健康の科学C	2	化学	4
信仰と救いA	※ 健康とスポーツ演習	2	化学実験	1
信仰と救いB	※ ライフスポーツ演習A	2	生物学	4
倫理学A	※ ライフスポーツ演習B	2	生物学実験	1
倫理学B	※ ライフスポーツ演習C	2	※ 物理学要習	1
社会の領域	総合領域科目		※ 化学要習	1
心理学A	総合領域		※ 生物学要習	1
心理学B	北里の世界	1	教養演習系科目	
歴史と人間A	仕事と人生	1	教養演習系	
歴史と人間B	農医連携論	1	※ 教養演習A	2
文化人類学A	基礎教育科目		※ 教養演習B	1
文化人類学B	外国語系		※ 教養演習C	1
日本と国際社会A	◎ 英語A I	1	大学基礎演習	1
日本と国際社会B	◎ 英語A II	1	※ 言語と文化A	2
環境を考えるA	◎ 英語B I	1	※ 言語と文化B	2
環境を考えるB	◎ 英語B II	1		
日本国憲法A	数理・情報系			
日本国憲法B	数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
法律の役割A	発展数学A	2		
法律の役割B	発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（リハビリテーション学科 理学療法専攻）

◎ 解剖学 I	◎ 医療学概論	2	◎ 医療統計学	2
◎ 解剖学 II	◎ 臨床医療学 I	4	◎ 薬理学	2
◎ 解剖学実習 I	◎ 臨床医療学 II	1	◎ 社会系医療学	1
◎ 解剖学実習 II	◎ 臨床医療学 III	1	臨床心理学 I	2
◎ 生理学 I	◎ 整形外科学	1	医療情報学	2
◎ 生理学 II	◎ 臨床心理学 II	2	公衆衛生学	2
◎ 生理学実習	◎ 発達心理学	2	心理学測定法	2
◎ 病理学	◎ 生体運動分析学	1	学習・認知心理学	2
◎ リハビリテーション概論	◎ 生体運動分析学実習	2		
◎ リハビリテーション医学	◎ 臨床運動学(実習含)	1		

医療衛生学3群科目（リハビリテーション学科 理学療法学専攻）

◎ 理学療法学概論	2	◎ 日常生活活動学	1	◎ 臨床実習Ⅰ	1
◎ 基礎理学療法学(実習含)	2	◎ 日常生活活動学実習	1	◎ 臨床実習Ⅱ	1
◎ 理学療法研究法	2	◎ 物理療法学(実習含)	2	◎ 臨床実習Ⅲ	1
◎ 理学療法評価学	1	◎ 整形外科系理学療法学	2	◎ 臨床実習Ⅳ	17
◎ 理学療法評価学実習	2	◎ 整形外科系理学療法学実習	1	◎ 卒業研究	5
◎ 高次脳機能学	1	◎ 内部障害系理学療法学	2	◎ チーム医療論(演習含)	1
◎ 高次脳機能障害理学療法学(実習含)	1	◎ 内部障害系理学療法学実習	1	生体運動学特論	1
◎ 臨床理学療法学Ⅰ(実習含)	1	◎ 中枢神経系理学療法学	1	小児理学療法学特論(実習含)	1
◎ 臨床理学療法学Ⅱ	2	◎ 中枢神経系理学療法学実習	1	整形外科系理学療法学特論(実習含)	1
◎ 臨床理学療法学Ⅱ実習	2	◎ 理学療法管理学	1	内部障害系理学療法学特論	1
◎ 小児理学療法学	2	◎ 理学療法学特論(実習含)	1	中枢神経系理学療法学特論	1
◎ 小児理学療法学実習	1	◎ 老年理学療法学	1	老年理学療法学特論(実習含)	1
◎ 義肢装具学	1	◎ 老年理学療法学実習	1	地域理学療法学特論(実習含)	1
◎ 義肢装具学実習	1	◎ 地域理学療法学	1	※ 学術国際交流プログラムB	1

医療衛生学4群科目（リハビリテーション学科 理学療法学専攻）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目					
※ 医療レーザー入門Ⅰ	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門Ⅱ	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

医療衛生学1群科目（リハビリテーション学科 作業療法学専攻）

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	※ 数学の基礎	2
文化の領域	経済のしくみB	2	◎ 統計学A	4
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	情報科学A	2
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	情報科学B	2
科学を考えるA	政治のしくみA	2	情報科学C	2
科学を考えるB	政治のしくみB	2	◎ 情報演習	1
芸術の楽しみA	健康の領域		自然科学系	
芸術の楽しみB	健康の科学A	2	物理学	4
文学の楽しみA	健康の科学B	2	物理学実験	1
文学の楽しみB	健康の科学C	2	化学	4
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	化学実験	1
信仰と救いB	※ ライフスポーツ演習A	2	生物学	4
倫理学A	※ ライフスポーツ演習B	2	生物学実験	1
倫理学B	※ ライフスポーツ演習C	2	※ 物理学要習	1
社会の領域	総合領域科目		※ 化学要習	1
◎ 心理学A	総合領域		※ 生物学要習	1
◎ 心理学B	北里の世界	1	教養演習系科目	
歴史と人間A	仕事と人生	1	教養演習系	
歴史と人間B	農医連携論	1	教養演習A	2
文化人類学A	基礎教育科目		教養演習B	1
文化人類学B	外国語系		教養演習C	1
日本と国際社会A	◎ 英語A I	1	◎ 大学基礎演習	1
日本と国際社会B	◎ 英語A II	1	言語と文化A	2
環境を考えるA	◎ 英語B I	1	言語と文化B	2
環境を考えるB	◎ 英語B II	1		
日本国憲法A	数理・情報系			
日本国憲法B	◎ 数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
法律の役割A	※ 発展数学A	2		
法律の役割B	※ 発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（リハビリテーション学科 作業療法学専攻）

◎ 解剖学 I	◎ リハビリテーション概論	1	公衆衛生学	2
◎ 解剖学 II	◎ リハビリテーション医学	2	社会系医療学	1
◎ 解剖学実習 I	◎ 作業療法概論	2	発達心理学	2
◎ 解剖学実習 II	◎ 医療学概論	2	心理学測定法	2
◎ 生理学 I	◎ 臨床医療学 I	4	学習・認知心理学	2
◎ 生理学 II	◎ 臨床医療学 II	1	医療情報学	2
◎ 生理学実習	◎ 臨床医療学 III	1	医療統計学	2
◎ 病理学	◎ 整形外科学	1		
◎ 臨床心理学 I	◎ 精神医学	1		
◎ 臨床心理学 II	薬理学	2		

医療衛生学3群科目（リハビリテーション学科 作業療法学専攻）

◎ 基礎作業学	1	◎ 老年期作業療法学実習	1	◎ 作業療法管理学Ⅰ	1
◎ 基礎作業学実習	1	◎ 生活活動学	1	◎ 作業療法管理学Ⅱ	1
◎ 作業療法評価学	2	◎ 生活活動学実習	1	◎ 臨床実習Ⅰ	1
◎ 作業療法評価学実習	1	◎ 生活環境調整学	1	◎ 臨床実習Ⅱ	2
◎ 運動学	2	◎ 生活環境調整学実習	1	◎ 臨床実習Ⅲ	4
◎ 運動学実習	1	◎ 高次脳機能学	1	◎ 臨床実習Ⅳ	16
◎ 身体障害作業療法学	2	◎ 高次脳機能作業療法学	1	◎ 卒業研究	6
◎ 身体障害作業療法学実習	1	◎ 地域作業療法学	1	◎ チーム医療論(演習含)	1
◎ 精神保健作業療法学	2	◎ 地域作業療法学実習	1	作業療法技術論Ⅰ	1
◎ 精神保健作業療法学実習	1	◎ 職業活動学	1	作業療法技術論Ⅱ	1
◎ 発達障害作業療法学	2	◎ 職業活動学実習	1	作業療法技術論Ⅲ	1
◎ 発達障害作業療法学実習	1	◎ 作業療法研究法	1	作業療法技術論Ⅳ	1
◎ 老年期作業療法学	1	◎ 作業療法学総合	2	※ 学術国際交流プログラムB	1

医療衛生学4群科目（リハビリテーション学科 作業療法学専攻）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目					
※ 医療レーザー入門Ⅰ	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門Ⅱ	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

医療衛生学1群科目（リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻）

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	数学の基礎	2
文化の領域	経済のしくみB	2	◎ 統計学A	4
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	※ 情報科学A	2
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	※ 情報科学B	2
科学を考えるA	政治のしくみA	2	※ 情報科学C	2
科学を考えるB	政治のしくみB	2	◎ 情報演習	1
芸術の楽しみA	健康の領域		自然科学系	
芸術の楽しみB	健康の科学A	2	物理学	4
文学の楽しみA	健康の科学B	2	物理学実験	1
文学の楽しみB	健康の科学C	2	化学	4
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	化学実験	1
信仰と救いB	※ ライフスポーツ演習A	2	生物学	4
倫理学A	※ ライフスポーツ演習B	2	生物学実験	1
倫理学B	※ ライフスポーツ演習C	2	※ 物理学要習	1
社会の領域	総合領域科目		※ 化学要習	1
◎ 心理学A	総合領域		※ 生物学要習	1
◎ 心理学B	北里の世界	1	教養演習系科目	
歴史と人間A	仕事と人生	1	教養演習系	
歴史と人間B	農医連携論	1	※ 教養演習A	2
文化人類学A	基礎教育科目		※ 教養演習B	1
文化人類学B	外国語系		※ 教養演習C	1
日本と国際社会A	◎ 英語A I	1	大学基礎演習	1
日本と国際社会B	◎ 英語A II	1	※ 言語と文化A	2
環境を考えるA	◎ 英語B I	1	※ 言語と文化B	2
環境を考えるB	◎ 英語B II	1		
日本国憲法A	数理・情報系			
日本国憲法B	数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
法律の役割A	※ 発展数学A	2		
法律の役割B	※ 発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻）

◎ 解剖学 I	◎ 歯科・口腔外科学	1	◎ 音響学演習	2
◎ 解剖学 II	◎ 音声言語医学	1	◎ 言語発達学	1
◎ 生理学 I	◎ 聴覚医学	1	◎ 社会系医療学	1
◎ 生理学 II	◎ 高次脳機能学	1	薬理学	2
◎ 病理学	◎ 臨床心理学 I	2	医療統計学	2
◎ 医療学概論	◎ 臨床心理学 II	2		
◎ リハビリテーション概論	◎ 発達心理学	2		
◎ リハビリテーション医学	◎ 心理学測定法	2		
◎ 臨床医療学 I	◎ 学習・認知心理学	2		
◎ 臨床医療学 III	◎ 言語学	2		
◎ 耳鼻咽喉科学	◎ 音声学演習	2		
◎ 形成外科学	◎ 聴覚心理学	1		

医療衛生学 3 群科目 (リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻)

◎ 言語聴覚療法学概論(実習含)	3	◎ 重複障害学	1	◎ 聴覚障害学	2
◎ 基礎言語聴覚療法学(実習含)	1	◎ 構音障害学 I(実習含)	3	◎ 聴覚障害学実習	1
◎ 地域言語聴覚療法学	1	◎ 構音障害学 II(実習含)	2	◎ 補聴器・人工内耳(実習含)	2
◎ 言語聴覚療法学総合演習	3	◎ 音声障害学(実習含)	2	◎ 臨床実習 I	1
◎ 失語・高次脳機能障害学	3	◎ 嚥下障害学(実習含)	2	◎ 臨床言語聴覚療法学実習	2
◎ 失語・高次脳機能障害学実習	3	◎ 吃音学(実習含)	2	◎ 臨床実習 II	12
◎ 言語発達障害学	3	◎ 聴覚検査学	1	◎ 卒業研究	4
◎ 言語発達障害学実習	3	◎ 聴覚検査学実習	1	◎ チーム医療論(演習含)	1

医療衛生学 4 群科目 (リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻)

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目					
※ 医療レーザー入門 I	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門 II	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

医療衛生学1群科目（リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻）

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	※ 数学の基礎	2
文化の領域	経済のしくみB	2	◎ 統計学A	4
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	※ 情報科学A	2
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	※ 情報科学B	2
科学を考えるA	政治のしくみA	2	※ 情報科学C	2
科学を考えるB	政治のしくみB	2	◎ 情報演習	1
芸術の楽しみA	健康の領域		自然科学系	
芸術の楽しみB	健康の科学A	2	◎ 物理学	4
文学の楽しみA	健康の科学B	2	◎ 物理学実験	1
文学の楽しみB	健康の科学C	2	化学	4
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	※ 化学実験	1
信仰と救いB	※ ライフスポーツ演習A	2	生物学	4
倫理学A	※ ライフスポーツ演習B	2	※ 生物学実験	1
倫理学B	※ ライフスポーツ演習C	2	※ 物理学要習	1
社会の領域	総合領域科目		※ 化学要習	1
◎ 心理学A	総合領域		※ 生物学要習	1
◎ 心理学B	北里の世界	1	教養演習系科目	
歴史と人間A	仕事と人生	1	教養演習系	
歴史と人間B	農医連携論	1	※ 教養演習A	2
文化人類学A	基礎教育科目		※ 教養演習B	1
文化人類学B	外国語系		※ 教養演習C	1
日本と国際社会A	◎ 英語A I	1	※ 大学基礎演習	1
日本と国際社会B	◎ 英語A II	1	※ 言語と文化A	2
環境を考えるA	◎ 英語B I	1	※ 言語と文化B	2
環境を考えるB	◎ 英語B II	1		
日本国憲法A	数理・情報系			
日本国憲法B	数学	4	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
法律の役割A	発展数学A	2		
法律の役割B	発展数学B	2		

医療衛生学2群科目（リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻）

◎ 英語C I (TOEIC basic)	2	◎ 臨床医療学 I	4	◎ 視覚機能療法学概論 I	2
◎ 眼科英語	1	◎ 臨床医療学 III	1	◎ 視覚機能療法学概論 II	2
◎ 解剖学 I	2	◎ 臨床心理学 I	2	◎ 視覚機能療法学概論 III	2
◎ 解剖学 II	2	◎ 発達心理学	2	◎ 視覚矯正工学	2
◎ 生理学 I	2	◎ 社会系医療学	1	※ 英語C II (TOEIC intermediate)	1
◎ 生理学 II	2	◎ 医療統計学	2	※ 学習・認知心理学	2
◎ 病理学	2	◎ 基礎医療情報学	2		
◎ リハビリテーション概論	1	◎ 社会福祉実習	1	※印は自由科目であり、卒業要件 単位に含まない。	
◎ 医療学概論	2	◎ 保育	2		
◎ 薬理学	2	◎ 保育実習	2		

医療衛生学3群科目（リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻）

◎ 基礎生理光学	2	◎ 生理光学	2	◎ 視能矯正学特論実習Ⅱ	2
◎ 視器解剖・病理学	2	◎ 生理光学実習	1	◎ 臨床実習Ⅰ	1
◎ 視器解剖・病理学実習	1	◎ 視能訓練学	2	◎ 卒業研究	6
◎ 視覚臨床生理学	2	◎ 視能矯正学総論Ⅰ	2	◎ チーム医療論(演習含)	1
◎ 視覚臨床生理学実習	1	◎ 視能矯正学総論Ⅱ	2	視覚科学(Visual science)	1
◎ 眼科学Ⅰ	1	◎ 視能矯正学総論実習Ⅰ	1	視覚科学演習(Visual science)	1
◎ 眼科学Ⅱ	2	◎ 視能矯正学総論実習Ⅱ	2	臨床実習Ⅱ(Orthoptics)	10
◎ 眼科薬理学	1	◎ 視能矯正学各論Ⅰ	2	臨床実習Ⅱ(Visual science)	8
◎ 眼科臨床機器学	1	◎ 視能矯正学各論Ⅱ	2		
◎ 神経眼科学	2	◎ 視能矯正学特論	2		
◎ 神経眼科学実習	1	◎ 視能矯正学特論実習Ⅰ	1		

医療衛生学4群科目（リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻）

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目					
※ 医療レーザー入門Ⅰ	1	※ 医療に利用される最新科学	1	※ 医用治療機器学特論	2
※ 医療レーザー入門Ⅱ	1	※ 生体表面電位計測概論	1	※ 臨床検査技師国家試験基礎講座	1
※ 生体医用光学概論	1	※ 生命科学	1	※ 初学者のための生体防御のしくみ	1
※ ボランティア社会学	1	※ くすりと毒の歴史と生理学	1	※ 視覚科学研究法	1

未来工学1群科目(データサイエンス学科)

人間形成の基礎科目	経済のしくみA	2	情報科学C	2
文化の領域	経済のしくみB	2	自然科学系	
哲学の楽しみA	個人と社会A	2	◎ 物理学	4
哲学の楽しみB	個人と社会B	2	◎ 物理学実験	1
科学を考えるA	政治のしくみA	2	◎ 生物学	4
科学を考えるB	政治のしくみB	2	◎ 生物学実験	1
芸術の楽しみA	健康の領域		※ 物理学要習	1
芸術の楽しみB	健康の科学A	2	※ 生物学要習	1
文学の楽しみA	健康の科学B	2	教養演習系	
文学の楽しみB	健康の科学C	2	※ 教養演習A	2
信仰と救いA	健康とスポーツ演習	2	※ 教養演習B	1
信仰と救いB	総合領域科目		※ 教養演習C	1
倫理学A	総合領域		※ 大学基礎演習	1
倫理学B	北里の世界	1	※ 言語と文化A	2
社会の領域	仕事と人生	1	※ 言語と文化B	2
心理学A	農医連携論	1		
心理学B	基礎教育科目			
歴史と人間A	外国語系			
歴史と人間B	◎ 英語A I	1		
文化人類学A	◎ 英語A II	1		
文化人類学B	◎ 英語B I	1		
日本と国際社会A	◎ 英語B II	1		
日本と国際社会B	数理・情報系			
環境を考えるA	◎ 微分積分学A	2		
環境を考えるB	◎ 微分積分学B	2		
日本国憲法A	◎ ベクトルと行列	2		
日本国憲法B	◎ 統計学B I	2		
法律の役割A	統計学B II	2		
法律の役割B	◎ 情報科学A	2		

※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。

未来工学2群科目(データサイエンス学科)

◎ 未来工学データサイエンス概論	2	◎ 情報倫理学	2	線形代数演習	2
◎ データサイエンスイノベーション演習	2	◎ 人工知能・機械学習入門	2	◎ 情報セキュリティ	2
◎ 情報の基礎	2	◎ 科学英語 I	1	◎ 科学英語 II	1
◎ プログラミング I	3	歴史から見るデータサイエンス	2		
◎ プログラミング II	3	線形代数	2		

未来工学3群科目(データサイエンス学科)

《データサイエンティストを支える教養とスキル》	《データのモデリング》	《ライフサイエンスの基礎科学》
IoT電子工作実習 1	◎ データハンドリングと可視化 2	◎ ライフサイエンス I 2
◎ プログラミングⅢ 3	◎ データエンジニアリング演習 2	◎ ライフサイエンスⅡ 2
インターンシップ 1	◎ データ解析とその数理Ⅰ 3	物質科学 2
プログラミングⅣ 3	◎ データ解析とその数理Ⅱ 3	生命系の情報理論 2
データサイエンス教育法 2	◎ シミュレーションの基礎 2	生命科学データ測定技術 2
アントレプレナーシップ 1	ネットワーク科学 2	統計の物理学 2
◎ データサイエンス研究入門 1	データモデリング演習 2	イメージングと画像解析 2
		ケモインフォマティクス 2
		神経系の情報処理 2
		立体構造予測 2
《データサイエンスのための数理》	《医療データの取扱い》	《データサイエンティストとしての価値の創造》
◎ 確率の数理 2	◎ 医学・医療概論 2	◎ 未来工学特別講義 2
◎ アルゴリズム 2	医療の質・安全管理論 2	◎ 輪講(ゼミナール) 4
微分方程式と力学系 2	医療統計分類論 2	◎ 卒業研究 8
◎ バイオインフォマティクス 2	メディカルインフォマティクス 2	
◎ 深層学習入門 2		
テキストマイニング 1		
尤度とモデリングの数理 2		

未来工学4群科目(データサイエンス学科)

本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目

別表 4-①

教職課程（獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、理学部、未来工学部）

教育の基礎的理解に関する科目等

単位数はすべて必修

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本大学の授業科目	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理Ⅰ	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育原理Ⅱ	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法<中学校教諭のみ>	中10 高8	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法 *		特別活動及び総合的な学習の時間指導論（※理学部・海洋生命科学部・未来工学部必修）	*2
	特別活動の指導法 *		総合的な学習の指導論（獣医学部必修）	*1
	総合的な学習の時間の指導法 *		特別活動論（獣医学部必修）	*1
	特別活動の指導法 *		教育方法論	1
	教育の方法及び技術		I C T活用の理論と方法	1
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		生徒指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		教育相談・進路指導論	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習講義	1
			教育実習（動物資源科学科・海洋生命科学部・理学部必修）	4
			教育実習（生物環境科学科・未来工学部必修）	2
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2

*は、学部によって履修科目が異なる

教職課程（獣医学部動物資源科学科、海洋生命科学部、理学部）

教科及び教科の指導法に関する科目

・中学校教諭一種免許状（理科）

単位数はすべて必修

免許教科	授 業 科 目	単 位 数
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	それぞれ1単位以上 計20単位以上
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	
	化学	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	
	生物学	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	
	地学	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	-	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8単位	

教職課程（獣医学部動物資源科学科、海洋生命科学部、理学部）

教科及び教科の指導法に関する科目

・高等学校教諭一種免許状（理科）

単位数はすべて必修

免許教科	授 業 科 目	単 位 数
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	それぞれ1単位以上 計20単位以上
	化学	
	生物学	
	地学	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	-	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8単位	

教職課程（獣医学部生物環境科学科）

教科及び教科の指導法に関する科目

・高等学校教諭一種免許状（農業）

単位数はすべて必修

免許教科		授 業 科 目	単 位 数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	農業の関係科目	それぞれ1単位以上 計20単位以上
		職業指導	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		-
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4単位

教職課程（未来工学部）

教科及び教科の指導法に関する科目

・高等学校教諭一種免許状（情報）

単位数はすべて必修

免許教科		授 業 科 目	単 位 数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	それぞれ1単位以上 計20単位以上
		コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	
		情報システム（実習を含む。）	
		情報通信ネットワーク（実習を含む。）	
		マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	
		情報と職業	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		-
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4単位	

別表 4-②

教職課程（看護学部）

教育の基礎的理解に関する科目等

単位数はすべて必修

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本大学の授業科目	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原論	2 (*)
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		（教育原論）	(*)
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		カリキュラム論	1
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳の理論並びに特別活動及び総合的な学習の時間の指導論	2
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論	1
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	1
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談論	2
教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習	5
	教職実践演習	2	教職実践演習（養護）	2

*教育原論は、「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」と「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）」を含む科目

養護に関する科目

単位数はすべて必修

教育職員免許法施行規則に定める科目	単位数
衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	4
学校保健	2
養護概説	2
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2
栄養学（食品学を含む。）	2
解剖学・生理学	2
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2
精神保健	2
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10

別表 5

学芸員資格を付与する課程（海洋生命科学部海洋生命科学科）

単位数はすべて必修

博物館法施行規則に定める博物館に関する科目・単位数		本大学の授業科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2
博物館概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2
博物館展示論	2	博物館展示論	2
博物館教育論	2	博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2
博物館実習	3	博物館実習Ⅰ	1
		博物館実習Ⅱ	2

別表6-① 入学検定料及び学費（※は初年度のみ納入を表す。）

薬学部		
	薬学科	生命創薬科学科
入学検定料	35,000 円	35,000 円
※入 学 金	400,000 円	400,000 円
授 業 料	1,100,000 円	850,000 円
施設設備費 (2年次以降)	850,000 円 (950,000 円)	820,000 円

獣医学部			
	獣医学科	動物資源科学科	生物環境科学科
入学検定料	33,000 円	33,000 円	33,000 円
※入 学 金	300,000 円	250,000 円	250,000 円
授 業 料 (2年次以降)	1,500,000 円	830,000 円 (930,000円)	830,000 円 (930,000円)
施設設備費 (2年次以降)	530,000 円 (630,000 円)	270,000 円 (370,000 円)	270,000 円 (370,000 円)

医 学 部	
入学検定料	60,000 円
※入 学 金	1,500,000 円
授 業 料 (1年次9月入学) (2年次以降)	3,000,000 円 1,750,000 円 (3,500,000 円)
施設設備費 (1年次9月入学) (2年次以降)	1,000,000 円 580,000 円 (1,200,000 円)
教育充実費 (1年次9月入学) (2年次以降) (4年次以降)	3,500,000 円 2,040,000 円 (1,700,000 円) (1,000,000 円)

海 洋 生 命 科 学 部	
入学検定料	33,000 円
※入 学 金	300,000 円
授 業 料 (2年次以降)	900,000 円 (1,080,000 円)
施設設備費 (2年次以降)	200,000 円 (370,000 円)

看 護 学 部	
入学検定料	33,000 円
※入 学 金	400,000 円
授 業 料 (2年次以降)	1,200,000 円 (1,400,000 円)
施設設備費	300,000 円
助産師教育課程指定科目履修料 (履修者のみ)	350,000 円
保健師教育課程指定科目履修料 (履修者のみ)	80,000 円

理 学 部			
	物理学科	化学科	生物科学科
入学検定料	33,000 円	33,000 円	33,000 円
※入 学 金	200,000 円	200,000 円	200,000 円
授 業 料 (2年次以降)	1,012,500 円 (1,062,500 円)	1,012,500 円 (1,062,500 円)	1,062,500 円 (1,162,500 円)
施設設備費	450,000 円	450,000 円	450,000 円

医 療 衛 生 学 部	
入学検定料	33,000 円
※入 学 金	300,000 円
授 業 料 (2年次以降)	950,000 円 (1,200,000 円)
施設設備費	550,000 円
細胞検査士コース履修料 (医療検査学科・履修者のみ)	150,000 円

未 来 工 学 部	
入学検定料	33,000 円
※入 学 金	250,000 円
授 業 料 (2年次以降)	950,000 円 (1,150,000 円)
施設設備費 (2年次以降)	450,000 円 (450,000 円)

別表6-② 科目等履修生の審査料及び学費

	薬学部	獣医学部	医学部	海洋生命科学部	看護学部	理学部	医療衛生学部	未来工学部
審査料	15,000 円	15,000 円	50,000 円	15,000 円	15,000 円	15,000 円	15,000 円	15,000 円
登録料	25,000 円	25,000 円	50,000 円	25,000 円	25,000 円	25,000 円	25,000 円	25,000 円
科目等履修料	1単位 25,000 円	1単位 25,000 円	1単位 50,000 円	1単位 25,000 円	1単位 25,000 円	1単位 25,000 円	1単位 25,000 円	1単位 25,000 円

本大学卒業生の科目等履修料は1単位あたり20,000円とする。ただし、医学部を除く。

別表6-③ 教職課程及び学芸員養成課程履修料

学部等 課 程	獣医学部		海洋生命科学部	看護学部	理学部	未来工学部
	動物資源科学科	生物環境科学科				
教職課程	50,000 円	30,000 円	50,000 円	100,000 円	100,000 円	30,000 円
学芸員養成課程			50,000 円			

学則の変更事項を記載した書類

1. 未来工学部の設置に伴い、以下の条文、別表において未来工学部について新たに規定する。
 - ・ 第 2 条（教育研究上の目的）に定める別表 1
 - ・ 第 5 条（学部、学科、専攻）
 - ・ 第 7 条（修業年限及び在学年限）
 - ・ 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）
 - ・ 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2, 3
 - ・ 第 27 条（卒業の要件及び学士の学位）
 - ・ 第 36 条（休学）
 - ・ 第 42 条（入学検定料等）、第 43 条（学費）及び第 47 条（科目等履修生）に定める別表 6-①, 6-②

2. 未来工学部において高等学校一種（情報）の教員免許状を取得させることに伴い、以下の条文、別表において未来工学部について新たに規定する。
 - ・ 第 25 条（教員の免許状の所要資格の取得）
 - ・ 第 25 条（教員の免許状の所要資格の取得）に定める別表 4-①
 - ・ 第 43 条（学費）に定める別表 6-③

3. 附則に施行年月日（2023 年 4 月 1 日）を規定する。

以上

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)	2022年度(旧)
<p style="text-align: center;">北 里 大 学 学 則</p> <p>第1章 総則 (目的) 第1条 本大学は、北里柴三郎博士の精神に則り、生命科学及び医療科学分野における学術研究と人材育成を通して、広く社会の発展のために寄与することを目的とする。</p> <p>(教育研究上の目的) 第2条 本大学は、学部、学科又は課程ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定めるものとする。 2 前項の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は別表1のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;"><略></p> <p>第2章 学部、学科、専攻及び大学院 (学部、学科、専攻) 第5条 本大学に次の学部、学科、専攻を置く。 薬 学 部 … 薬学科、生命創薬科学科 獣 医 学 部 … 獣医学科、動物資源科学科、生物環境科学科 医 学 部 … 医学科 海洋生命科学部 … 海洋生命科学科 看 護 学 部 … 看護学科 理 学 部 … 物理学科、化学科、生物科学科 医 療 衛 生 学 部 … 保健衛生学科 医療検査学科 医療工学科 臨床工学専攻、診療放射線技術科学専攻 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、作業療法学専攻、 言語聴覚療法学専攻、視覚機能療法学専攻 未 来 工 学 部 … データサイエンス学科</p> <p style="text-align: center;"><略></p> <p>第3章 修業年限・在学年限及び入学定員・編入学定員・収容定員 (修業年限及び在学年限) 第7条 本大学の修業年限は、薬学部生命創薬科学科、獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部、<u>未来工学部</u>においては4年、薬学部薬学科、獣医学部獣医学科、医学部においては6年とする。</p> <p>2 卒業までの在学年限は、各学部とも前項の修業年限の2倍を超えることができない。ただし、編入学、転入学、再入学の場合には、在学すべき年数の2倍を超えることができないものとする。 3 薬学部、獣医学部、医学部、海洋生命科学部、医療衛生学部、<u>未来工学部</u>においては、原則として同一学科同一学年における在学年数を2年以内とする。</p>	<p style="text-align: center;">北 里 大 学 学 則</p> <p>第1章 総則 (目的) 第1条 本大学は、北里柴三郎博士の精神に則り、生命科学及び医療科学分野における学術研究と人材育成を通して、広く社会の発展のために寄与することを目的とする。</p> <p>(教育研究上の目的) 第2条 本大学は、学部、学科又は課程ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定めるものとする。 2 前項の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は別表1のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;"><略></p> <p>第2章 学部、学科、専攻及び大学院 (学部、学科、専攻) 第5条 本大学に次の学部、学科、専攻を置く。 薬 学 部 … 薬学科、生命創薬科学科 獣 医 学 部 … 獣医学科、動物資源科学科、生物環境科学科 医 学 部 … 医学科 海洋生命科学部 … 海洋生命科学科 看 護 学 部 … 看護学科 理 学 部 … 物理学科、化学科、生物科学科 医 療 衛 生 学 部 … 保健衛生学科 医療検査学科 医療工学科 臨床工学専攻、診療放射線技術科学専攻 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、作業療法学専攻、 言語聴覚療法学専攻、視覚機能療法学専攻</p> <p style="text-align: center;"><略></p> <p>第3章 修業年限・在学年限及び入学定員・編入学定員・収容定員 (修業年限及び在学年限) 第7条 本大学の修業年限は、薬学部生命創薬科学科、獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部においては4年、薬学部薬学科、獣医学部獣医学科、医学部においては6年とする。</p> <p>2 卒業までの在学年限は、各学部とも前項の修業年限の2倍を超えることができない。ただし、編入学、転入学、再入学の場合には、在学すべき年数の2倍を超えることができないものとする。 3 薬学部、獣医学部、医学部、海洋生命科学部、医療衛生学部においては、原則として同一学科同一学年における在学年数を2年以内とする。</p>

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)

(入学定員、編入学定員及び収容定員)

第8条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科・専攻	入学定員	(編入学定員)			編入学 収容定員	収容定員
			2年次編入	3年次編入	4年次編入		
薬学部	薬学科	260名					1,560名
	生命創薬科学科	35名					140名
	学部計	295名					1,700名
獣医学部	獣医学科	120名					720名
	動物資源科学科	130名					520名
	生物環境科学科	90名					360名
	学部計	340名					1,600名
医学部	医学科	110名					660名
	学部計	110名					660名
海洋生命科学部	海洋生命科学科	180名					720名
	学部計	180名					720名
看護学部	看護学科	125名					500名
	学部計	125名					500名
理学部	物理学科	53名					212名
	化学科	80名					320名
	生物科学科	80名					320名
	学部計	213名					852名
医療衛生学部	保健衛生学科	40名					160名
	医療検査学科	105名					420名
	医療工学科	115名					460名
	臨床工学専攻	45名					180名
	診療放射線技術科学専攻	70名					280名
	リハビリテーション学科	145名					580名
	理学療法学専攻	45名					180名
	作業療法学専攻	40名					160名
	言語聴覚療法学専攻	30名					120名
	視覚機能療法学専攻	30名					120名
	学部計	405名					1,620名
未来工学部	データサイエンス学科	100名					400名
	学部計	100名					400名
計		1,768名					8,052名

<略>

(授業科目及び単位数等)

第13条 授業科目及び単位数は別表2、3のとおりとする。

2年間の履修登録単位数は50単位未満とする。

<略>

2022年度(旧)

(入学定員、編入学定員及び収容定員)

第8条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科・専攻	入学定員	(編入学定員)			編入学 収容定員	収容定員
			2年次編入	3年次編入	4年次編入		
薬学部	薬学科	260名					1,560名
	生命創薬科学科	35名					140名
	学部計	295名					1,700名
獣医学部	獣医学科	120名					720名
	動物資源科学科	130名					520名
	生物環境科学科	90名					360名
	学部計	340名					1,600名
医学部	医学科	110名					660名
	学部計	110名					660名
海洋生命科学部	海洋生命科学科	180名					720名
	学部計	180名					720名
看護学部	看護学科	125名					500名
	学部計	125名					500名
理学部	物理学科	53名					212名
	化学科	80名					320名
	生物科学科	80名					320名
	学部計	213名					852名
医療衛生学部	保健衛生学科	40名					160名
	医療検査学科	105名					420名
	医療工学科	115名					460名
	臨床工学専攻	45名					180名
	診療放射線技術科学専攻	70名					280名
	リハビリテーション学科	145名					580名
	理学療法学専攻	45名					180名
	作業療法学専攻	40名					160名
	言語聴覚療法学専攻	30名					120名
	視覚機能療法学専攻	30名					120名
	学部計	405名					1,620名
計		1,668名					7,652名

<略>

(授業科目及び単位数等)

第13条 授業科目及び単位数は別表2、3のとおりとする。

2年間の履修登録単位数は50単位未満とする。

<略>

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)			2022年度(旧)		
<p>(教員の免許状の所要資格の取得)</p> <p>第25条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、別表4-①及び別表4-②に従い、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。</p> <p>2 本大学の学部の学科において、当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、次のとおりとする。</p>			<p>(教員の免許状の所要資格の取得)</p> <p>第25条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、別表4-①及び別表4-②に従い、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。</p> <p>2 本大学の学部の学科において、当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、次のとおりとする。</p>		
獣医学部	動物資源科学科	中学校教諭一種免許状(理科)	獣医学部	動物資源科学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)		〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
	生物環境科学科	高等学校教諭一種免許状(農業)		生物環境科学科	高等学校教諭一種免許状(農業)
海洋生命科学部	海洋生命科学科	中学校教諭一種免許状(理科)	海洋生命科学部	海洋生命科学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)		〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状	看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状
理学部	物理学科	中学校教諭一種免許状(理科)	理学部	物理学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)		〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
	化学科	中学校教諭一種免許状(理科)		化学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)		〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
	生物科学科	中学校教諭一種免許状(理科)		生物科学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	〃	高等学校教諭一種免許状(理科)		〃	高等学校教諭一種免許状(理科)
未来工学部	データサイエンス学科	高等学校教諭一種免許状(情報)			
<略>			<略>		
<p>第6章 卒業の要件及び学士の学位 (卒業の要件及び学士の学位)</p> <p>第27条 本大学の薬学部生命創薬科学科、獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部、未来工学部に4年(編入学、転入学、再入学の場合は在学すべき年数。以下同じ。)以上在学し、若しくは薬学部薬学科、獣医学部獣医学科に6年以上在学し、別表2に定める単位を修得した者、又は医学部に6年以上在学し、別表2に定める単位を修得し、総合試験、共用試験医学系臨床実習後OSCEに合格した者は卒業とし、次の学士の学位を授与する。</p>			<p>第6章 卒業の要件及び学士の学位 (卒業の要件及び学士の学位)</p> <p>第27条 本大学の薬学部生命創薬科学科、獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部に4年(編入学、転入学、再入学の場合は在学すべき年数。以下同じ。)以上在学し、若しくは薬学部薬学科、獣医学部獣医学科に6年以上在学し、別表2に定める単位を修得した者、又は医学部に6年以上在学し、別表2に定める単位を修得し、総合試験、共用試験医学系臨床実習後OSCEに合格した者は卒業とし、次の学士の学位を授与する。</p>		
薬学部	薬学科	学 士 (薬学)	薬学部	薬学科	学 士 (薬学)
	生命創薬科学科	学 士 (薬科学)		生命創薬科学科	学 士 (薬科学)
獣医学部	獣医学科	学 士 (獣医学)	獣医学部	獣医学科	学 士 (獣医学)
	動物資源科学科	学 士 (農学)		動物資源科学科	学 士 (農学)
	生物環境科学科	学 士 (農学)		生物環境科学科	学 士 (農学)
医学部	医学科	学 士 (医学)	医学部	医学科	学 士 (医学)
海洋生命科学部	海洋生命科学科	学 士 (水産学)	海洋生命科学部	海洋生命科学科	学 士 (水産学)
看護学部	看護学科	学 士 (看護学)	看護学部	看護学科	学 士 (看護学)

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)			2022年度(旧)		
理学部	物理学科	学 士 (理学)	理学部	物理学科	学 士 (理学)
	化学科	学 士 (理学)		化学科	学 士 (理学)
	生物科学科	学 士 (理学)		生物科学科	学 士 (理学)
医療衛生学部	保健衛生学科	学 士 (保健衛生学)	医療衛生学部	保健衛生学科	学 士 (保健衛生学)
	医療検査学科	学 士 (医療検査学)		医療検査学科	学 士 (医療検査学)
	医療工学科			医療工学科	
	臨床工学専攻	学 士 (臨床工学)		臨床工学専攻	学 士 (臨床工学)
	診療放射線技術科学専攻	学 士 (診療放射線技術科学)		診療放射線技術科学専攻	学 士 (診療放射線技術科学)
	リハビリテーション学科			リハビリテーション学科	
	理学療法学専攻	学 士 (理学療法学)		理学療法学専攻	学 士 (理学療法学)
	作業療法学専攻	学 士 (作業療法学)		作業療法学専攻	学 士 (作業療法学)
	言語聴覚療法学専攻	学 士 (言語聴覚療法学)		言語聴覚療法学専攻	学 士 (言語聴覚療法学)
	視覚機能療法学専攻	学 士 (視覚機能療法学)		視覚機能療法学専攻	学 士 (視覚機能療法学)
未来工学部	データサイエンス学科	学 士 (工学)			
<略>			<略>		
(休学)			(休学)		
<p>第36条 薬学部、獣医学部、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部、<u>未来工学部</u>においては、病気その他やむを得ない事由により、次の各号の一に該当する者は、休学願に保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添付するものとする。</p> <p>医学部においては、病気その他やむを得ない事由により、第1号、第3号及び第4号に該当する者は、休学願に保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添付するものとする。</p> <p>(1) 学年初めから学年末まで1年間就学することができない者</p> <p>(2) 学年初めから引き続き後期授業開始日の前日まで就学することができない者</p> <p>(3) 学年末まで引き続き6ヵ月以上就学することができない者</p> <p>(4) 外国人留学生で出身国における兵役等に就く必要がある者</p>			<p>第36条 薬学部、獣医学部、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部においては、病気その他やむを得ない事由により、次の各号の一に該当する者は、休学願に保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添付するものとする。</p> <p>医学部においては、病気その他やむを得ない事由により、第1号、第3号及び第4号に該当する者は、休学願に保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添付するものとする。</p> <p>(1) 学年初めから学年末まで1年間就学することができない者</p> <p>(2) 学年初めから引き続き後期授業開始日の前日まで就学することができない者</p> <p>(3) 学年末まで引き続き6ヵ月以上就学することができない者</p> <p>(4) 外国人留学生で出身国における兵役等に就く必要がある者</p>		
<略>			<略>		
第8章 学費			第8章 学費		
(入学検定料等)			(入学検定料等)		
<p>第42条 入学検定料等は、別表6-①及び6-②に示すとおりとする。</p> <p>(学費)</p> <p>第43条 学費は別表6-①に示す入学金、授業料、施設設備費、教育充実費及び別表6-②に示す登録料、科目等履修料、別表6-③に示す教職課程及び学芸員養成課程履修料のとおりとする。</p>			<p>第42条 入学検定料等は、別表6-①及び6-②に示すとおりとする。</p> <p>(学費)</p> <p>第43条 学費は別表6-①に示す入学金、授業料、施設設備費、教育充実費及び別表6-②に示す登録料、科目等履修料、別表6-③に示す教職課程及び学芸員養成課程履修料のとおりとする。</p>		
<略>			<略>		

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)	2022年度(旧)
<p>附則</p> <ol style="list-style-type: none">この学則は、昭和54年4月1日から施行する。第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和54年度入学者から適用する。 <p><略></p> <p>附則(北学総第2022-*****号) <u>この学則は、2023年4月1日から施行する。</u></p>	<p>附則</p> <ol style="list-style-type: none">この学則は、昭和54年4月1日から施行する。第43条(学費)並びに第47条第2項については、昭和54年度入学者から適用する。 <p><略></p>

2023年度(新)

2022年度(旧)

別表1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

別表1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

薬学部	<p>【薬学部】 薬学部では、最新の薬学的知識・技能のみならず、豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会における様々な活動に、「薬」の視点を持って積極的に参加できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)基礎と臨床を両輪としたバランスのとれた薬学教育の展開、(2)豊かな人間性と倫理観を醸成する教育の推進、(3)コミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(4)基礎と臨床が一体となった研究の展開とします。</p>
	<p>【薬学科】 薬学部薬学科では、高度化・細分化された医療の中で、医薬品の適正使用を通して、医療の質を確保するための「薬の専門家」として活躍する薬剤師を養成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)臨床薬学に関連した高度な専門教育と実務教育の充実、(2)豊かな人間性と医療人としての高い倫理観を醸成する教育の推進、(3)チーム医療に資するためのコミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(4)薬学・医療の進歩と改善に資するための研究遂行意欲と課題発見・問題解決能力を涵養する教育、(5)生涯にわたる自己研鑽と次世代育成への意欲と態度を培う教育の推進とします。</p>
	<p>【生命創薬科学科】 薬学部生命創薬科学科では、薬学関連領域における多様な人材需要に応えるため、薬剤師としてではなく、薬学の基礎的な知識・技能を基盤に、社会の多様な分野で活躍できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)薬学関連領域における基本的な知識・技能を修得させる教育の充実、(2)豊かな人間性と倫理観を醸成する教育の推進、(3)「考える力」(薬学の進歩と改善に資するための研究遂行意欲と課題発見・問題解決能力)を涵養する教育の推進、(4)科学的なコミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(5)科学的探究心を向上させる教育の推進とします。</p>
獣医学部	<p>【獣医学部】 獣医学部では、動物生命科学を基盤とする高度な専門知識や技術・資格と豊かな人間性を備え、人類の健康と福祉の向上及び持続可能な社会の創生に向け、多様な課題を解決できる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)動物の疾病の予防・治療及び生命現象の科学的解明、(2)動植物資源の利用と開発、(3)持続型社会を志向した食料生産と環境保全、(4)公衆衛生の向上、(5)農と医の学際的領域の知識・技術の習得とします。</p>
	<p>【獣医学科】 獣医学部獣医学科では、獣医学に関する高度な知識と技術及び豊かな人間性を身につけ、適切な問題解決能力を備え、動物と人類の健康と福祉の増進に貢献できる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)動物生命科学、(2)各種動物の疾病診断・治療・予防、(3)伴侶動物の高度先端医療、(4)人獣共通感染症、食の安全を始めとする公衆衛生、(5)野生動物・環境保全など広範囲な領域における基礎・応用科学基盤を構築し、真理の深奥を究めることとします。</p>
	<p>【動物資源科学科】 獣医学部動物資源科学科では、自然と共生・共栄する人間社会に貢献するための問題解決能力を備え、生命科学や医学と接点を持つ動物資源科学に関する高い専門的能力を身に付けた人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)動物資源・食料資源の開発・利用を発展させるための専門的能力の習得、(2)「農」と「医」の複眼的視点の獲得と異分野へ転移可能な汎用的能力の習得、(3)知識、技能、行動から構成される総合的な実践力の習得とします。</p>

薬学部	<p>【薬学部】 薬学部では、最新の薬学的知識・技能のみならず、豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会における様々な活動に、「薬」の視点を持って積極的に参加できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)基礎と臨床を両輪としたバランスのとれた薬学教育の展開、(2)豊かな人間性と倫理観を醸成する教育の推進、(3)コミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(4)基礎と臨床が一体となった研究の展開とします。</p>
	<p>【薬学科】 薬学部薬学科では、高度化・細分化された医療の中で、医薬品の適正使用を通して、医療の質を確保するための「薬の専門家」として活躍する薬剤師を養成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)臨床薬学に関連した高度な専門教育と実務教育の充実、(2)豊かな人間性と医療人としての高い倫理観を醸成する教育の推進、(3)チーム医療に資するためのコミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(4)薬学・医療の進歩と改善に資するための研究遂行意欲と課題発見・問題解決能力を涵養する教育、(5)生涯にわたる自己研鑽と次世代育成への意欲と態度を培う教育の推進とします。</p>
	<p>【生命創薬科学科】 薬学部生命創薬科学科では、薬学関連領域における多様な人材需要に応えるため、薬剤師としてではなく、薬学の基礎的な知識・技能を基盤に、社会の多様な分野で活躍できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)薬学関連領域における基本的な知識・技能を修得させる教育の充実、(2)豊かな人間性と倫理観を醸成する教育の推進、(3)「考える力」(薬学の進歩と改善に資するための研究遂行意欲と課題発見・問題解決能力)を涵養する教育の推進、(4)科学的なコミュニケーション能力を修得させる教育の推進、(5)科学的探究心を向上させる教育の推進とします。</p>
獣医学部	<p>【獣医学部】 獣医学部では、動物生命科学を基盤とする高度な専門知識や技術・資格と豊かな人間性を備え、人類の健康と福祉の向上及び持続可能な社会の創生に向け、多様な課題を解決できる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)動物の疾病の予防・治療及び生命現象の科学的解明、(2)動植物資源の利用と開発、(3)持続型社会を志向した食料生産と環境保全、(4)公衆衛生の向上、(5)農と医の学際的領域の知識・技術の習得とします。</p>
	<p>【獣医学科】 獣医学部獣医学科では、獣医学に関する高度な知識と技術及び豊かな人間性を身につけ、適切な問題解決能力を備え、動物と人類の健康と福祉の増進に貢献できる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)動物生命科学、(2)各種動物の疾病診断・治療・予防、(3)伴侶動物の高度先端医療、(4)人獣共通感染症、食の安全を始めとする公衆衛生、(5)野生動物・環境保全など広範囲な領域における基礎・応用科学基盤を構築し、真理の深奥を究めることとします。</p>
	<p>【動物資源科学科】 獣医学部動物資源科学科では、自然と共生・共栄する人間社会に貢献するための問題解決能力を備え、生命科学や医学と接点を持つ動物資源科学に関する高い専門的能力を身に付けた人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)動物資源・食料資源の開発・利用を発展させるための専門的能力の習得、(2)「農」と「医」の複眼的視点の獲得と異分野へ転移可能な汎用的能力の習得、(3)知識、技能、行動から構成される総合的な実践力の習得とします。</p>

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)		2022年度(旧)	
獣医学部	<p>〔生物環境科学科〕</p> <p>獣医学部生物環境科学科では、野生動物と人との共存環境の創出やビオトープなど環境の保全や修復について具体的な提言や技術提供ができる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)持続可能な食料生産環境の確保(2)環境保全の推進(3)生物多様性の維持など、地球及び地域の環境に調和した生物生産活動と環境保全や環境修復に関する知識・技術とともに環境倫理観の習得とします。</p>	獣医学部	<p>〔生物環境科学科〕</p> <p>獣医学部生物環境科学科では、野生動物と人との共存環境の創出やビオトープなど環境の保全や修復について具体的な提言や技術提供ができる人材の養成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)持続可能な食料生産環境の確保(2)環境保全の推進(3)生物多様性の維持など、地球及び地域の環境に調和した生物生産活動と環境保全や環境修復に関する知識・技術とともに環境倫理観の習得とします。</p>
医学部	<p>【医学部医学科】</p> <p>医学部では、広く体系的な知識と確実な技術を持ち、それを深化させるよう最先端の医学知識を意欲的に吸収できるような自己研鑽学習を継続する人材を育成するとともに、開学以来実践されてきた「チーム医療」の実践家となるため、他者に共感し、協働して物事に取り組むことができ、倫理観を持って広く社会に貢献できる人材の育成を目的としています。</p> <p>そのための教育研究上の目的として、(1)人間性豊かで優れた医師の養成(2)学際領域を含む医学研究の推進(3)国際貢献の推進と地域医療への協力(4)予防医学の推進、の4項目をあげ、教育の基本理念としています。</p>	医学部	<p>【医学部医学科】</p> <p>医学部では、広く体系的な知識と確実な技術を持ち、それを深化させるよう最先端の医学知識を意欲的に吸収できるような自己研鑽学習を継続する人材を育成するとともに、開学以来実践されてきた「チーム医療」の実践家となるため、他者に共感し、協働して物事に取り組むことができ、倫理観を持って広く社会に貢献できる人材の育成を目的としています。</p> <p>そのための教育研究上の目的として、(1)人間性豊かで優れた医師の養成(2)学際領域を含む医学研究の推進(3)国際貢献の推進と地域医療への協力(4)予防医学の推進、の4項目をあげ、教育の基本理念としています。</p>
海洋生命科学部	<p>【海洋生命科学部海洋生命科学科】</p> <p>海洋生命科学部では、海洋生命科学一般の専門技術とその基盤となる学門領域を理解し、国際的な視野を持ち、これらを基に自らの意見を伝える能力、判断力、実践力を持つ人材の育成を目的とします。</p> <p>そのための教育研究上の目的は、(1)多面的思考能力(2)自然科学の基礎知識・理論(3)専門分野の知識・技術(4)問題解決能力(5)実務遂行能力(6)コミュニケーション能力(7)技術者倫理(8)継続的学習能力の獲得、達成とします。</p>	海洋生命科学部	<p>【海洋生命科学部海洋生命科学科】</p> <p>海洋生命科学部では、海洋生命科学一般の専門技術とその基盤となる学門領域を理解し、国際的な視野を持ち、これらを基に自らの意見を伝える能力、判断力、実践力を持つ人材の育成を目的とします。</p> <p>そのための教育研究上の目的は、(1)多面的思考能力(2)自然科学の基礎知識・理論(3)専門分野の知識・技術(4)問題解決能力(5)実務遂行能力(6)コミュニケーション能力(7)技術者倫理(8)継続的学習能力の獲得、達成とします。</p>
看護学部	<p>【看護学部看護学科】</p> <p>看護学部では、生命科学系総合大学のなかで他学部との連携のもとに、高度医療、医療安全の確保、予防医療、介護予防など、多様化した保健医療に対する社会の要請に応える幅広い知識と技能を備え、看護専門職者としてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、看護職者の具体的能力として、(1)人間性、(2)思考力、(3)表現能力、(4)看護実践能力、(5)改革能力の5つを強化することとしています。</p>	看護学部	<p>【看護学部看護学科】</p> <p>看護学部では、生命科学系総合大学のなかで他学部との連携のもとに、高度医療、医療安全の確保、予防医療、介護予防など、多様化した保健医療に対する社会の要請に応える幅広い知識と技能を備え、看護専門職者としてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、看護職者の具体的能力として、(1)人間性、(2)思考力、(3)表現能力、(4)看護実践能力、(5)改革能力の5つを強化することとしています。</p>
理学部	<p>【理学部】</p> <p>理学部では、物理学・化学・生物科学の分野における高水準の知識と実験技術を身に付け、幅広い視野と柔軟な思考力を兼ね備えた研究者・専門技術者・教育者となる人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)講義、実験、演習を通して、専門分野の高度な研究を遂行するための基礎として必要な知識と実験技術を教授する、(2)科学的思考力を育成し、研究遂行における課題の設定能力、問題解決能力を身に付けさせることとします。</p>	理学部	<p>【理学部】</p> <p>理学部では、物理学・化学・生物科学の分野における高水準の知識と実験技術を身に付け、幅広い視野と柔軟な思考力を兼ね備えた研究者・専門技術者・教育者となる人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)講義、実験、演習を通して、専門分野の高度な研究を遂行するための基礎として必要な知識と実験技術を教授する、(2)科学的思考力を育成し、研究遂行における課題の設定能力、問題解決能力を身に付けさせることとします。</p>
	<p>〔物理学科〕</p> <p>理学部物理学科では、自然現象に潜む原理や法則を理解し、多彩な自然現象や物質の性質を解明するための基礎力を身に付け、宇宙論から生命現象まで、さまざまな分野において未知の領域に切り込んでいく力を備えた人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)多様な物理領域の研究を展開するために必要な基礎知識と技術を教授する、(2)身に付けた知識と技術を基礎研究、応用研究の場で活用できる能力を育成することとします。</p>		<p>〔物理学科〕</p> <p>理学部物理学科では、自然現象に潜む原理や法則を理解し、多彩な自然現象や物質の性質を解明するための基礎力を身に付け、宇宙論から生命現象まで、さまざまな分野において未知の領域に切り込んでいく力を備えた人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)多様な物理領域の研究を展開するために必要な基礎知識と技術を教授する、(2)身に付けた知識と技術を基礎研究、応用研究の場で活用できる能力を育成することとします。</p>

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)		2022年度(旧)	
理学部	<p>〔化学科〕</p> <p>理学部化学科では、実社会における多様な製品の生産基盤である物質の性質とその変化に関する基礎知識(構造、反応、機能、合成)を教授し、実践を通して生命科学や環境科学から医療、教育にわたる幅広い分野での研究・開発で活躍できる人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、基礎知識の教授(講義)と実践(実習と演習)による(1)科学的判断力、(2)多元的な視点から物質を評価する能力、(3)能動的な立案、実行力を養成することとします。</p>	理学部	<p>〔化学科〕</p> <p>理学部化学科では、実社会における多様な製品の生産基盤である物質の性質とその変化に関する基礎知識(構造、反応、機能、合成)を教授し、実践を通して生命科学や環境科学から医療、教育にわたる幅広い分野での研究・開発で活躍できる人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、基礎知識の教授(講義)と実践(実習と演習)による(1)科学的判断力、(2)多元的な視点から物質を評価する能力、(3)能動的な立案、実行力を養成することとします。</p>
	<p>〔生物科学科〕</p> <p>理学部生物科学科では、生命科学についての高度な知識と研究技能を有するとともに、普遍的な生命現象のしくみを理解し、生物学や基礎医学などの多岐にわたる分野で活躍できる科学的思考能力を備えた人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)最先端の専門的研究を開始するために必要な基礎知識、実験能力、思考力、(2)生命科学の知識や技術に基づいて複雑な生命活動を分子レベルで解明する能力を養うこととします。</p>		<p>〔生物科学科〕</p> <p>理学部生物科学科では、生命科学についての高度な知識と研究技能を有するとともに、普遍的な生命現象のしくみを理解し、生物学や基礎医学などの多岐にわたる分野で活躍できる科学的思考能力を備えた人材を育成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1)最先端の専門的研究を開始するために必要な基礎知識、実験能力、思考力、(2)生命科学の知識や技術に基づいて複雑な生命活動を分子レベルで解明する能力を養うこととします。</p>
医療衛生学部	<p>【医療衛生学部】</p> <p>医療衛生学部では、高度医療現場においては、チーム医療を支えるメディカルスタッフとして、医療現場の外においては、予防医学と健康科学を主とした人の健康を支えるスタッフとして、幅広い教養と豊かな創造性に富む高度な専門知識と技術の実践力を兼ね備えた人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)高度な知識、技術を有する医療従事者の養成、(2)学際的スペシャリストの養成、(3)国際的視野を持ち国際社会に通用する人材の養成です。</p>	医療衛生学部	<p>【医療衛生学部】</p> <p>医療衛生学部では、高度医療現場においては、チーム医療を支えるメディカルスタッフとして、医療現場の外においては、予防医学と健康科学を主とした人の健康を支えるスタッフとして、幅広い教養と豊かな創造性に富む高度な専門知識と技術の実践力を兼ね備えた人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)高度な知識、技術を有する医療従事者の養成、(2)学際的スペシャリストの養成、(3)国際的視野を持ち国際社会に通用する人材の養成です。</p>
	<p>〔保健衛生学科〕</p> <p>医療衛生学部保健衛生学科では、健康な人を対象に、健康の保持・増進のための健康科学や予防医学の観点から、環境・食・労働・こころと健康の関係についての知識を身に付け、衛生的で安全な環境づくりに向けたマネジメント力を備えた人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)労働環境その他日常の社会生活の中で起こる種々の健康影響因子のリスク解析やその改善に向けた知識と技術の修得、(2)職場及び地域社会における安全衛生管理から地球環境の保全までをマネジメントするための幅広い知識と技術の修得です。</p>		<p>〔保健衛生学科〕</p> <p>医療衛生学部保健衛生学科では、健康な人を対象に、健康の保持・増進のための健康科学や予防医学の観点から、環境・食・労働・こころと健康の関係についての知識を身に付け、衛生的で安全な環境づくりに向けたマネジメント力を備えた人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)労働環境その他日常の社会生活の中で起こる種々の健康影響因子のリスク解析やその改善に向けた知識と技術の修得、(2)職場及び地域社会における安全衛生管理から地球環境の保全までをマネジメントするための幅広い知識と技術の修得です。</p>
	<p>〔医療検査学科〕</p> <p>医療衛生学部医療検査学科では、人の健康や医療に関わる専門知識と高度な技術を修得し、医療現場においてはチーム医療を理解し実践でき、検体検査や画像診断によって得られた検査データを正確に医師に提供する臨床検査技師の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)幅広い教養と豊かな人間性、確固たる倫理観の修得、(2)臨床検査の基礎となるバイオサイエンス関連知識と研究技術の修得、(3)病気の診断に不可欠な臨床検査の理論から実際までの修得、(4)医療現場におけるチーム医療の一員としての重要性の理解と実践力、(5)問題解決能力の修得です。</p>		<p>〔医療検査学科〕</p> <p>医療衛生学部医療検査学科では、人の健康や医療に関わる専門知識と高度な技術を修得し、医療現場においてはチーム医療を理解し実践でき、検体検査や画像診断によって得られた検査データを正確に医師に提供する臨床検査技師の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)幅広い教養と豊かな人間性、確固たる倫理観の修得、(2)臨床検査の基礎となるバイオサイエンス関連知識と研究技術の修得、(3)病気の診断に不可欠な臨床検査の理論から実際までの修得、(4)医療現場におけるチーム医療の一員としての重要性の理解と実践力、(5)問題解決能力の修得です。</p>

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)

2022年度(旧)

医療衛生学部	<p>〔医療工学科・臨床工学専攻〕</p> <p>医療衛生学部医療工学科臨床工学専攻では、生命維持管理装置を中心とした最先端医療機器の操作及び保守点検を的確に行え、医療及び医療技術の変化に対応し、チーム医療の一員として医療に貢献できる臨床工学技士の養成、及び大学、企業、公共機関等で、研究開発、後進の指導的役割を担える人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)基礎工学、基礎医学、臨床医学、医療機器学等の学習、(2)専門知識と技術の修得、(3)チーム医療の一員として必要な知識と技術の修得、(4)臨床工学の未来に貢献できる研究能力の涵養です。</p>
	<p>〔医療工学科・診療放射線技術科学専攻〕</p> <p>医療衛生学部医療工学科診療放射線技術科学専攻では、人間の生命や生活の質を理解できる豊かな人間性ととも、専門的職業人としての高度で専門的な画像検査・放射線治療の知識と技術を備え、医療の質を高めるチーム医療、研究開発、教育指導、地域医療に貢献できる診療放射線技師及び医療従事者の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)豊かな人間性の涵養、(2)放射線の性質や人体への影響等の放射線技術の進歩に即応した放射線基礎科学の学習、(3)地域社会のニーズに対応する画像検査と放射線治療の体系的学習、(4)臨床実習を通じた実践的な技術とチーム医療等の専門的知識・技術の修得です。</p>
	<p>〔リハビリテーション学科・理学療法専攻〕</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法専攻では、医療と福祉の現場のみならず、地域住民の健康増進や疾病予防など高度で多様化した社会的ニーズに対応できる人材の養成を目的としています。そのため教育研究上の目的は、(1)高い倫理観を身につけ、自ら考え開拓する力、(2)年齢や障害の有無に関わらず、対象者の生活機能を客観的に評価する力、(3)科学的根拠に基づいた理学療法を実践する力、を育てることとします。</p>
	<p>〔リハビリテーション学科・作業療法専攻〕</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法専攻では、人々の健康と幸福を促進するために、作業療法の専門性を高度に備え、保健・医療・福祉・教育・産業等の分野でリーダーとして貢献できる人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)人間の「作業(occupation)」の特性と作業的存在としての対象者を理解する力、(2)作業遂行障害を適切に評価・介入する力、(3)高度な臨床的思考能力、(4)多職種連携のチーム医療および国際的視点を持った実践ができる力、(5)発展的自己学習能力と高い人権意識・倫理観を育成することとします。</p>
	<p>〔リハビリテーション学科・言語聴覚療法専攻〕</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科言語聴覚療法専攻では、言語、聴覚、コミュニケーション、摂食・嚥下などに障害がある人たちが豊かで質の高い生活を送れるように、専門職として支援し、医療・保健福祉・教育に貢献できる言語聴覚士の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)関連医学領域、言語学・心理学・音響学等の多彩な専門基礎科目の学習 (2)適切な評価・介入及び指導を実施するための専門科目の知識・技術の修得です。</p>
<p>〔リハビリテーション学科・視覚機能療法専攻〕</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科視覚機能療法専攻では、眼の構造から疾患までの幅広い知識と視機能評価法を修得し、医師と共に適切な治療プログラムを組み、研究を遂行する力を備え、新しい分野の教育・研究ができる視能訓練士の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)疾患から最新の研究まで眼の多面的な学習、(2)視能訓練士に必要な視覚の基礎知識から検査・治療の実践までの段階的修得です。</p>	

医療衛生学部	<p>〔医療工学科・臨床工学専攻〕</p> <p>医療衛生学部医療工学科臨床工学専攻では、生命維持管理装置を中心とした最先端医療機器の操作及び保守点検を的確に行え、医療及び医療技術の変化に対応し、チーム医療の一員として医療に貢献できる臨床工学技士の養成、及び大学、企業、公共機関等で、研究開発、後進の指導的役割を担える人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)基礎工学、基礎医学、臨床医学、医療機器学等の学習、(2)専門知識と技術の修得、(3)チーム医療の一員として必要な知識と技術の修得、(4)臨床工学の未来に貢献できる研究能力の涵養です。</p>
	<p>〔医療工学科・診療放射線技術科学専攻〕</p> <p>医療衛生学部医療工学科診療放射線技術科学専攻では、人間の生命や生活の質を理解できる豊かな人間性ととも、専門的職業人としての高度で専門的な画像検査・放射線治療の知識と技術を備え、医療の質を高めるチーム医療、研究開発、教育指導、地域医療に貢献できる診療放射線技師及び医療従事者の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)豊かな人間性の涵養、(2)放射線の性質や人体への影響等の放射線技術の進歩に即応した放射線基礎科学の学習、(3)地域社会のニーズに対応する画像検査と放射線治療の体系的学習、(4)臨床実習を通じた実践的な技術とチーム医療等の専門的知識・技術の修得です。</p>
	<p>〔リハビリテーション学科・理学療法専攻〕</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法専攻では、医療と福祉の現場のみならず、地域住民の健康増進や疾病予防など高度で多様化した社会的ニーズに対応できる人材の養成を目的としています。そのため教育研究上の目的は、(1)高い倫理観を身につけ、自ら考え開拓する力、(2)年齢や障害の有無に関わらず、対象者の生活機能を客観的に評価する力、(3)科学的根拠に基づいた理学療法を実践する力、を育てることとします。</p>
	<p>〔リハビリテーション学科・作業療法専攻〕</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法専攻では、人々の健康と幸福を促進するために、作業療法の専門性を高度に備え、保健・医療・福祉・教育・産業等の分野でリーダーとして貢献できる人材の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)人間の「作業(occupation)」の特性と作業的存在としての対象者を理解する力、(2)作業遂行障害を適切に評価・介入する力、(3)高度な臨床的思考能力、(4)多職種連携のチーム医療および国際的視点を持った実践ができる力、(5)発展的自己学習能力と高い人権意識・倫理観を育成することとします。</p>
	<p>〔リハビリテーション学科・言語聴覚療法専攻〕</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科言語聴覚療法専攻では、言語、聴覚、コミュニケーション、摂食・嚥下などに障害がある人たちが豊かで質の高い生活を送れるように、専門職として支援し、医療・保健福祉・教育に貢献できる言語聴覚士の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)関連医学領域、言語学・心理学・音響学等の多彩な専門基礎科目の学習 (2)適切な評価・介入及び指導を実施するための専門科目の知識・技術の修得です。</p>
<p>〔リハビリテーション学科・視覚機能療法専攻〕</p> <p>医療衛生学部リハビリテーション学科視覚機能療法専攻では、眼の構造から疾患までの幅広い知識と視機能評価法を修得し、医師と共に適切な治療プログラムを組み、研究を遂行する力を備え、新しい分野の教育・研究ができる視能訓練士の養成を目的としています。そのための教育研究上の目的は、(1)疾患から最新の研究まで眼の多面的な学習、(2)視能訓練士に必要な視覚の基礎知識から検査・治療の実践までの段階的修得です。</p>	

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)		2022年度(旧)	
未 来 工 学 部	<p>【データサイエンス学科】</p> <p>未来工学部では、「今ここにある問題」のさらに先にある、まだ起きていない未来の課題を工学的手法でいち早く見出し、技術の問題だけにとどまらない複雑で広範囲な社会課題に取り組むとともに、新たな価値を創造する人材の育成を目的とします。</p> <p>データサイエンス学科では、「現在と過去からの蓄積である様々なデータを読み解き、今ある課題を適切に解決するだけでなく、顕在化していない将来の課題を見出す力」を習得した人材を輩出します。そのためには現在そして将来社会に求められる高度なAI技術の知識と技術、データを解析しモデル化することにより深く理解するだけでなく、新たなデータ解析やモデリングのアイデアをプログラムとして実装する能力を身に付けた人材の育成を目的とします。そのための具体的な教育研究上の目的は、(1)講義、実習、演習を通じ、ライフサイエンスなどの専門分野でのデータサイエンス研究・実務を遂行するための基礎となる知識を習得し、プログラミングをはじめ実験技術を教授する、(2)データサイエンスの数理的背景を理解させ、研究・実務遂行における課題の設定能力、問題解決能力を身に付けさせることとします。</p>		
一 般 教 育 部	<p>【一般教育部】</p> <p>一般教育部では、幅広い視野と豊かな人間性を涵養する教養教育と、学部教育へのスムーズな橋渡しを可能にする基礎教育を両立させた教育機能を備え、全人的な教養を身につけた生命科学を志向する学生の育成を目的としています。そのため(1)自然科学教育の充実、(2)人間形成の基礎科目の展開、(3)語学、数学および情報処理などの高度基礎教育の実践、(4)コミュニケーション能力の涵養を目標の一つとする実験、演習系科目の提供を教育研究上の目的とします。</p>	一 般 教 育 部	<p>【一般教育部】</p> <p>一般教育部では、幅広い視野と豊かな人間性を涵養する教養教育と、学部教育へのスムーズな橋渡しを可能にする基礎教育を両立させた教育機能を備え、全人的な教養を身につけた生命科学を志向する学生の育成を目的としています。そのため(1)自然科学教育の充実、(2)人間形成の基礎科目の展開、(3)語学、数学および情報処理などの高度基礎教育の実践、(4)コミュニケーション能力の涵養を目標の一つとする実験、演習系科目の提供を教育研究上の目的とします。</p>

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)

2022年度(旧)

別表 2

学部	学科	授業科目	単位数			履修方法	卒業要件単位		
			必修	選択	自由		必修	選択	計
未来工学部	データサイエンス学科	未来工学1群科目	24	79	11		24	8	32
		文化の領域		24		1群科目から8単位選択必修 8単位のうち、4単位は文化の領域、社会の領域、健康の領域、総合領域科目から選択必修		8	8
		社会の領域		40					
		健康の領域		8					
		総合領域		3					
		外国語系	4				4		4
		数理・情報系	10	4		10		10	
		自然科学系	10		2	10		10	
		教養演習系			9				
		未来工学2群科目	20	6		2群、3群の選択科目から28単位選択必修	20		20
未来工学3群科目	44	39			44		44		
						28	28		
未来工学4群科目※									
計	88	124	11		88	36	124		
							卒業要件124単位以上		

別表 2

北里大学学則〔新旧対照表〕
 ー 未来工学部 ー

2023年度(新)		2022年度(旧)	
別表3 (1) ◎印は必修科目、無印は選択科目、※印は自由科目を表す。 (2) 数字は単位数を表す。(医学3群科目においては時間数を表す。) (3) 自由科目は卒業単位に含まない。 (4) 履修方法は各学部規則の定めるところによる。		別表3 (1) ◎印は必修科目、無印は選択科目、※印は自由科目を表す。 (2) 数字は単位数を表す。(医学3群科目においては時間数を表す。) (3) 自由科目は卒業単位に含まない。 (4) 履修方法は各学部規則の定めるところによる。	
未来工学1群科目(データサイエンス学科)			
人間形成の基礎科目	経済のしくみA 2	情報科学C 2	
文化の領域	経済のしくみB 2	自然科学系	
哲学の楽しみA 2	個人と社会A 2	◎ 物理学 4	
哲学の楽しみB 2	個人と社会B 2	◎ 物理学実験 1	
科学を考えるA 2	政治のしくみA 2	◎ 生物学 4	
科学を考えるB 2	政治のしくみB 2	◎ 生物学実験 1	
芸術の楽しみA 2	健康の領域	※ 物理学要習 1	
芸術の楽しみB 2	健康の科学A 2	※ 生物学要習 1	
文学の楽しみA 2	健康の科学B 2	教養演習系	
文学の楽しみB 2	健康の科学C 2	※ 教養演習A 2	
信仰と救いA 2	健康とスポーツ演習 2	※ 教養演習B 1	
信仰と救いB 2	総合領域科目	※ 教養演習C 1	
倫理学A 2	総合領域	※ 大学基礎演習 1	
倫理学B 2	北里の世界 1	※ 言語と文化A 2	
社会の領域	仕事と人生 1	※ 言語と文化B 2	
心理学A 2	農医連携論 1		
心理学B 2	基礎教育科目		
歴史と人間A 2	外国語系		
歴史と人間B 2	◎ 英語A I 1		
文化人類学A 2	◎ 英語A II 1		
文化人類学B 2	◎ 英語B I 1		
日本と国際社会A 2	◎ 英語B II 1		
日本と国際社会B 2	数理・情報系		
環境を考えるA 2	◎ 微分積分学A 2		
環境を考えるB 2	◎ 微分積分学B 2		
日本国憲法A 2	◎ ベクトルと行列 2		
日本国憲法B 2	◎ 統計学B I 2	※印は自由科目であり、卒業要件単位に含まない。	
法律の役割A 2	統計学B II 2		
法律の役割B 2	◎ 情報科学A 2		

北里大学学則〔新旧対照表〕
 ー 未来工学部 ー

2023年度(新)	2022年度(旧)																																																									
別表3	別表3																																																									
未来工学2群科目(データサイエンス学科)																																																										
<table border="1"> <tr> <td>◎ 未来工学データサイエンス概論 2</td> <td>◎ 情報倫理学 2</td> <td>線形代数演習 2</td> </tr> <tr> <td>◎ データサイエンスインベーション演習 2</td> <td>◎ 人工知能・機械学習入門 2</td> <td>◎ 情報セキュリティ 2</td> </tr> <tr> <td>◎ 情報の基礎 2</td> <td>◎ 科学英語 I 1</td> <td>◎ 科学英語 II 1</td> </tr> <tr> <td>◎ プログラミング I 3</td> <td>歴史から見るデータサイエンス 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ プログラミング II 3</td> <td>線形代数 2</td> <td></td> </tr> </table>	◎ 未来工学データサイエンス概論 2	◎ 情報倫理学 2	線形代数演習 2	◎ データサイエンスインベーション演習 2	◎ 人工知能・機械学習入門 2	◎ 情報セキュリティ 2	◎ 情報の基礎 2	◎ 科学英語 I 1	◎ 科学英語 II 1	◎ プログラミング I 3	歴史から見るデータサイエンス 2		◎ プログラミング II 3	線形代数 2																																												
◎ 未来工学データサイエンス概論 2	◎ 情報倫理学 2	線形代数演習 2																																																								
◎ データサイエンスインベーション演習 2	◎ 人工知能・機械学習入門 2	◎ 情報セキュリティ 2																																																								
◎ 情報の基礎 2	◎ 科学英語 I 1	◎ 科学英語 II 1																																																								
◎ プログラミング I 3	歴史から見るデータサイエンス 2																																																									
◎ プログラミング II 3	線形代数 2																																																									
未来工学3群科目(データサイエンス学科)																																																										
<table border="1"> <tr> <td>《データサイエンティストを支える教養とスキル》</td> <td>《データのモデリング》</td> <td>《ライフサイエンスの基礎科学》</td> </tr> <tr> <td>IoT電子工作実習 1</td> <td>◎ データハンドリングと可視化 2</td> <td>◎ ライフサイエンス I 2</td> </tr> <tr> <td>◎ プログラミング III 3</td> <td>◎ データエンジニアリング演習 2</td> <td>◎ ライフサイエンス II 2</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ 1</td> <td>◎ データ解析とその数理 I 3</td> <td>物質科学 2</td> </tr> <tr> <td>プログラミングIV 3</td> <td>◎ データ解析とその数理 II 3</td> <td>生命系の情報理論 2</td> </tr> <tr> <td>データサイエンス教育法 2</td> <td>◎ シミュレーションの基礎 2</td> <td>生命科学データ測定技術 2</td> </tr> <tr> <td>アントレプレナーシップ 1</td> <td>ネットワーク科学 2</td> <td>統計の物理学 2</td> </tr> <tr> <td>◎ データサイエンス研究入門 1</td> <td>データモデリング演習 2</td> <td>イメージングと画像解析 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ケモインフォマティクス 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>神経系の情報処理 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>立体構造予測 2</td> </tr> <tr> <td>《データサイエンスのための数理》</td> <td>《医療データの取扱い》</td> <td>《データサイエンティストとしての価値の創造》</td> </tr> <tr> <td>◎ 確率の数理 2</td> <td>◎ 医学・医療概論 2</td> <td>◎ 未来工学特別講義 2</td> </tr> <tr> <td>◎ アルゴリズム 2</td> <td>医療の質・安全管理論 2</td> <td>◎ 輪講(ゼミナール) 4</td> </tr> <tr> <td>微分方程式と力学系 2</td> <td>医療統計分類論 2</td> <td>◎ 卒業研究 8</td> </tr> <tr> <td>◎ バイオインフォマティクス 2</td> <td>メディカルインフォマティクス 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 深層学習入門 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>テキストマイニング 1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>尤度とモデリングの数理 2</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	《データサイエンティストを支える教養とスキル》	《データのモデリング》	《ライフサイエンスの基礎科学》	IoT電子工作実習 1	◎ データハンドリングと可視化 2	◎ ライフサイエンス I 2	◎ プログラミング III 3	◎ データエンジニアリング演習 2	◎ ライフサイエンス II 2	インターンシップ 1	◎ データ解析とその数理 I 3	物質科学 2	プログラミングIV 3	◎ データ解析とその数理 II 3	生命系の情報理論 2	データサイエンス教育法 2	◎ シミュレーションの基礎 2	生命科学データ測定技術 2	アントレプレナーシップ 1	ネットワーク科学 2	統計の物理学 2	◎ データサイエンス研究入門 1	データモデリング演習 2	イメージングと画像解析 2			ケモインフォマティクス 2			神経系の情報処理 2			立体構造予測 2	《データサイエンスのための数理》	《医療データの取扱い》	《データサイエンティストとしての価値の創造》	◎ 確率の数理 2	◎ 医学・医療概論 2	◎ 未来工学特別講義 2	◎ アルゴリズム 2	医療の質・安全管理論 2	◎ 輪講(ゼミナール) 4	微分方程式と力学系 2	医療統計分類論 2	◎ 卒業研究 8	◎ バイオインフォマティクス 2	メディカルインフォマティクス 2		◎ 深層学習入門 2			テキストマイニング 1			尤度とモデリングの数理 2			
《データサイエンティストを支える教養とスキル》	《データのモデリング》	《ライフサイエンスの基礎科学》																																																								
IoT電子工作実習 1	◎ データハンドリングと可視化 2	◎ ライフサイエンス I 2																																																								
◎ プログラミング III 3	◎ データエンジニアリング演習 2	◎ ライフサイエンス II 2																																																								
インターンシップ 1	◎ データ解析とその数理 I 3	物質科学 2																																																								
プログラミングIV 3	◎ データ解析とその数理 II 3	生命系の情報理論 2																																																								
データサイエンス教育法 2	◎ シミュレーションの基礎 2	生命科学データ測定技術 2																																																								
アントレプレナーシップ 1	ネットワーク科学 2	統計の物理学 2																																																								
◎ データサイエンス研究入門 1	データモデリング演習 2	イメージングと画像解析 2																																																								
		ケモインフォマティクス 2																																																								
		神経系の情報処理 2																																																								
		立体構造予測 2																																																								
《データサイエンスのための数理》	《医療データの取扱い》	《データサイエンティストとしての価値の創造》																																																								
◎ 確率の数理 2	◎ 医学・医療概論 2	◎ 未来工学特別講義 2																																																								
◎ アルゴリズム 2	医療の質・安全管理論 2	◎ 輪講(ゼミナール) 4																																																								
微分方程式と力学系 2	医療統計分類論 2	◎ 卒業研究 8																																																								
◎ バイオインフォマティクス 2	メディカルインフォマティクス 2																																																									
◎ 深層学習入門 2																																																										
テキストマイニング 1																																																										
尤度とモデリングの数理 2																																																										
未来工学4群科目(データサイエンス学科)																																																										
本大学の他学部他学科他専攻の授業科目及び単位互換協定に基づく単位互換科目・共同授業科目																																																										

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)

2022年度(旧)

別表4-①

教職課程（獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、理学部、未来工学部）

教育の基礎的理解に関する科目等

単位数はすべて必修

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本大学の授業科目	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理Ⅰ	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育原理Ⅱ	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法<中学校教諭のみ>	中10 高8	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法 *		特別活動及び総合的な学習の時間指導論（※理学部・海洋生命科学部・未来工学部必修）	*2
	特別活動の指導法 *		総合的な学習の指導論（獣医学部必修）	*1
	総合的な学習の時間の指導法 *		特別活動論（獣医学部必修）	*1
	特別活動の指導法 *		教育方法論	1
	教育の方法及び技術		I C T活用の理論と方法	1
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		生徒指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		教育相談・進路指導論	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習講義	1
			教育実習（動物資源科学科・海洋生命科学部・理学部必修）	4
			教育実習（生物環境科学科・未来工学部必修）	2
	教職実践演習		2	
	教職実践演習（中・高）	2		

*は、学部によって履修科目が異なる

別表4-①

教職課程（獣医学部動物資源科学科・生物環境科学科、海洋生命科学部、理学部）

教育の基礎的理解に関する科目等

単位数はすべて必修

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本大学の授業科目	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理Ⅰ	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育原理Ⅱ	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法<中学校教諭のみ>	中10 高8	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法 *		特別活動及び総合的な学習の時間指導論（※理学部・海洋生命科学部必修）	*2
	特別活動の指導法 *		総合的な学習の指導論（獣医学部必修）	*1
	総合的な学習の時間の指導法 *		特別活動論（獣医学部必修）	*1
	特別活動の指導法 *		教育方法論	1
	教育の方法及び技術		I C T活用の理論と方法	1
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		生徒指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		教育相談・進路指導論	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習講義	1
			教育実習（生物環境科学科を除く）	4
			教育実習（生物環境科学科のみ）	2
	教職実践演習		2	
	教職実践演習（中・高）	2		

*は、学部によって履修科目が異なる

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)

教職課程（獣医学部動物資源科学科、海洋生命科学部、理学部）

教科及び教科の指導法に関する科目

・中学校教諭一種免許状（理科）

単位数はすべて必修

免許教科		授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	それぞれ1単位以上 計20単位以上
		物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	
		化学	
		化学実験（コンピュータ活用を含む。）	
		生物学	
		生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	
		地学	
地学実験（コンピュータ活用を含む。）			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			-
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			8単位

教職課程（獣医学部動物資源科学科、海洋生命科学部、理学部）

教科及び教科の指導法に関する科目

・高等学校教諭一種免許状（理科）

単位数はすべて必修

免許教科		授業科目	単位数			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	それぞれ1単位以上 計20単位以上			
		化学				
		生物学				
		地学				
		物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）				
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			-	
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			8単位	

2022年度(旧)

教職課程（獣医学部動物資源科学科、海洋生命科学部、理学部）

教科及び教科の指導法に関する科目

・中学校教諭一種免許状（理科）

単位数はすべて必修

免許教科		授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	それぞれ1単位以上 計20単位以上
		物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	
		化学	
		化学実験（コンピュータ活用を含む。）	
		生物学	
		生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	
		地学	
地学実験（コンピュータ活用を含む。）			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			-
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			8単位

教職課程（獣医学部動物資源科学科、海洋生命科学部、理学部）

教科及び教科の指導法に関する科目

・高等学校教諭一種免許状（理科）

単位数はすべて必修

免許教科		授業科目	単位数			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	それぞれ1単位以上 計20単位以上			
		化学				
		生物学				
		地学				
		物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）				
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			-	
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			8単位	

北里大学学則〔新旧対照表〕

2023年度(新)

教職課程（獣医学部生物環境科学科）

教科及び教科の指導法に関する科目

・高等学校教諭一種免許状（農業）

単位数はすべて必修

免許教科	授 業 科 目		単 位 数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	農業の関係科目	それぞれ1単位以上 計20単位以上
		職業指導	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		-
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4単位

教職課程（未来工学部）

教科及び教科の指導法に関する科目

・高等学校教諭一種免許状（情報）

単位数はすべて必修

免許教科	授 業 科 目		単 位 数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	それぞれ1単位以上 計20単位以上
		コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	
		情報システム（実習を含む。）	
		情報通信ネットワーク（実習を含む。）	
		マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	
	情報と職業		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		-	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4単位	

2022年度(旧)

教職課程（獣医学部生物環境科学科）

教科及び教科の指導法に関する科目

・高等学校教諭一種免許状（農業）

単位数はすべて必修

免許教科	授 業 科 目		単 位 数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	農業の関係科目	それぞれ1単位以上 計20単位以上
		職業指導	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		-
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4単位

北里大学学則新旧対照表

2023年度(新)

2022年度(旧)

別表6-① 入学検定料及び学費(※は初年度のみ納入を表す。)

薬学部		
	薬学科	生命創薬科学科
入学検定料	35,000円	35,000円
※入学金	400,000円	400,000円
授業料	1,100,000円	850,000円
施設設備費 (2年次以降)	850,000円 (950,000円)	820,000円

獣医学部			
	獣医学科	動物資源科学科	生物環境科学科
入学検定料	33,000円	33,000円	33,000円
※入学金	300,000円	250,000円	250,000円
授業料 (2年次以降)	1,500,000円	830,000円 (930,000円)	830,000円 (930,000円)
施設設備費 (2年次以降)	530,000円 (630,000円)	270,000円 (370,000円)	270,000円 (370,000円)

医学部	
入学検定料	60,000円
※入学金	1,500,000円
授業料 (1年次9月入学) (2年次以降)	3,000,000円 (1,750,000円) (3,500,000円)
施設設備費 (1年次9月入学) (2年次以降)	1,000,000円 (580,000円) (1,200,000円)
教育充実費 (1年次9月入学) (2年次以降) (4年次以降)	3,500,000円 (2,040,000円) (1,700,000円) (1,000,000円)

海洋生命科学部	
入学検定料	33,000円
※入学金	300,000円
授業料 (2年次以降)	900,000円 (1,080,000円)
施設設備費 (2年次以降)	200,000円 (370,000円)

看護学部	
入学検定料	33,000円
※入学金	400,000円
授業料 (2年次以降)	1,200,000円 (1,400,000円)
施設設備費	300,000円
助産師教育課程指定科目履修料 (履修者のみ)	350,000円
保健師教育課程指定科目履修料 (履修者のみ)	80,000円

別表6-① 入学検定料及び学費(※は初年度のみ納入を表す。)

薬学部		
	薬学科	生命創薬科学科
入学検定料	35,000円	35,000円
※入学金	400,000円	400,000円
授業料	1,100,000円	850,000円
施設設備費 (2年次以降)	850,000円 (950,000円)	820,000円

獣医学部			
	獣医学科	動物資源科学科	生物環境科学科
入学検定料	33,000円	33,000円	33,000円
※入学金	300,000円	250,000円	250,000円
授業料 (2年次以降)	1,500,000円	830,000円 (930,000円)	830,000円 (930,000円)
施設設備費 (2年次以降)	530,000円 (630,000円)	270,000円 (370,000円)	270,000円 (370,000円)

医学部	
入学検定料	60,000円
※入学金	1,500,000円
授業料 (1年次9月入学) (2年次以降)	3,000,000円 (1,750,000円) (3,500,000円)
施設設備費 (1年次9月入学) (2年次以降)	1,000,000円 (580,000円) (1,200,000円)
教育充実費 (1年次9月入学) (2年次以降) (4年次以降)	3,500,000円 (2,040,000円) (1,700,000円) (1,000,000円)

海洋生命科学部	
入学検定料	33,000円
※入学金	300,000円
授業料 (2年次以降)	900,000円 (1,080,000円)
施設設備費 (2年次以降)	200,000円 (370,000円)

看護学部	
入学検定料	33,000円
※入学金	400,000円
授業料 (2年次以降)	1,200,000円 (1,400,000円)
施設設備費	300,000円
助産師教育課程指定科目履修料 (履修者のみ)	350,000円
保健師教育課程指定科目履修料 (履修者のみ)	80,000円

北里大学学則新旧対照表

2023年度(新)

理 学 部			
	物理学科	化学科	生物科学科
入学検定料	33,000円	33,000円	33,000円
※入 学 金	200,000円	200,000円	200,000円
授 業 料 (2年次以降)	1,012,500円 (1,062,500円)	1,012,500円 (1,062,500円)	1,062,500円 (1,162,500円)
施設設備費	450,000円	450,000円	450,000円

医 療 衛 生 学 部	
入学検定料	33,000円
※入 学 金	300,000円
授 業 料 (2年次以降)	950,000円 (1,200,000円)
施設設備費	550,000円
細胞検査士コース履修料 (医療検査学科・履修者のみ)	150,000円

未 来 工 学 部	
入学検定料	33,000円
※入 学 金	250,000円
授 業 料 (2年次以降)	950,000円 (1,150,000円)
施設設備費	450,000円
(2年次以降)	(450,000円)

別表6-② 科目等履修生の審査料及び学費

	薬学部	獣医学部	医学部	海洋生命科学部	看護学部	理学部	医療衛生学部	未来工学部
審査料	15,000円	15,000円	50,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
登録料	25,000円	25,000円	50,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
科目等履修料	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
	25,000円	25,000円	50,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円

本大学卒業生の科目等履修料は1単位あたり20,000円とする。ただし、医学部を除く。

別表6-③ 教職課程及び学芸員養成課程履修料

学部等 課 程	獣医学部		海洋生命科学部	看護学部	理学部	未来工学部
	動物資源科学科	生物環境科学科				
教職課程	50,000円	30,000円	50,000円	100,000円	50,000円	30,000円
学芸員養成課程			50,000円			

2022年度(旧)

理 学 部			
	物理学科	化学科	生物科学科
入学検定料	33,000円	33,000円	33,000円
※入 学 金	200,000円	200,000円	200,000円
授 業 料 (2年次以降)	1,012,500円 (1,062,500円)	1,012,500円 (1,062,500円)	1,062,500円 (1,162,500円)
施設設備費	450,000円	450,000円	450,000円

医 療 衛 生 学 部	
入学検定料	33,000円
※入 学 金	300,000円
授 業 料 (2年次以降)	950,000円 (1,200,000円)
施設設備費	550,000円
細胞検査士コース履修料 (医療検査学科・履修者のみ)	150,000円

別表6-② 科目等履修生の審査料及び学費

	薬学部	獣医学部	医学部	海洋生命科学部	看護学部	理学部	医療衛生学部
審査料	15,000円	15,000円	50,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
登録料	25,000円	25,000円	50,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
科目等履修料	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
	25,000円	25,000円	50,000円	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円

本大学卒業生の科目等履修料は1単位あたり20,000円とする。ただし、医学部を除く。

別表6-③ 教職課程及び学芸員養成課程履修料

学部等 課 程	獣医学部		海洋生命科学部	看護学部	理学部
	動物資源科学科	生物環境科学科			
教職課程	50,000円	30,000円	50,000円	100,000円	50,000円
学芸員養成課程			50,000円		

北里大学未来工学部教授会規程（案）

2022年**月**日 制定

（設置）

第1条 北里大学未来工学部に北里大学未来工学部教授会（以下「教授会」という。）を置く。

（構成）

第2条 教授会は、未来工学部専任の教授をもって構成する。ただし、必要あるときは、教授会の議を経て専任の准教授及び講師を加えることができる。

（審議事項）

第3条 教授会は、教育研究に関する次の各号に掲げる事項を審議し、学長に意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの（学長裁定）

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるができる。

（運営等）

第4条 教授会は、未来工学部長（以下「学部長」という。）が招集する。ただし、教授会構成員の3分の2以上の要求があったときは、学部長は、教授会を招集しなければならない。

2 教授会は、学部長が議長となる。ただし、学部長に事故あるとき又は不在のときは、あらかじめ学部長が指名した構成員が議長の職務を代理する。

3 教授会は、原則として毎月1回開催するほか、学部長は、必要に応じて臨時に開催することができる。

4 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。ただし、公務出張者は算定すべき構成員数に加えない。

5 教授会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

6 学部長は必要に応じ、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

7 教授会は、非公開とする。

（委員会等）

第5条 教授会は、必要により委員会を置くことができる。

（事務局）

第6条 教授会の事務は、未来工学部事務室が担当する。

(議事録)

第7条 学部長は、教授会の議事録を作成し、教授会の承認を得た上で保管する。

2 議事録の写しは、教授会の議を経て、定められた部門等に配付することができる。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会及び北里大学学部長会の議を経て北里研究所理事会において決定する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、教授会の議事及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 (北学総第****-*****号)

この規程は、20**年**月**日から施行する。

【第**回未来工学部教授会 (20**.**.**.) 承認】

【20**年度第**回定例理事会 (20**.**.**.) 承認】